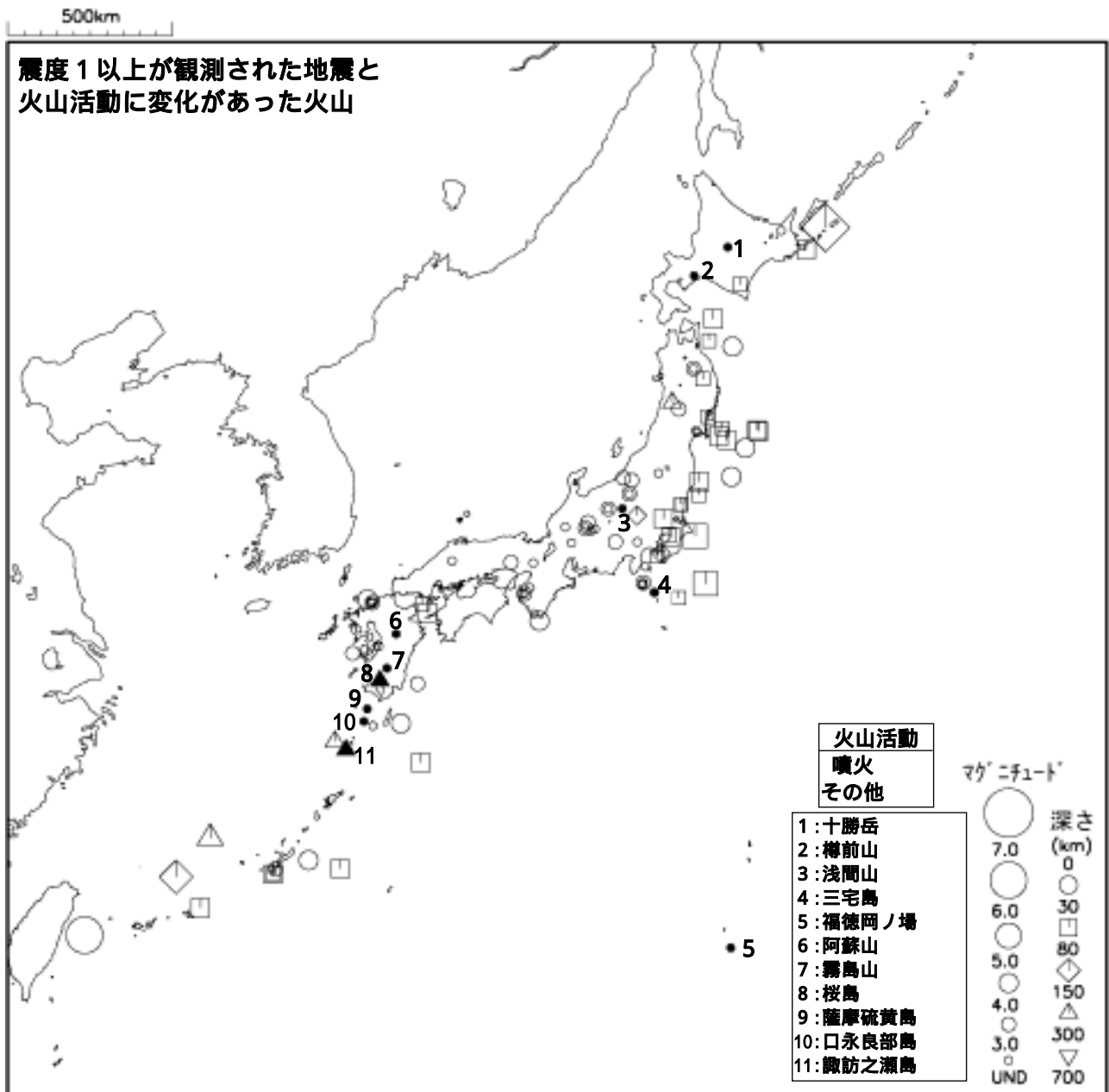


平成 17 年 9 月 地震・火山月報（防災編）

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

September 2005



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所*から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関**から地震観測データの提供を受け、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県、1 政令指定都市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、鳥根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県、1 政令指定都市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県、1 政令指定都市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上 4 県、1 政令指定都市は平成 14 年 3 月 20 日から発表）北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県、4 政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注** 平成 17 年 9 月末現在：国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人海洋研究開発機構、独立行政法人産業技術総合研究所、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び横浜市。

本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード Depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中の地震数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解の図中の語句について

NP1：節面 1

NP2：節面 2

STR：走向（°：北から時計周り）

DIP：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

SLIP：すべり角（°：断層の走向から断層面に沿って反時計周り）

P：P 軸（圧力軸）

T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

AZM：方位角（°：北から時計周り）

PLG：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

Mw：モーメントマグニチュード

Mo：地震モーメント（単位：Nm[ニュートン・メートル]）

・M - T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用するものを用いる。情報発表時と異なる震央地名を用いた場合は、「異なる震央地名[情報発表時に使用する震央地名]」と併記した。

・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査された後、修正されることがある。確定された値、算出方法については「地震・火山月報（カタログ編）」「地震年報（CD-ROM）」を参照のこと。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査された後、修正されることがある。確定された値については、「地震・火山月報（カタログ編）」「火山報告（CD-ROM）」を参照のこと。

・本書で使用した地図等について

本書で使用した地図は、国土地理院発行『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用したものである（承認番号：平 14 総発第 330 号）。また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

・図版作成には一部 GMT(Generic Mapping Tool[Wessel, P., and W.H.F.Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998]) を使用した。

目 次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 日本及びその周辺で発生した主な地震 | 1 |
| 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動 | 13 |
| 日本の主な火山活動 | 23 |
| 世界の主な地震 | 32 |
| 世界の主な火山活動 | 35 |
| 付表 | |
| 1．震度 1 以上を観測した地震の表 | 36 |
| 2．過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数 | 46 |
| 3．日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数 | 47 |

日本及びその周辺で発生した主な地震

表 1

| No. | 震源時 月 日 時 分 | 震央地名 | M | M H S T (注 3) | 最大震度・被害状況等（注 4） | 掲載 ページ |
|-----|----------------|--------|-----|------------------|---------------------|-----------|
| 1 | 9 06 10 16 | 台湾付近 | 6.0 | M・・・・ | 1：沖縄県 与那国町祖納 | 12 |
| 2 | 9 20 20 39 | 千葉県北西部 | 4.3 | ・・・ | 3：千葉県 佐倉市海隣寺町* | 8 |
| 3 | 9 21 11 25 | 国後島付近 | 6.0 | M・S・ | 4：北海道 別海町常磐 ほか 2 地点 | 4 |

注 1) 主な地震とは、M6.0 以上、震度 4 以上、内陸 M4.0 以上かつ震度 3、海域 M5.0 以上かつ震度 3、その他注目した地震を指す。

注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査された後、修正されることがある。

注 3) M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注 4) 最大震度の観測点名にある * 印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報であることを表す。

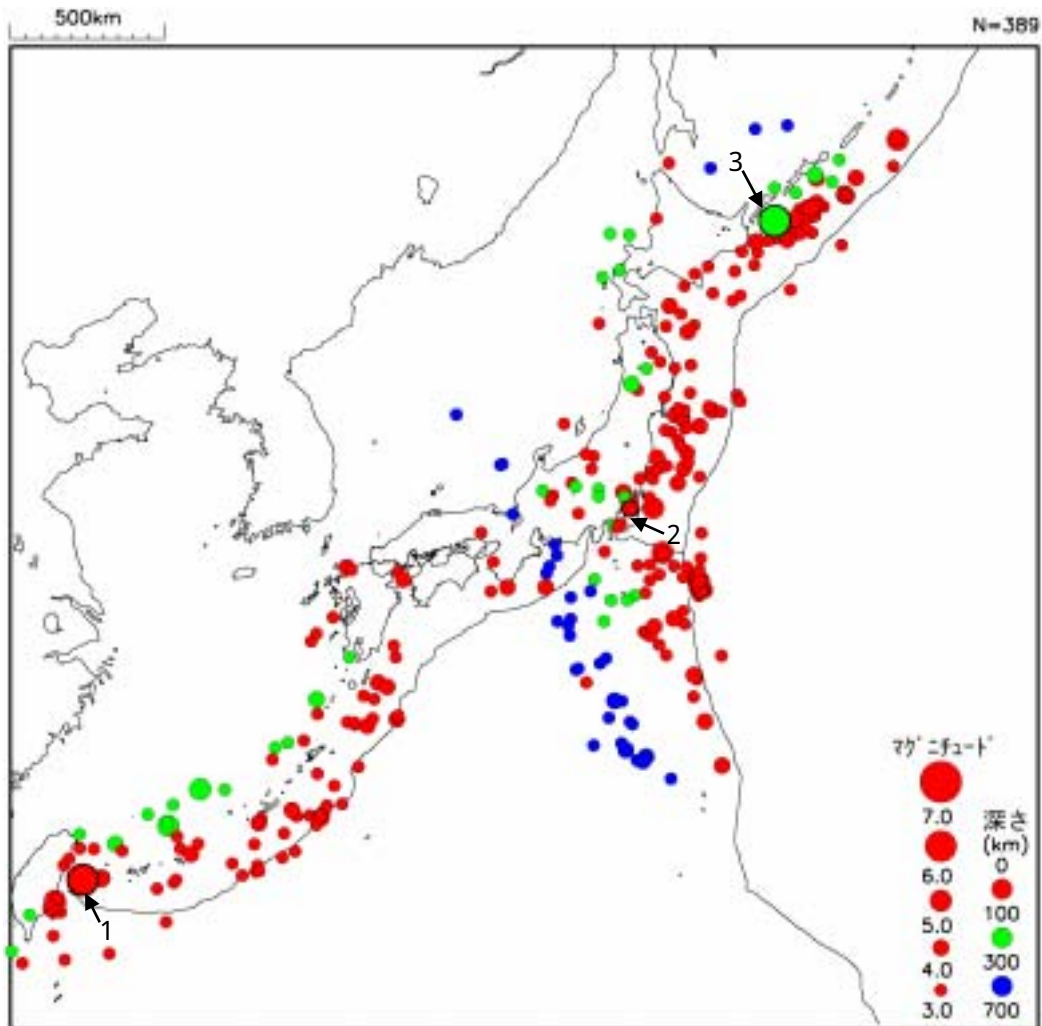
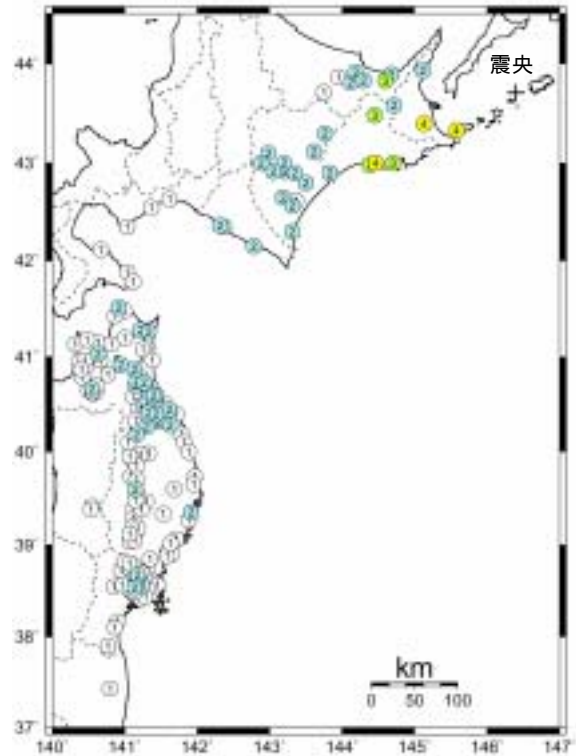
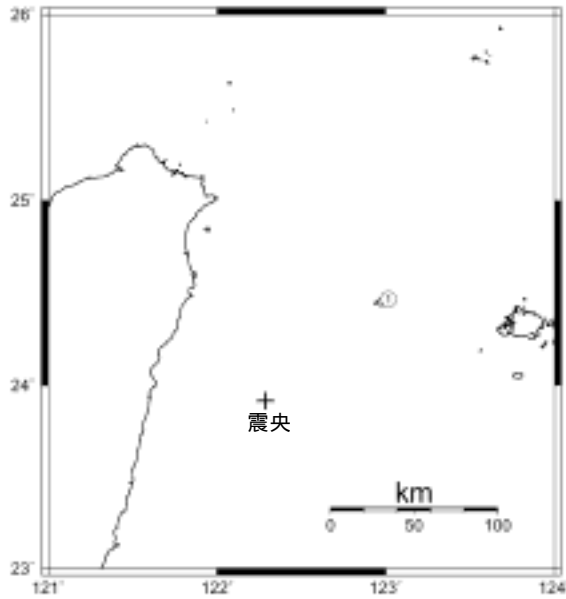


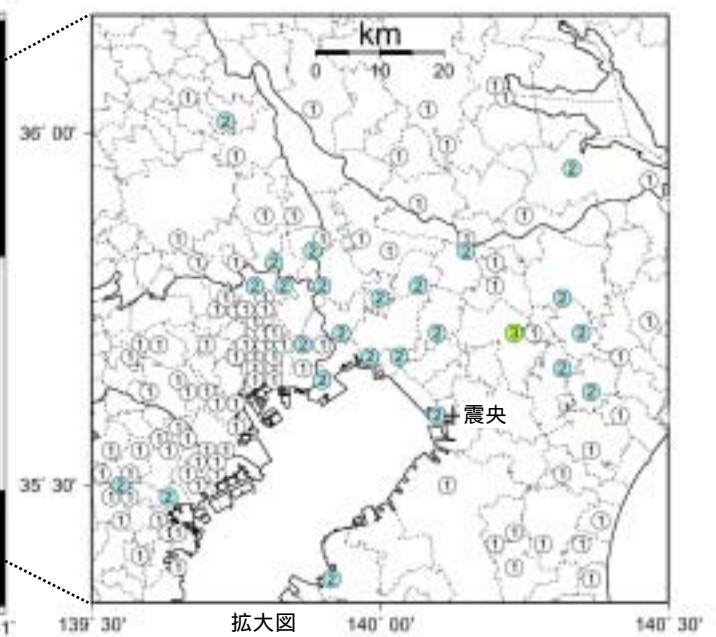
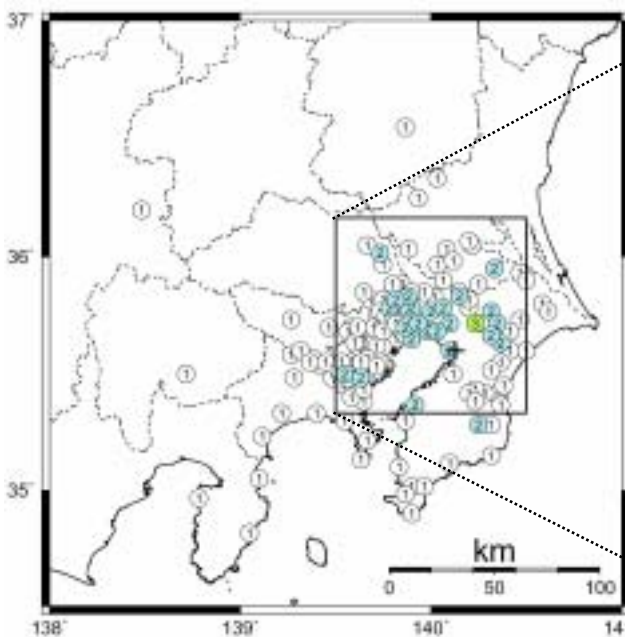
図 1 2005 年 9 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応する)

図 2 各観測点の震度分布図（数字は表 1，図 1 の番号に対応する）

No. 1 : 9 / 6 10:16 台湾付近 (M6.0, 深さ 14km, 最大震度 1)



No. 3 : 9 / 21 11:25 国後島付近 (M6.0, 深さ 103km, 最大震度 4)



No. 2 : 9 / 20 20:39 千葉県北西部 (M4.3, 深さ 72km, 最大震度 3)

北海道地方の地震活動

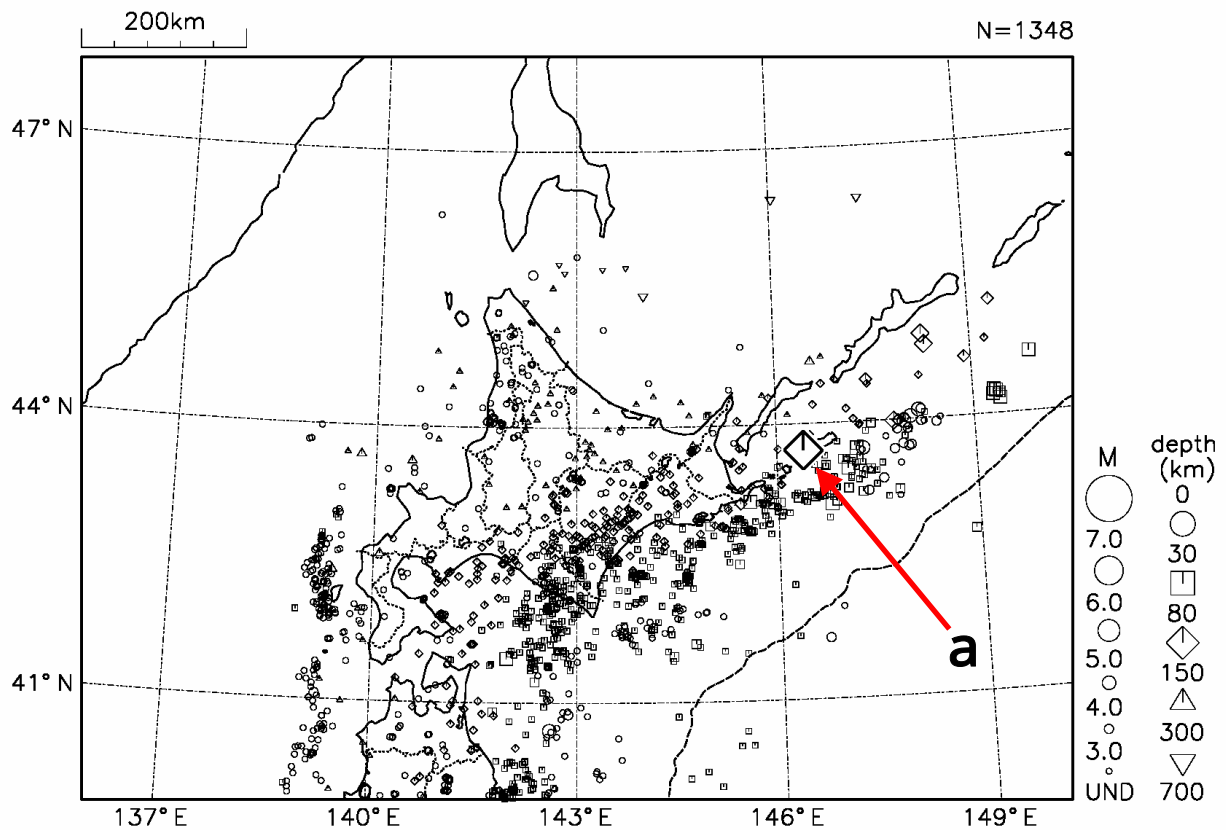


図3 北海道地方の震央分布図（2005年9月1日～9月30日）

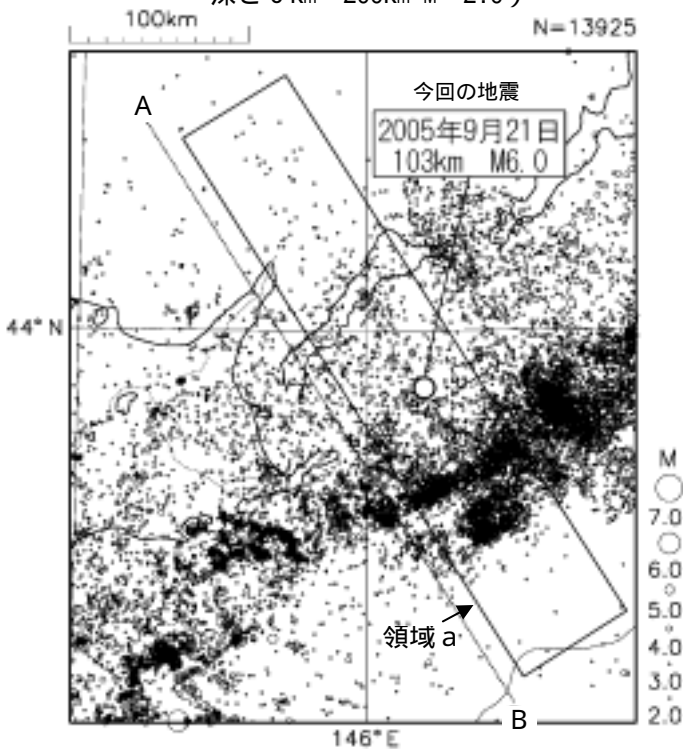
[概況]

9月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は5回（8月は13回）であった。9月中の主な活動は次のとおりである。

9月21日11時25分、国後島付近の深さ103kmでM6.0の地震（図3中のa）が発生し、北海道の釧路町、別海町、根室市で震度4を観測したほか、北海道から東北地方で震度3～1を観測した（p4を参照）。

9 月 21 日 国後島付近の地震

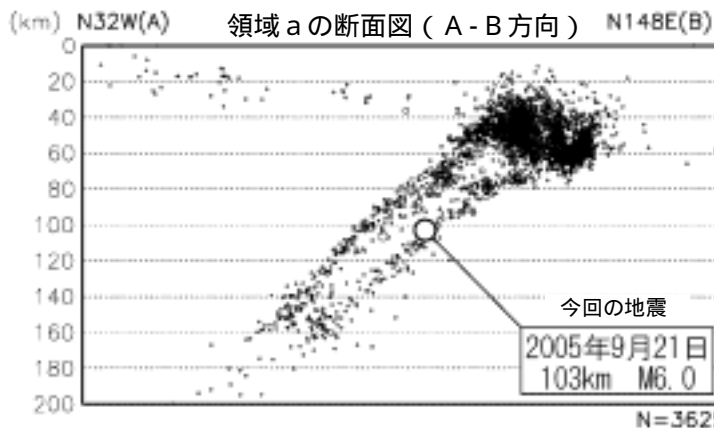
震央分布図（1997 年 10 月 1 日～2005 年 9 月 30 日
深さ 0 km～200km M 2.0）



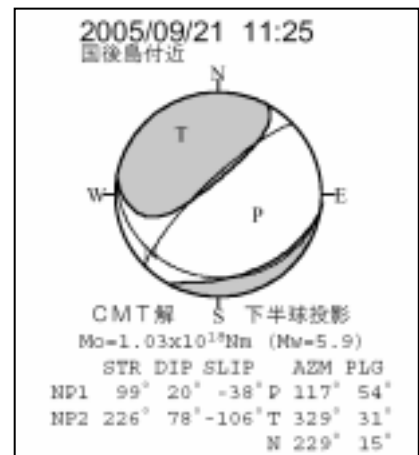
9 月 21 日 11 時 25 分、国後島付近の深さ 103km で M6.0 (最大震度 4) の地震が発生した。

発震機構は沈み込む方向(北西 - 南東方向)に張力軸を持つ型で、太平洋プレートの内部(二重地震面の下面)で発生した地震である。

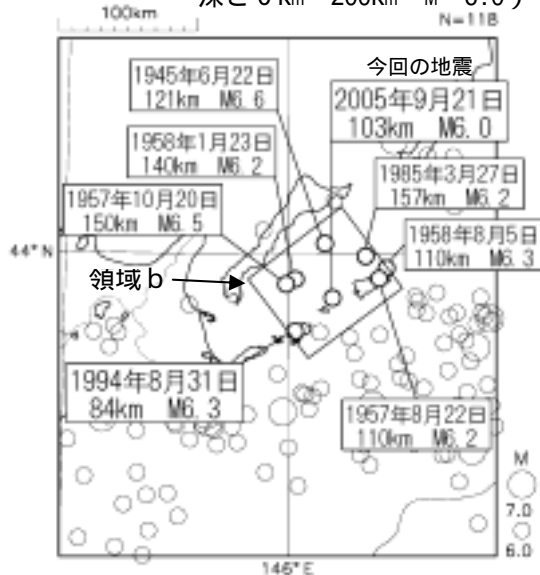
この付近では 1994 年 8 月 31 日に深さ 84km で M6.3 (最大震度 5) の地震が発生しており、軽傷者 1 名、家屋の損壊等の被害が発生した。



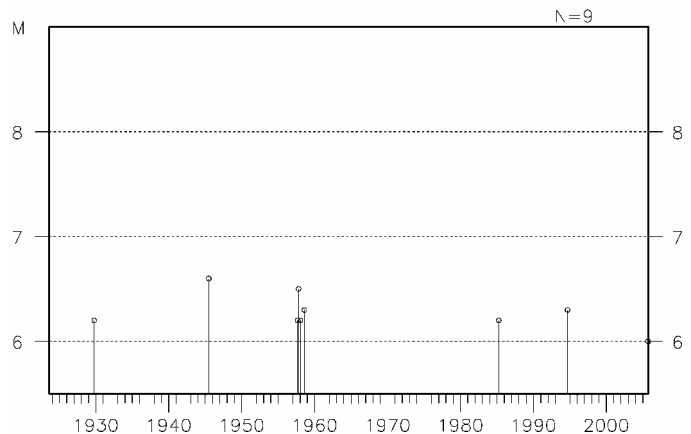
今回の地震の発震機構 (CMT 解)



震央分布図（1923 年 8 月 1 日～2005 年 9 月 30 日
深さ 0 km～200km M 6.0）



領域 b 内の M - T 図



東北地方の地震活動

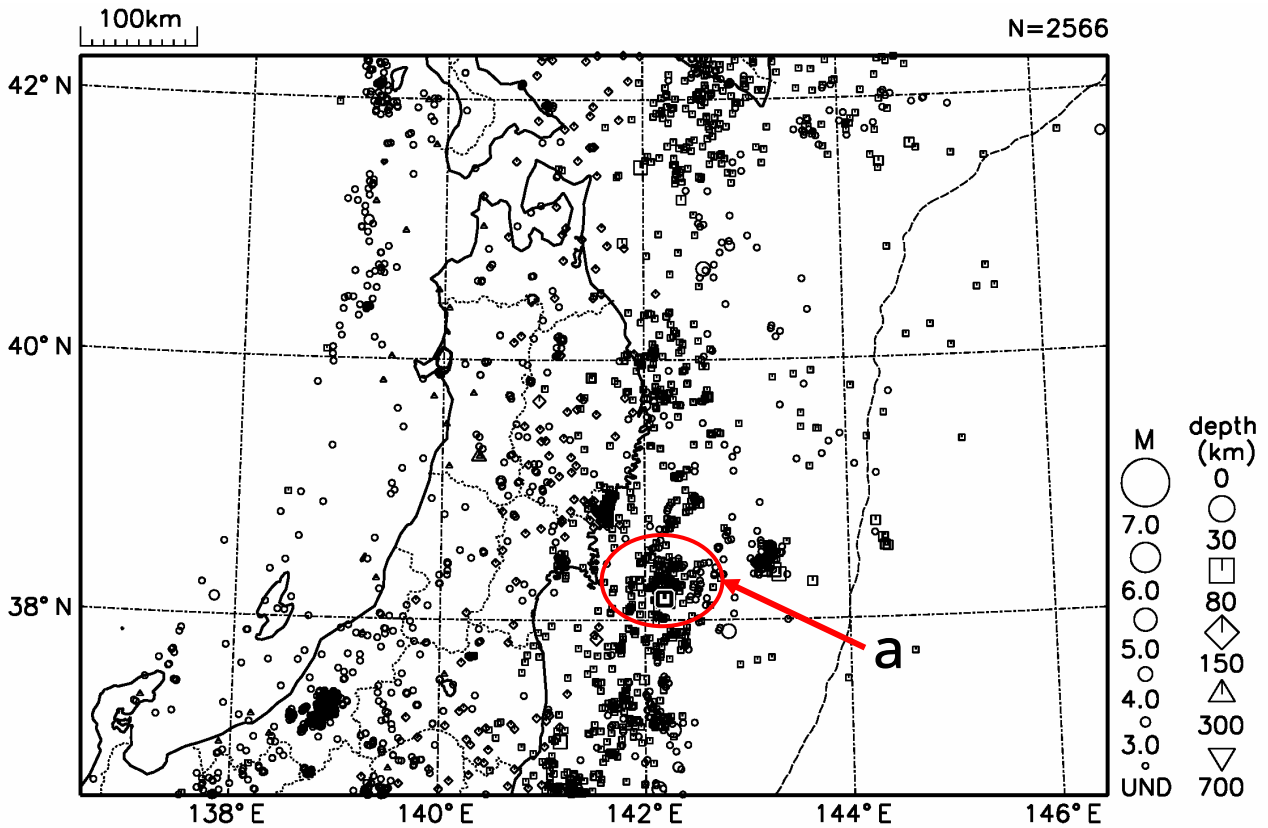


図4 東北地方の震央分布図（2005年9月1日～9月30日）

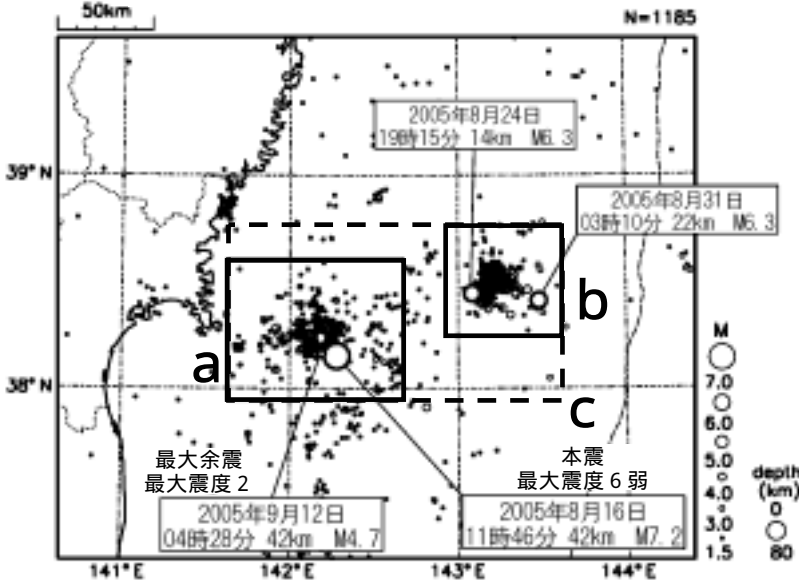
[概況]

9月に東北地方で震度1以上を観測した地震は26回（8月は45回）であった。
9月中の主な地震は次の通りである。

先月（8月）16日11時46分に発生した宮城県沖の地震（M7.2、最大震度6弱）の余震活動（図4中のa）は、低調ながらも継続しています（p6を参照）。9月12日04時28分に本震の西側の深さ42kmでM4.7の最大余震が発生し、宮城県の4地点で震度2を観測したほか、岩手・宮城・福島県で震度1を観測した。

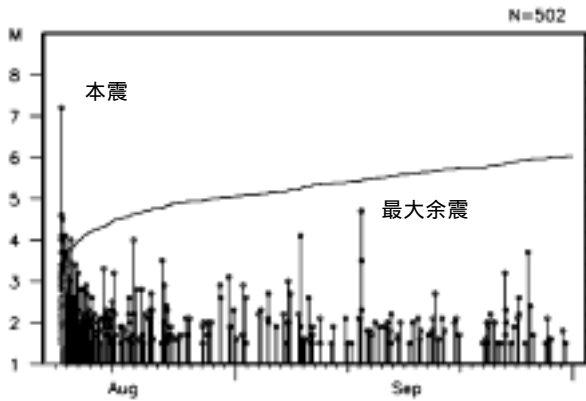
8 月 16 日 宮城県沖の地震の余震活動

震央分布図
 (2005 年 8 月 16 日 ~ 2005 年 9 月 30 日
 深さ 0 km ~ 80 km M 1.5)

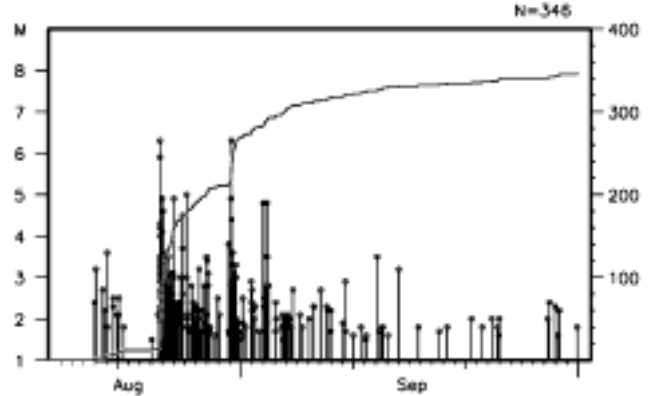


8 月 16 日 11 時 46 分に発生した宮城県沖の地震 (M7.2) の余震活動は、9 月 12 日 04 時 28 分に本震の西の深さ 42km で M4.7 の最大余震 (最大震度 2) が発生したものの、活動は低調であった。また、8 月 24 日と 31 日に M6.3 の地震が発生した北東側の地震活動も順調に減衰している。

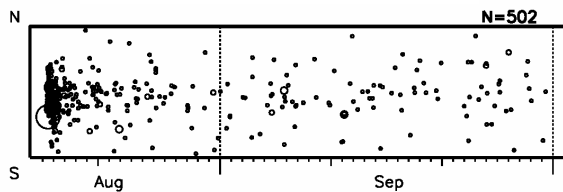
a 領域の M - T 図と回数積算図



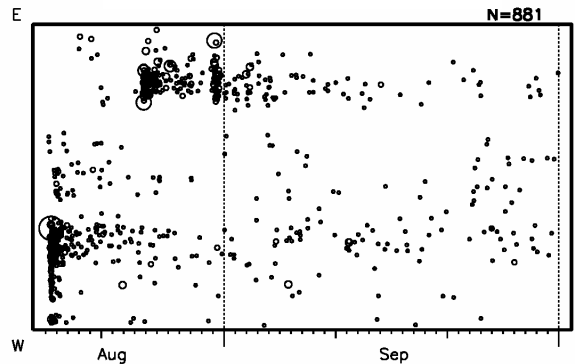
b 領域の M - T 図と回数積算図



a 領域の南北時空間分布図



c 領域の東西時空間分布図



a 領域内で震度 1 以上を観測した地震の震度別回数表
 (8 月 16 日 ~ 9 月 30 日 本震を含む)

| 期間 | 最大震度別回数 | | | | | | | | 合計 |
|-----------|---------|---|---|---|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5弱 | 5強 | 6弱 | 6強 | |
| 8月16日~20日 | 10 | 3 | | | | | 1 | | 14 |
| 21日~31日 | 1 | | | | | | | | 1 |
| 9月1日~10日 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 11日~20日 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 21日~30日 | 1 | | | | | | | | 1 |
| 合計 | 13 | 4 | | | | | 1 | | 18 |

関東・中部地方の地震活動

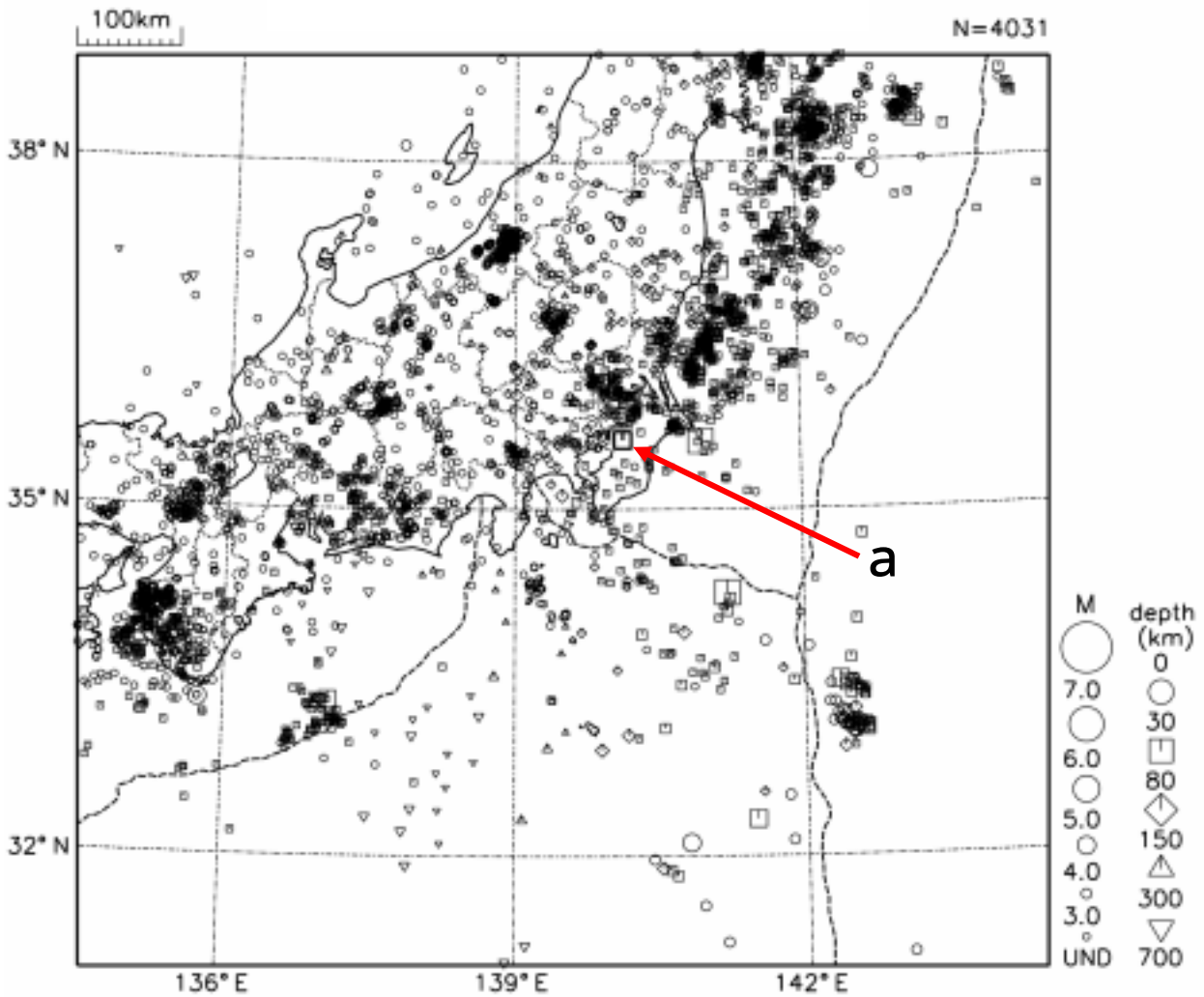


図5 関東・中部地方の震央分布図（2005年9月1日～9月30日）

[概況]

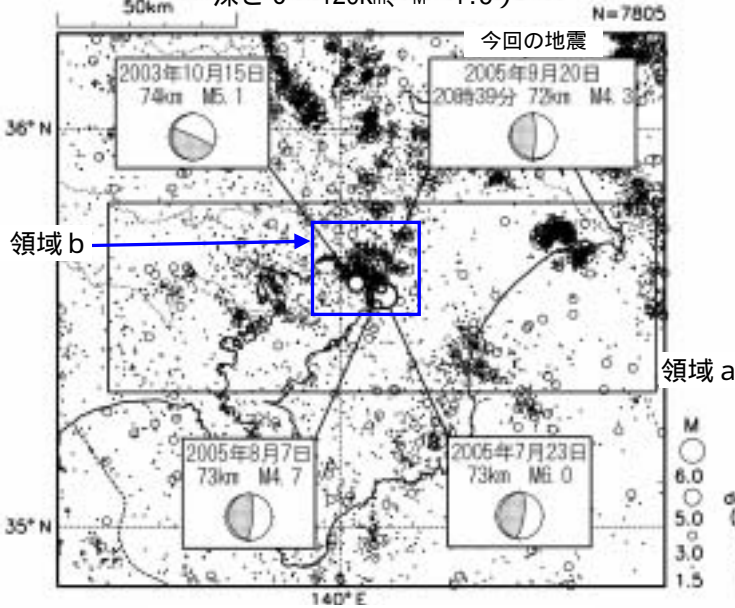
9月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は34回（8月は53回）であった。
9月中の主な活動は次の通りである。

20日20時39分、千葉県北西部でM4.3の地震（図5中のa）があり、千葉県佐倉市で震度3を観測したほか、関東地方を中心に震度2～1を観測した（p8を参照）。

9 月 20 日 千葉県北西部の地震

震央分布図

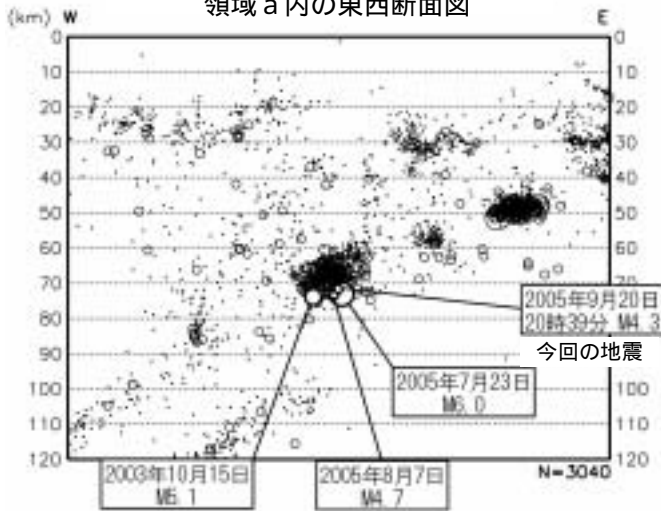
(2000 年 1 月 1 日 ~ 2005 年 9 月 30 日
深さ 0 ~ 120km、M 1.5)



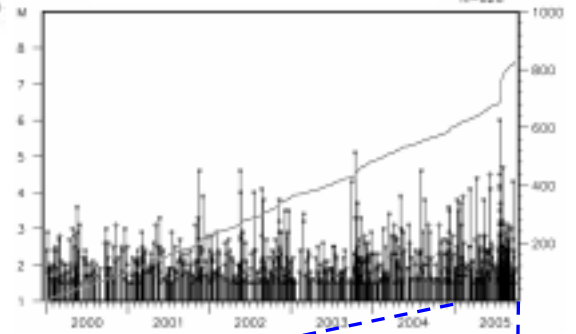
2005 年 9 月 20 日 20 時 39 分に千葉県北西部の深さ 72km で M4.3 (最大震度 3) の地震が発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界付近で発生した地震である。今回の地震の震源付近では 7 月 23 日に M6.0 (最大震度 5 強) の地震が発生しており、この地震以降、地震活動の活発な状態が続いている。

1923 年 8 月以降、この付近では M6.0 以上の地震が 6 回観測されている。1950 年代には M6.0 以上の地震が 3 回観測されており、地震活動がやや活発であった。

領域 a 内の東西断面図

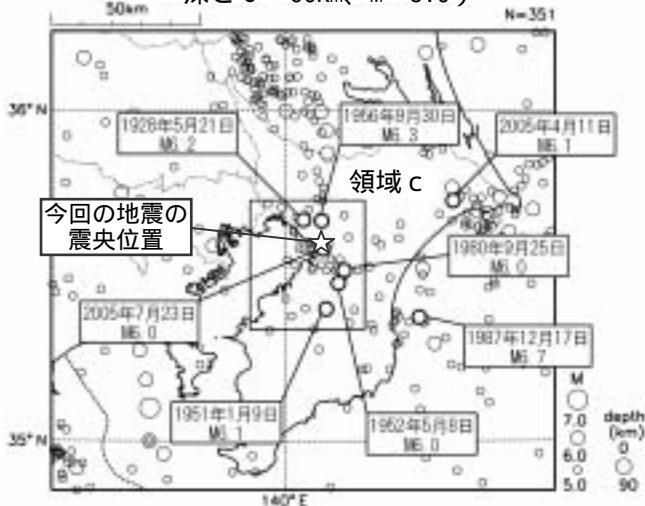


領域 b 内の M - T 図及び回数積算図
(深さ 55km ~ 80km)

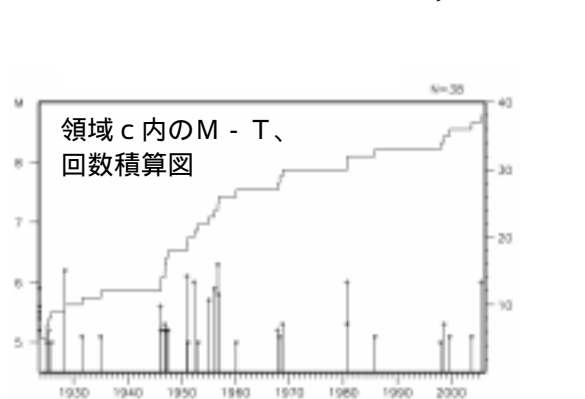


震央分布図

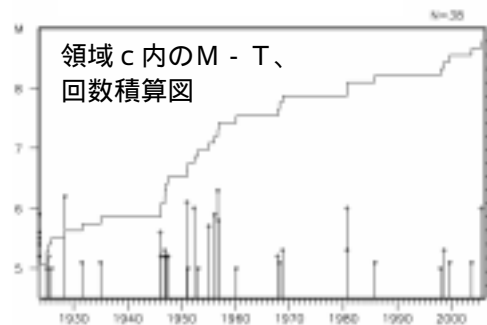
(1923 年 8 月 1 日 ~ 2005 年 9 月 30 日
深さ 0 ~ 90km、M 5.0)



領域 b 内の M - T 図及び回数積算図
(2005 年 1 月 1 日 ~ 9 月 30 日
深さ 55km ~ 80km、M すべて)



領域 c 内の M - T、
回数積算図



近畿・中国・四国地方の地震活動

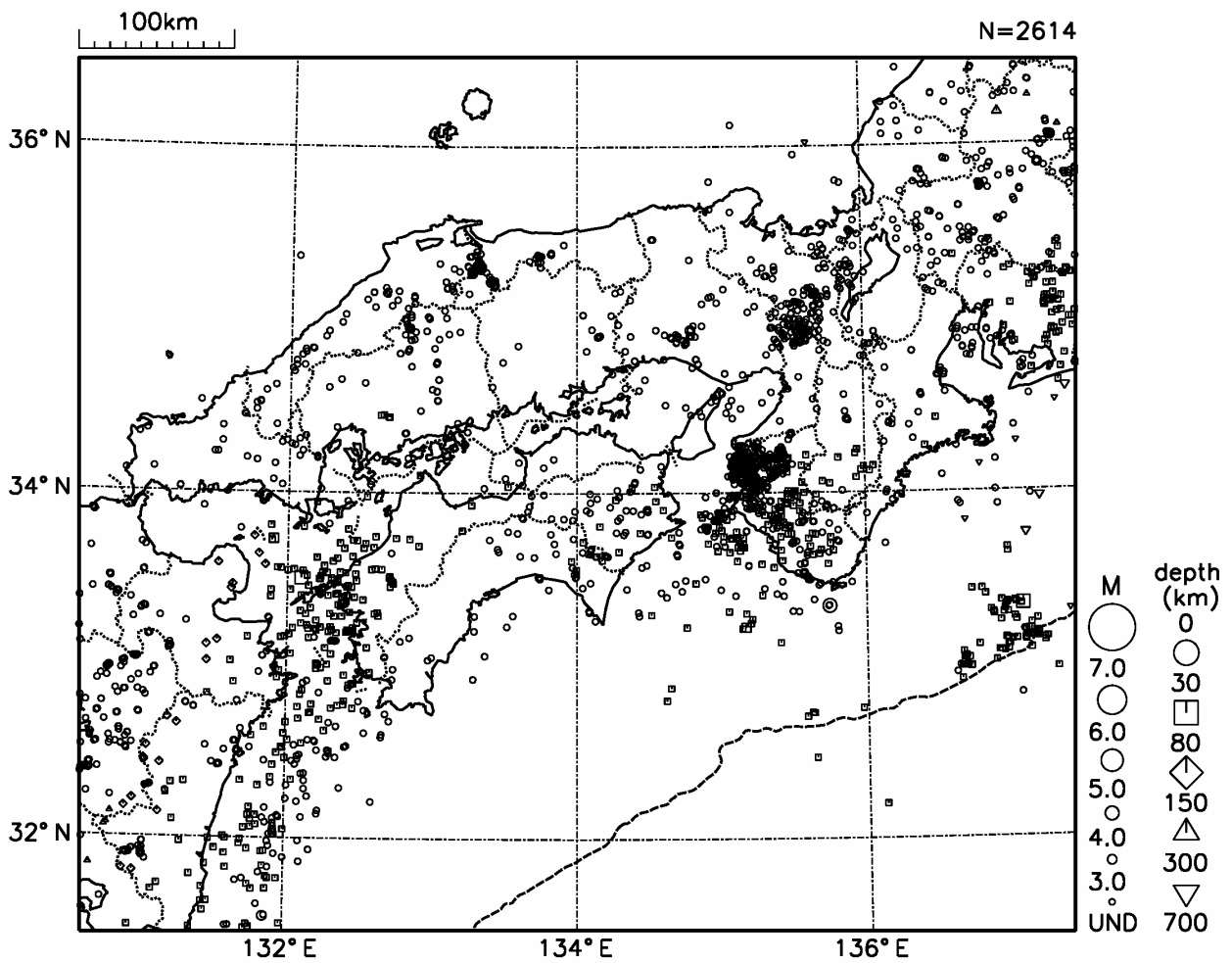


図 6 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2005 年 9 月 1 日～9 月 30 日）

[概況]

9 月に近畿・中国・四国地方で震度 1 以上を観測した地震は 12 回（8 月は 14 回）であった。
9 月中、特に目立った活動はなかった。

九州地方の地震活動

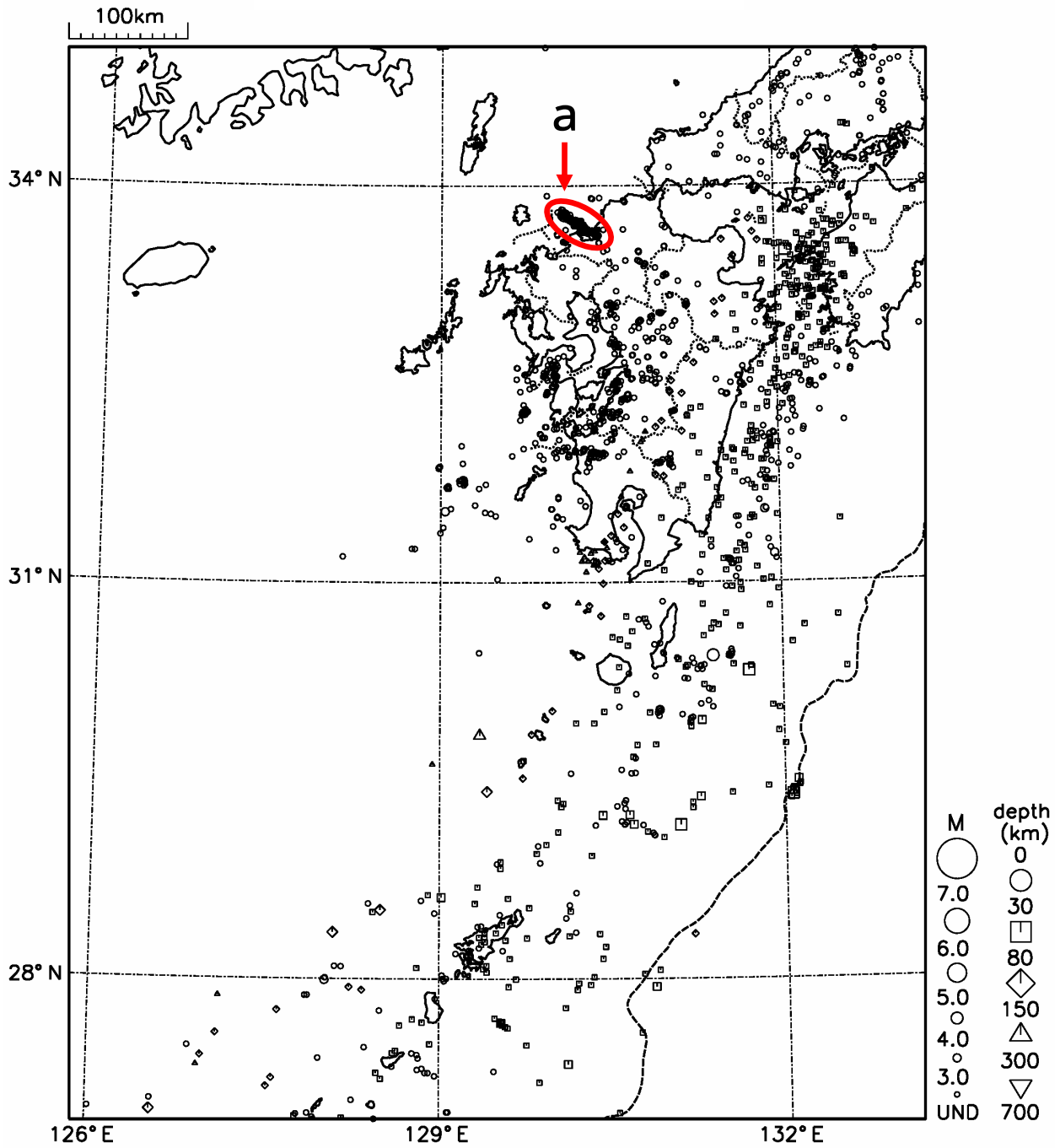


図7 九州地方の震央分布図（2005年9月1日～9月30日）

[概況]

9月に九州地方で震度1以上を観測した地震は15回（8月は20回）であった。9月中の主な活動は次の通りである。

3月20日10時53分に発生した福岡県西方沖の地震（M7.0、最大震度6弱）の余震活動（図7中のa）は順調に減衰している。9月中の最大規模の余震は、12日20時18分に発生したM4.1の地震（最大震度2）であった。

沖縄地方の地震活動

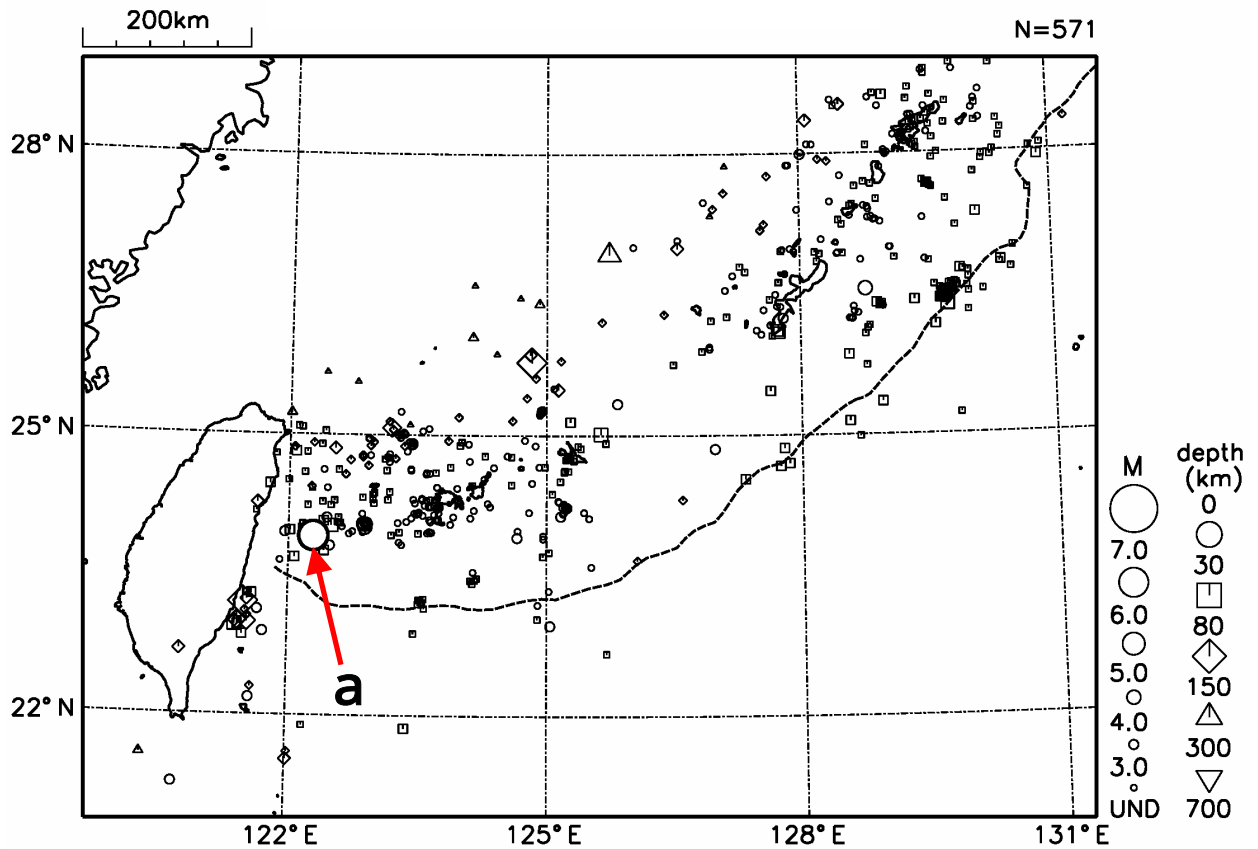


図 8 沖縄地方の震央分布図(2005年9月1日～9月30日)

[概況]

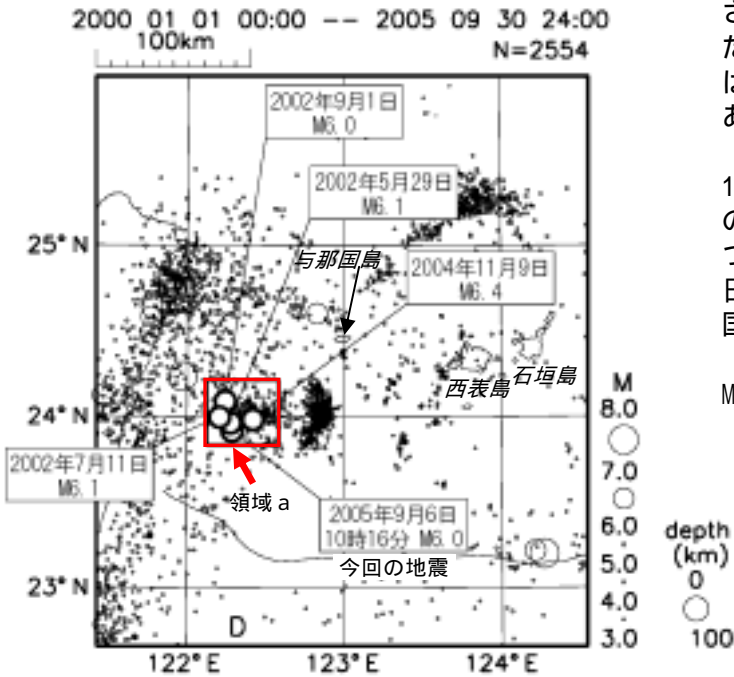
9月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は9回（8月は3回）であった。
9月中の主な活動は次の通りである。

6日10時16分、台湾付近でM6.0の地震（図8中のa）があり、与那国島で震度1を観測した（p12を参照）。

9 月 6 日 台湾付近の地震

震央分布図

（2000 年以降、M 3.0、深さ 100km 以浅）

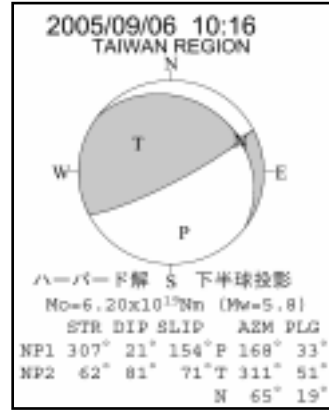


2005 年 9 月 6 日 10 時 16 分に台湾付近の深さ 14km で M6.0(最大震度 1)の地震が発生した。発震機構(ハーバード大学による CMT 解)は、ほぼ南北方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

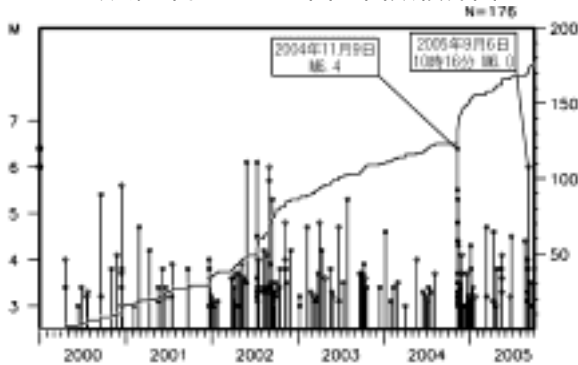
今回の地震活動があった付近では、2004 年 11 月 9 日に M6.4 の地震が発生している。この地震の発震機構もほぼ南北に圧力軸を持つ逆断層型であった。また、2001 年 12 月 18 日の M7.3 の地震(最大震度 4)では、与那国島で約 10cm の津波を観測した。

今回地震の起こった周辺(領域 b)では、M6 ~ 7 クラスの地震が多く発生している。

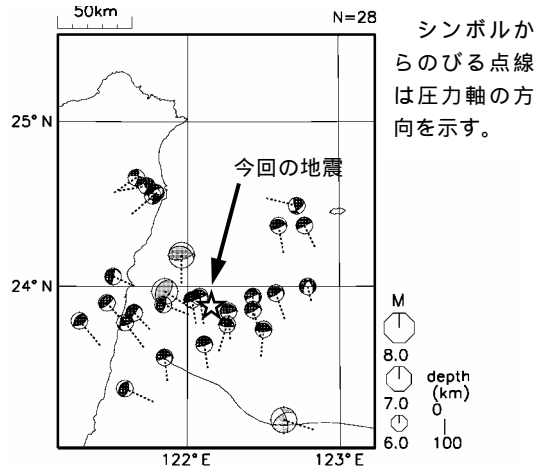
今回の地震の発震機構
(ハーバード大学による CMT 解)



領域 a 内の M - T 図と回数積算図

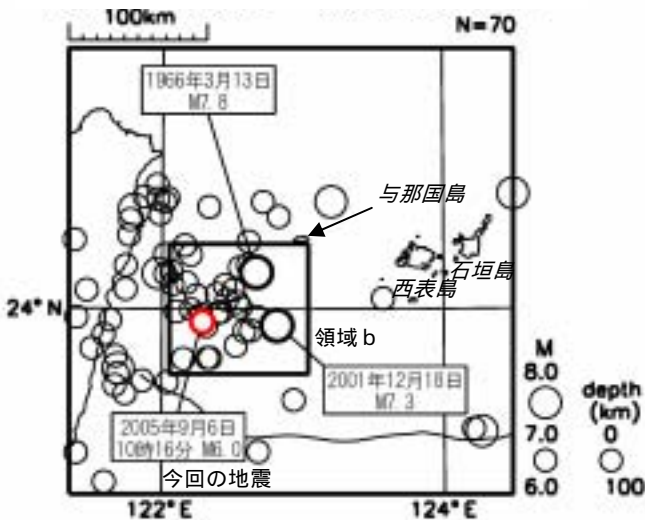


発震機構分布図 (P 軸表示)
(ハーバード大学による、M 6.0、100km 以浅)

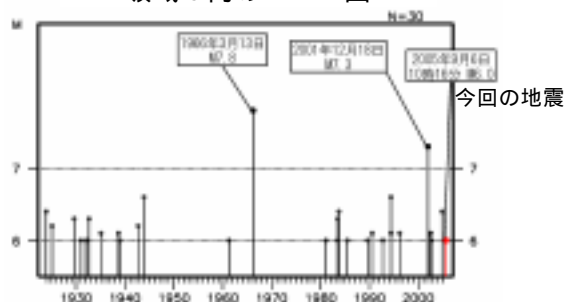


震央分布図

（1923 年以降、M 6.0、深さ 100km 以浅）



領域 b 内の M - T 図



東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

[概況]

とくに目立った活動はなかった。

[地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

9月26日に気象庁において第233回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会(定例会)を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した(図2~9)。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

全般的には顕著な地震活動はありません。浜名湖直下で通常より活動レベルの低い状態が続いていますが、その他の地域では概ね平常レベルです。

地殻変動については、昨年9月5日の東海道沖(紀伊半島南東沖)のM7.4の地震以降、この地震による余効変動と見られる動きが観測されていましたが、最近はこの地震以前の状態に戻り、プレート境界のゆっくり滑りに起因すると思われる長期的な地殻変動が継続している状況が見られます。

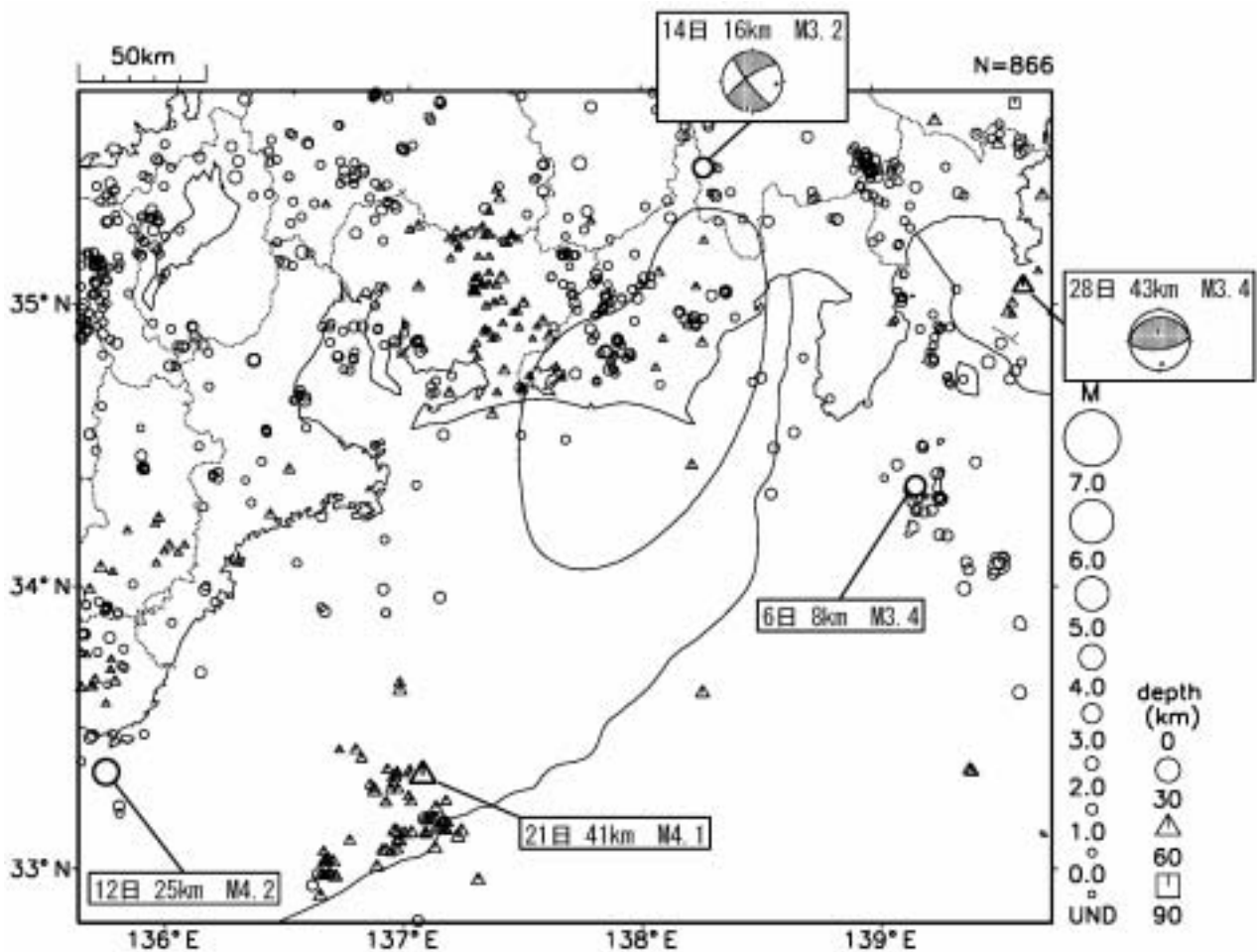


図1 震央分布図(2005年9月1日~30日:深さ90km以浅、Mすべて。M3.0以上の地震(東海道沖はM4.0以上)に「日、深さ、M」を付けた。すぐ下の図はP波初動による発震機構(下半球投影)。図中のなすび型の領域は東海地震の想定震源域。)

6日09時21分、新島・神津島近海の深さ8kmでM3.4の地震があり、最大震度3を観測した。

12日18時35分、紀伊半島沖の深さ25kmでM4.2の地震があり、最大震度2を観測した。(p15を参照)

14日07時47分、山梨県中西部の深さ16kmでM3.2の地震があり、最大震度1を観測した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、陸域の地殻内で発生した地震と考えられる。(p16を参照)

21 日 02 時 04 分、東海道沖の深さ 41km で M4.1 の地震があった。昨年の 9 月 5 日に東海道沖の深さ 44km で発生した M7.4 の地震の余震と考えられる。M4.0 以上の余震が発生したのは、今年の 4 月 22 日以来であった。

28 日 23 時 44 分、相模湾の深さ 43km で M3.4 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震機構は南北方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートの沈み込みに伴い発生した地震と考えられる。

注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

[東海地域の地震活動の頁で使われる用語]

・「想定震源域」(図 1) と「固着域」(図 4)

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ除去」(図 4, 5)

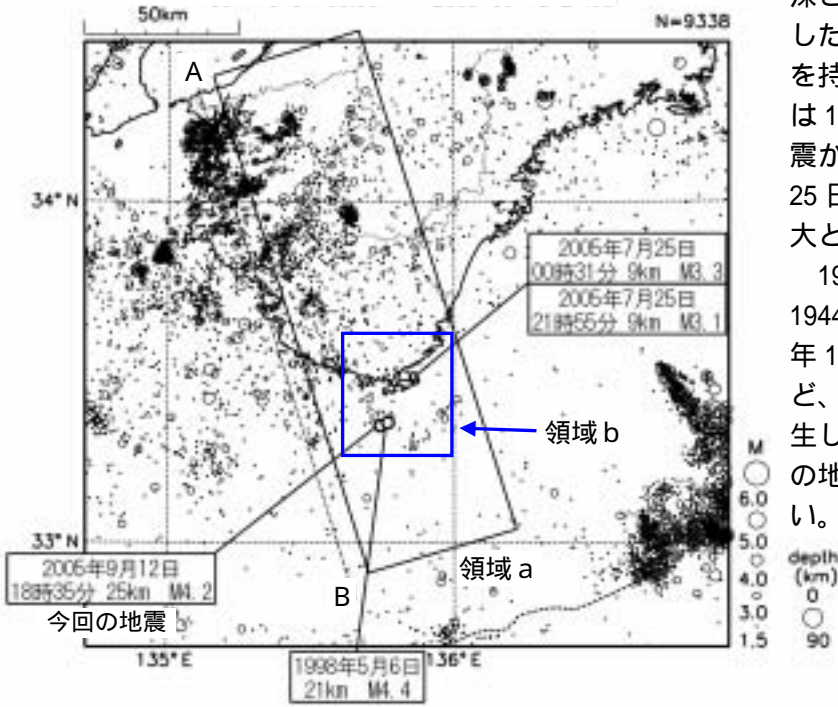
地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後起きる余震」、「群発地震」などが典型的な群(クラスタ)で、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。震央距離が 3 km 以内、発生時間差が 7 日以内の地震をクラスタと見なし、最大地震で代表させている。

・東海地域の地震活動

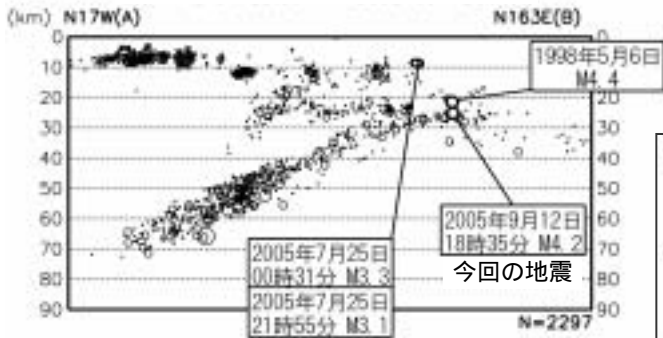
大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年(1978 年)12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域(以下、「強化地域」という。)として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年(2002 年)4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 216 市町村(平成 17 年 4 月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度 6 弱以上(一部地域では震度 5 強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。気象庁では東海地震の直前の前兆現象を捕らえるため、地震、地殻変動等の観測データを常時監視している。

9 月 12 日 紀伊半島沖の地震

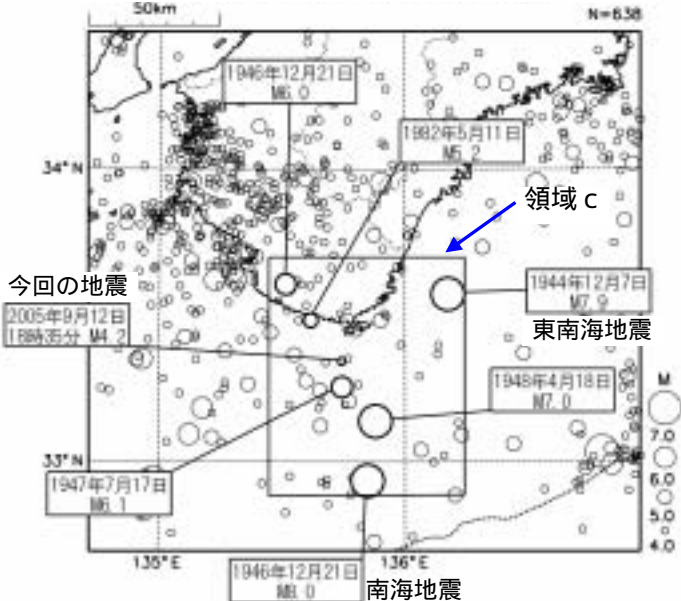
震央分布図（1997 年 10 月以降、M 1.5）



領域 a 内の断面図（A - B 投影）



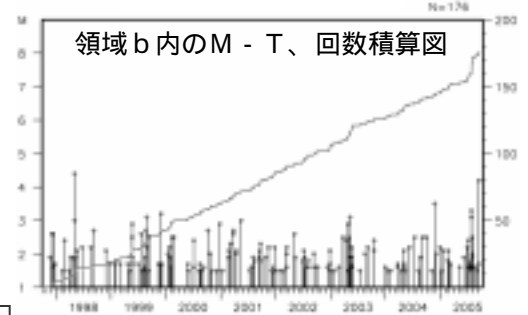
震央分布図（1923 年 8 月以降、M 4.0）



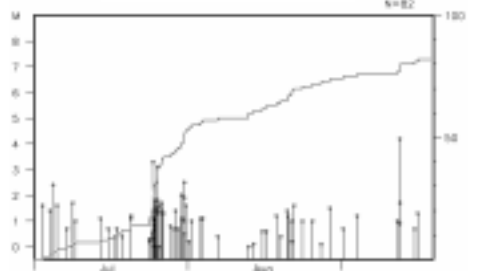
2005 年 9 月 12 日 18 時 35 分に紀伊半島沖の深さ 25km で M4.2（最大震度 2）の地震が発生した。発震機構（参考解）は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。付近では、最近では 1998 年 5 月 6 日に M4.4（最大震度 3）の地震が発生している。なお、7 月後半には、7 月 25 日に発生した M3.3（最大震度 1）の地震を最大とする、地殻内の浅い地震活動がみられた。

1923 年 8 月以降、今回の地震の震央付近では、1944 年 12 月 7 日の東南海地震 (M7.9) 及び 1946 年 12 月 21 日の南海地震 (M8.0) が発生するなど、1940 年代後半に M6.0 以上の地震が 5 回発生しているが、最近では 1982 年 5 月 11 日の M5.2 の地震以降、M5.0 を超える地震は発生していない。

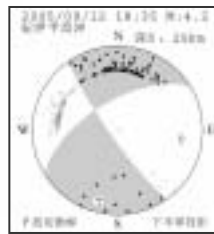
領域 b 内の M - T、回数積算図



領域 b 内の M - T、回数積算図（7 月 1 日 ~ 9 月 18 日、M すべて）



今回の地震の発震機構解（参考解）



領域 c 内の M - T 図

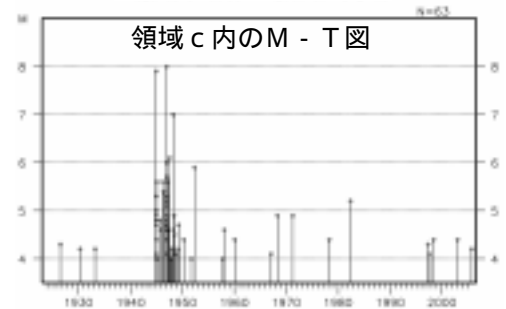
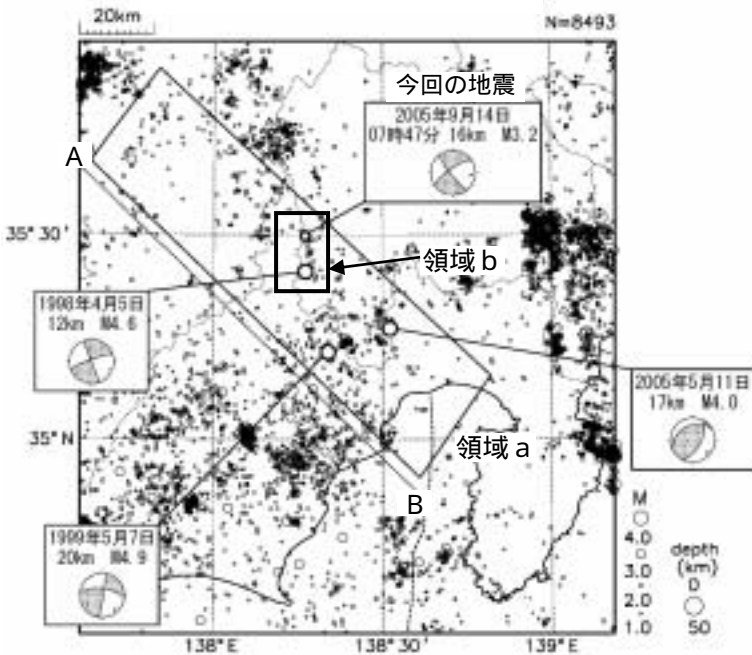


図 2 紀伊半島沖の地震

9 月 14 日 山梨県中西部の地震

震央分布図（1997 年 10 月以降、M 1.0）

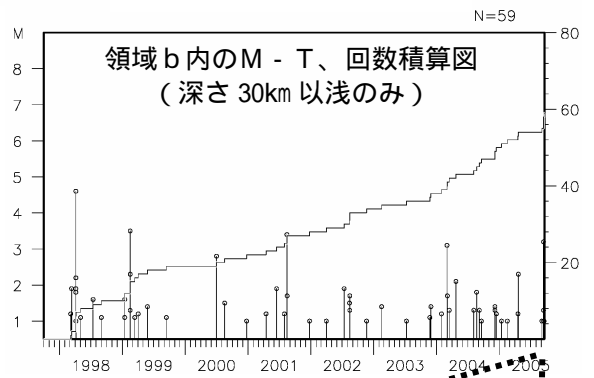
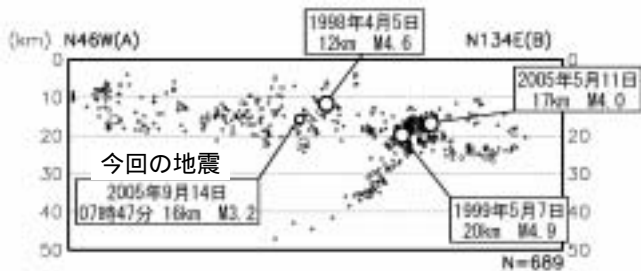


2005 年 9 月 14 日 07 時 47 分に山梨県中西部の深さ 16km で M3.2（最大震度 1）の地震が発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、陸域の地殻内で発生した地震と考えられる。余震活動は、9 月 15 日まではほぼおさまった。

今回の地震の付近では、M3 以上の地震が 1 年に 1 回程度発生している（領域 b）。また、今回の地震の周辺においては最近では 2005 年 5 月 11 日に陸のプレートとフィリピン海プレートの境界付近で M4.0 の地震が発生している（領域 a）

1923 年 8 月以降の活動をみると、今回の地震の付近では、1938 年 7 月 30 日に M4.2 の地震が発生している。今回の地震周辺では、M4.0 以上の地震はあまり発生していない。

領域 a 内の断面図（A - B 投影）



震央分布図（1923 年 8 月以降、M 4.0）

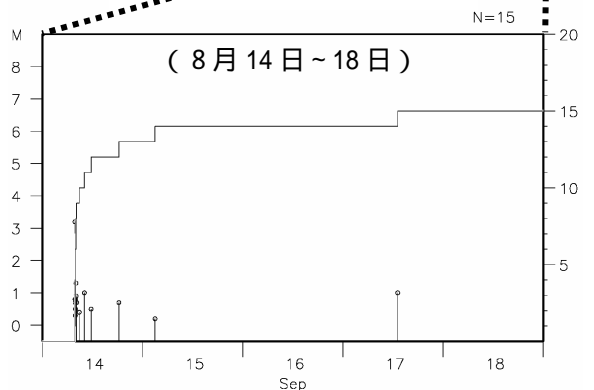
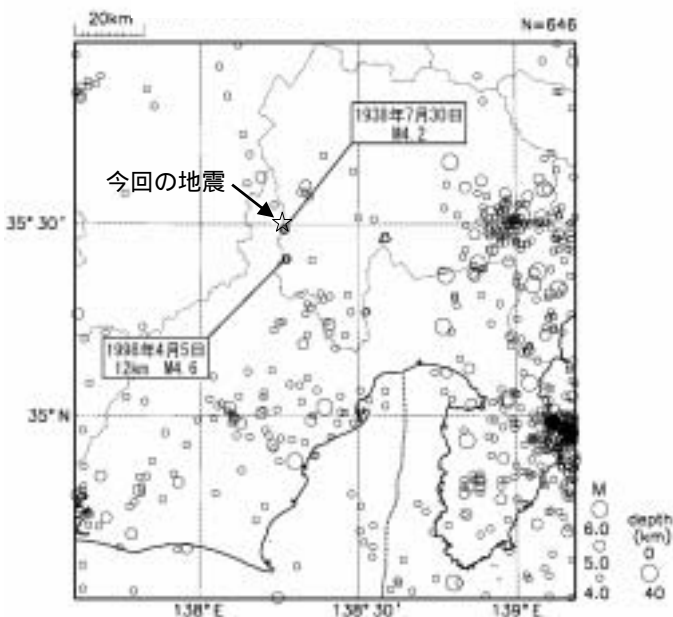


図 3 山梨県中西部の地震

東海地域の地震活動指数

（クラスタを除いた地震回数による）

2005 年 9 月 20 日 現在

| | ① 固着域 | | ② 愛知県 | | ③ 浜名湖 | | | ④ 駿河湾 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|--------------|-------------|---------------|
| | 地殻内 | フィリピン海プレート | 地殻内 | フィリピン海プレート | フィリピン海プレート内 | | | 全域 |
| | | | | | 西側 | 全域 | 東側 | |
| 短期活動指数 | 8 | 5 | 5 | 4 | 4 | 2 | 2 | 4 |
| 短期地震回数 （平均） | 15 (6.18) | 7 (5.83) | 6 (4.37) | 12 (12.63) | 1 (2.38) | 2 (6.08) | 1 (3.70) | 5 (6.18) |
| 中期活動指数 | 8 | 5 | 5 | 4 | 4 | 2 | 2 | 4 |
| 中期地震回数 （平均） | 31 (18.53) | 21 (17.50) | 15 (13.11) | 37 (37.90) | 4 (4.76) | 7 (12.15) | 4 (7.39) | 11 (12.37) |

* Mしきい値：

M \geq 1.1：固着域、愛知県、浜名湖、M \geq 1.4：駿河湾

* クラスタ除去：

震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7$ 日：固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10$ 日：駿河湾

* 対象期間：

短期：30日間（固着域、愛知県）、90日間（浜名湖、駿河湾）

中期：90日間（固着域、愛知県）、180日間（浜名湖、駿河湾）

* 基準期間：

1997年—2001年（5年間）：固着域、愛知県、1998年—2000年（3年間）：浜名湖

1991年—2000年（10年間）：駿河湾

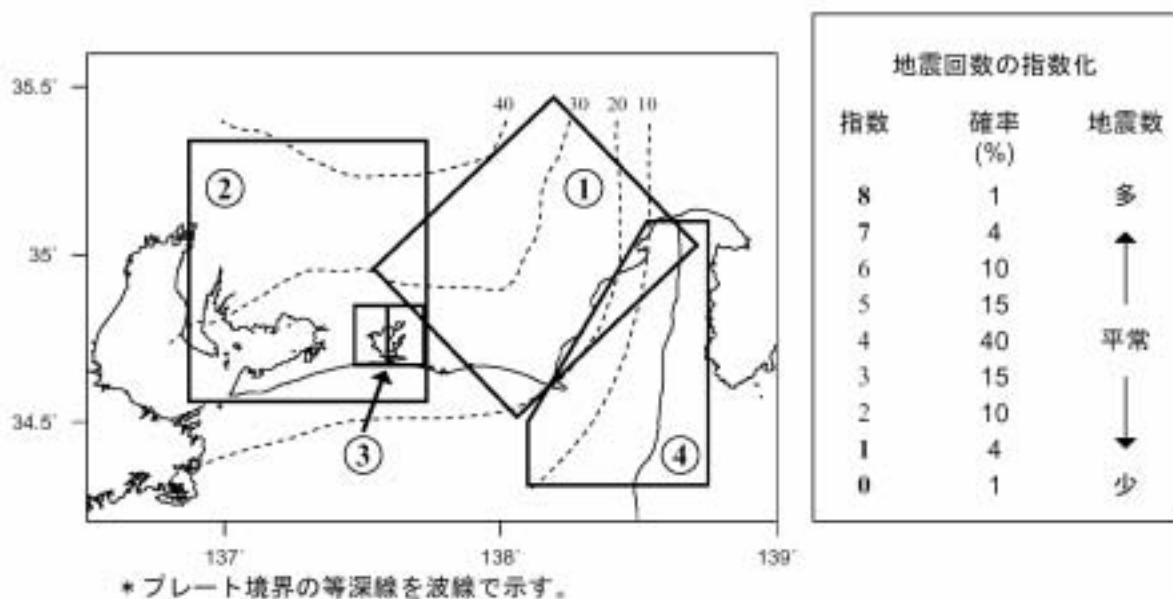
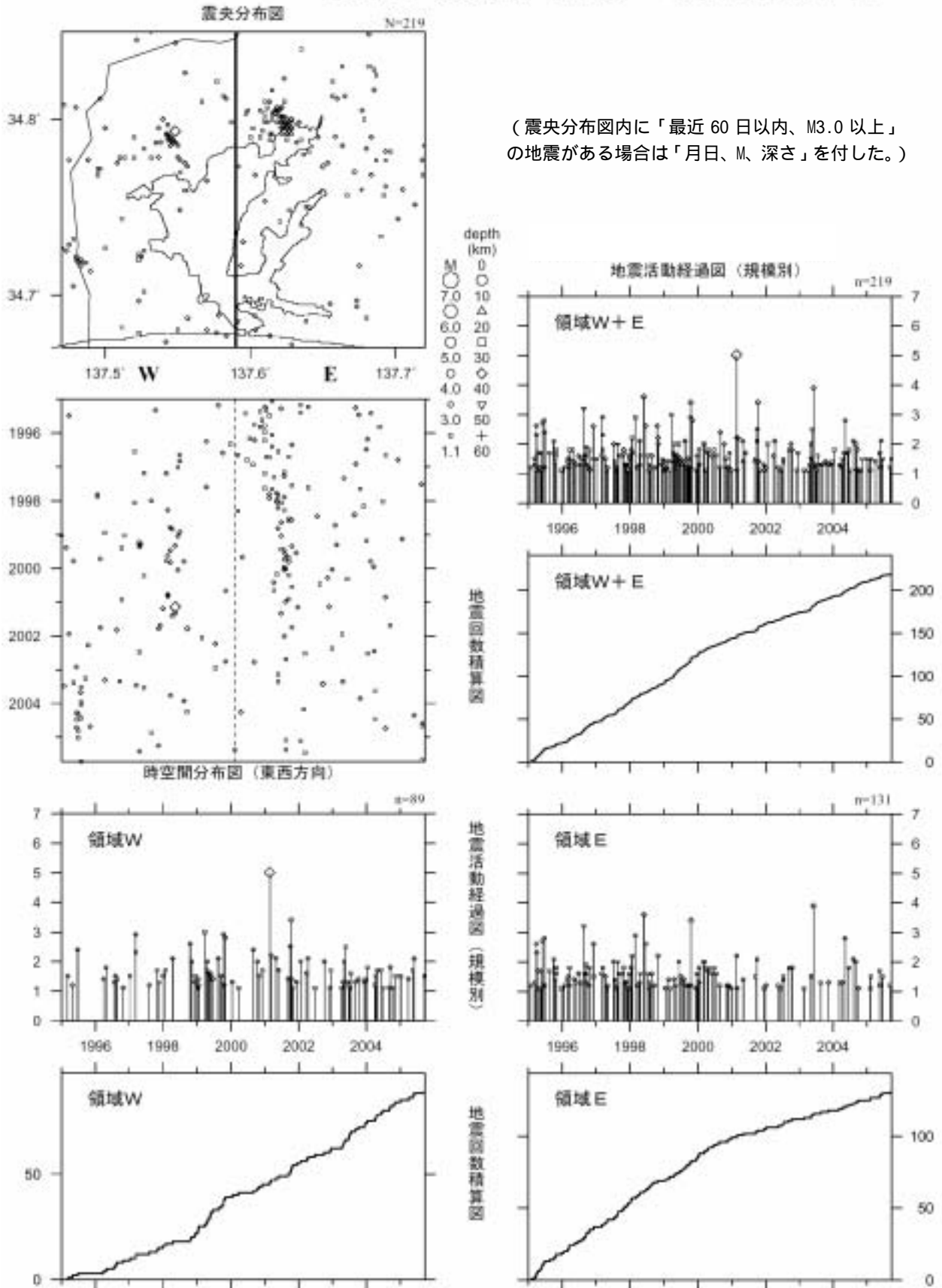


図 4 東海地域の地震活動指数

固着域の地殻内の活動指数が高くなった。これは、固着域の地殻内で散発的に地震活動がやや活発化したことによると考えられる（最大 M2.0）。浜名湖全域および東側は、活動指数の低い状態が継続している。それ以外の地域は平常の活動であった。

浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/ 1/ 1~2005/ 9/ 20 M ≥ 1.1 * クラスタ除去したデータ



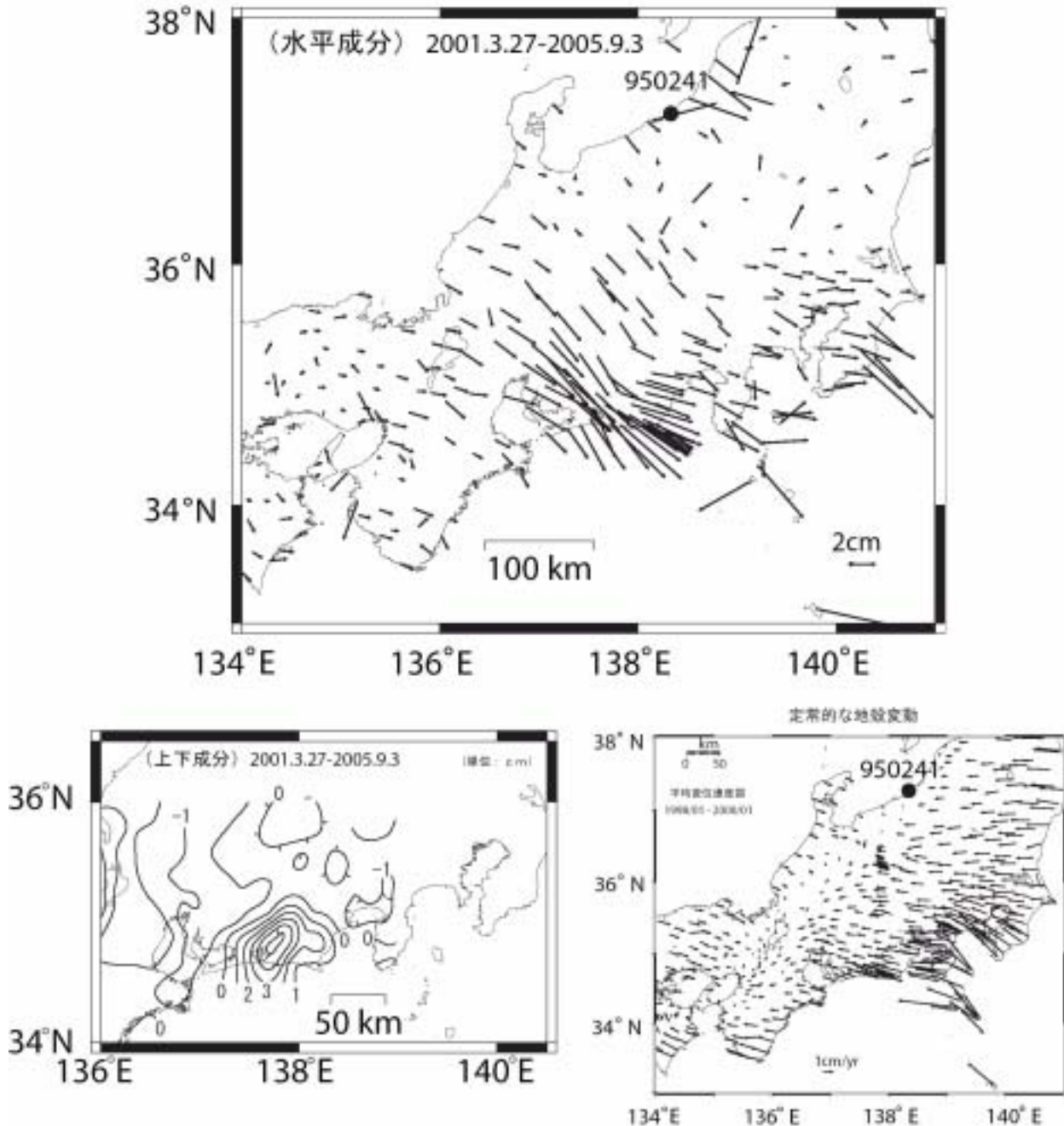
（震央分布図内に「最近 60 日以内、M3.0 以上」の地震がある場合は「月日、M、深さ」を付した。）

図5 浜名湖付近のフィリピン海プレート内の地震活動

領域Eでは2000年終わりごろからの活動の低下が継続している。領域Wでは2003年半ばから静岡・愛知県境付近の活動が続いていたが、2005年に入ってから低下している。

平均的な地殻変動からのずれ（最終解）

- 平均的な変動として、1998年1月～2000年1月までのデータから平均速度及び年周変化を推定し、時系列データから除去している。
- 2003年以降の上下成分は年周補正を行っていない。
- 2004年9月5日に発生した紀伊半島南東沖の地震による地殻変動の影響を暫定的に取り除いている。
- 2004年10月23日に発生した新潟県中越地震による地殻変動の影響は取り除いている。



国土地理院資料

図6 国土地理院のGPS観測結果による東海地域の非定常的地殻変動

上図は、2001年3月27日～2005年9月3日までの新潟県大潟町のGPS観測点（950241）に対する定常的な地殻変動からの水平方向のずれを示す。東海地方から名古屋付近にかけて南東方向に変動する領域がみられる。左下図は、同じ期間の上下方向のずれを示す。浜名湖付近及びその北東域において隆起する領域がみられる。

なお、2004年3月29日よりGEONET（GPS連続観測システム）が更新されたことに伴い、新たなデータセットに基づき過去にさかのぼって計算をやり直したものを掲載している。

東海地殻変動 大潟固定

○下図の期間の平均的な変動からのずれの時系列データに直線をあてはめて、異常変動の平均速度を求めて示している。

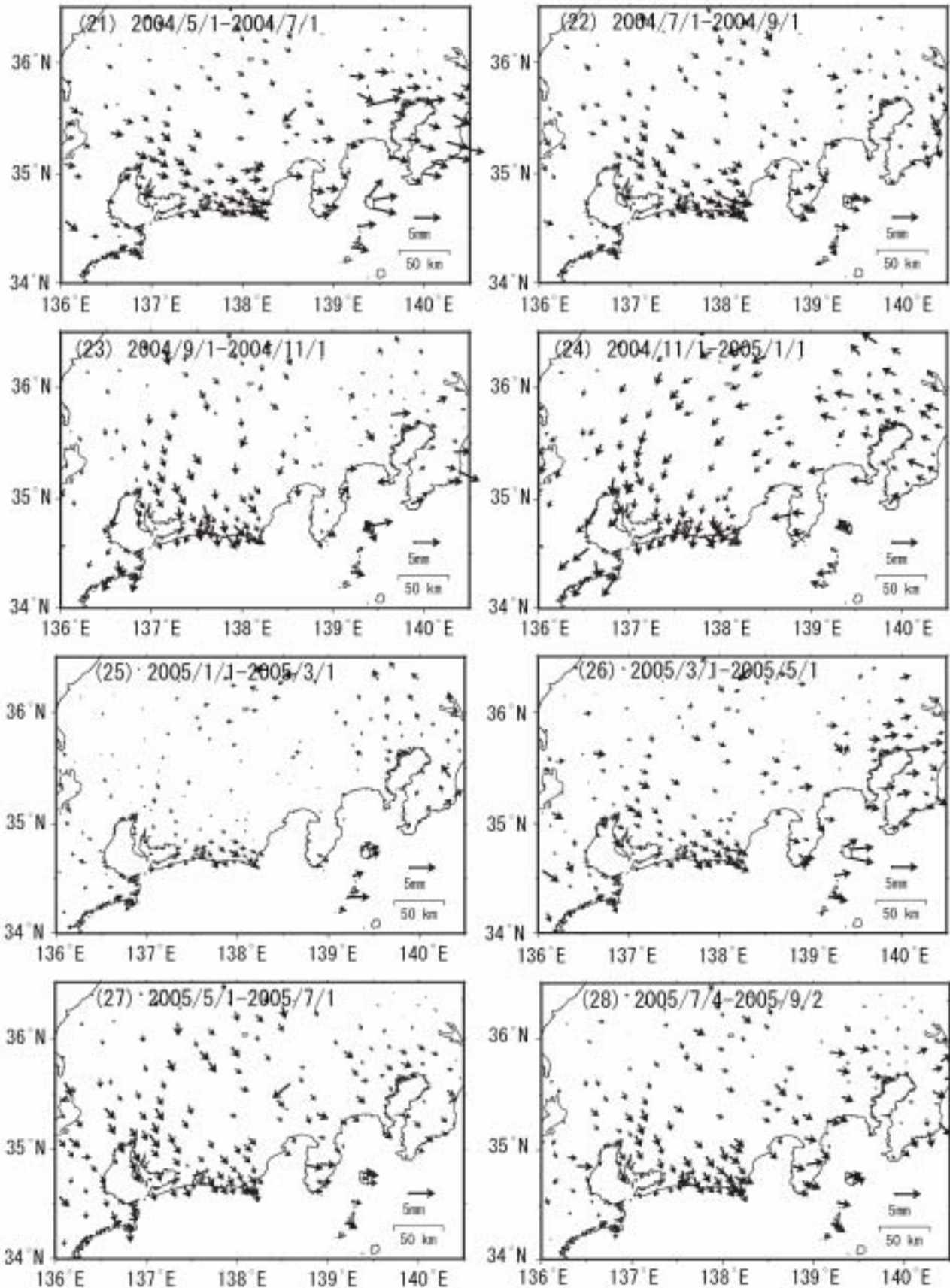
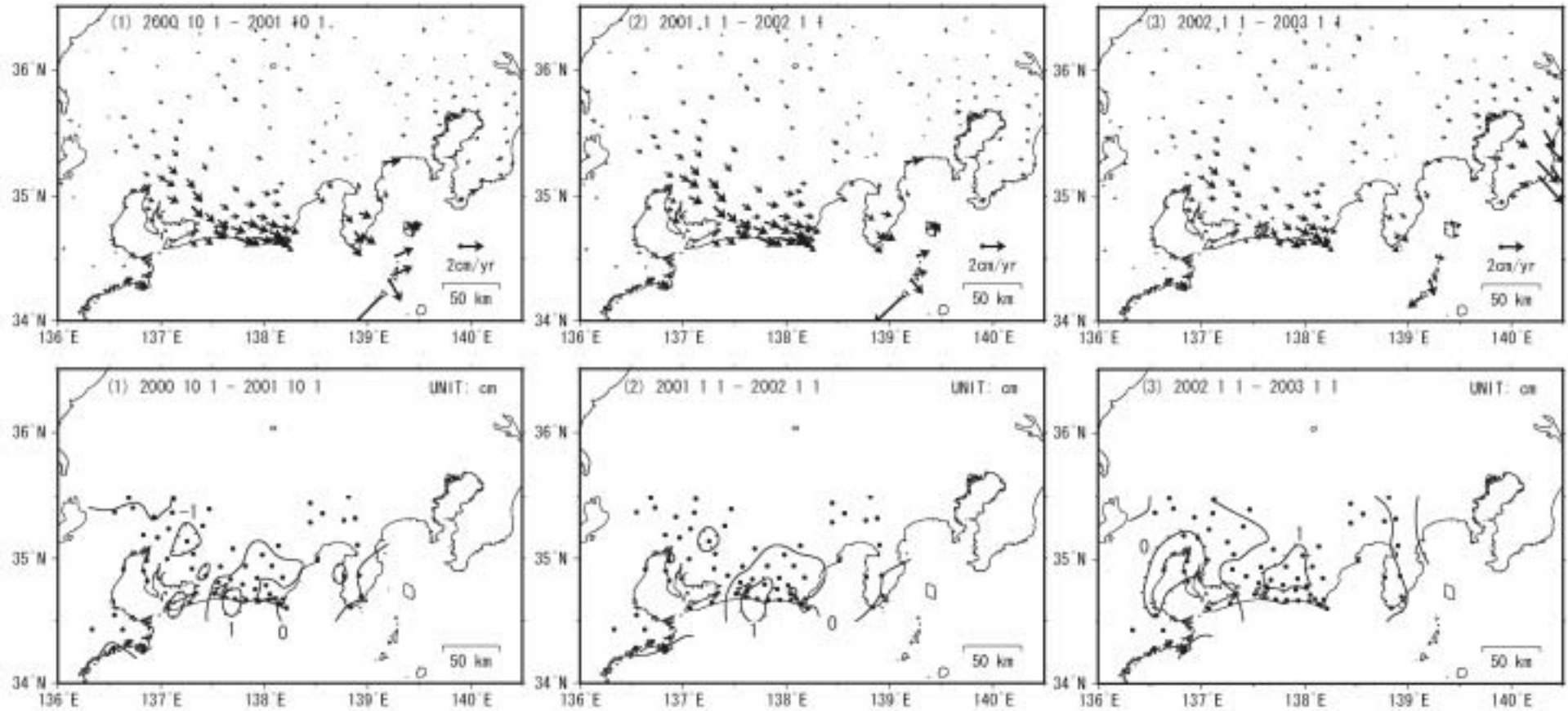


図7 国土地理院のGPS観測結果による2ヶ月間で見た東海非定常地殻変動（2004年5月～2005年9月2日）大潟固定

(23)以降には、2004年9月5日に発生した紀伊半島南東沖の地震による余効変動の影響が現れている。最新の観測(28)では、紀伊半島南東沖の地震前と同じ傾向が見えている。なお図の番号は、2001年1月からの通し番号である。

国土地理院資料

1年間で見た東海非定常地殻変動（1）大潟固定



国土地理院資料

図8 国土地理院のGPS観測結果による1年間で見た東海非定常地殻変動（2000年10月～2002年）大潟固定

上図(1)、(2)、(3)はそれぞれ2000年10月からの1年間、2001年、2002年の1年間の水平変動を表す。下図(1)、(2)、(3)はそれぞれ同じ期間の上下変動を表す。上図(2)と(3)を比較すると、浜名湖周辺で観測されているスロースリップは、2001年に比べて2002年の方が変動速度が小さいことがわかる。下図の1cm隆起領域に注目すると、すべりの中心は2001年始めに浜名湖東にあったが、2002年始め頃に浜名湖北東に移動したように見える。

1年間で見た東海非定常地殻変動（2）大潟固定

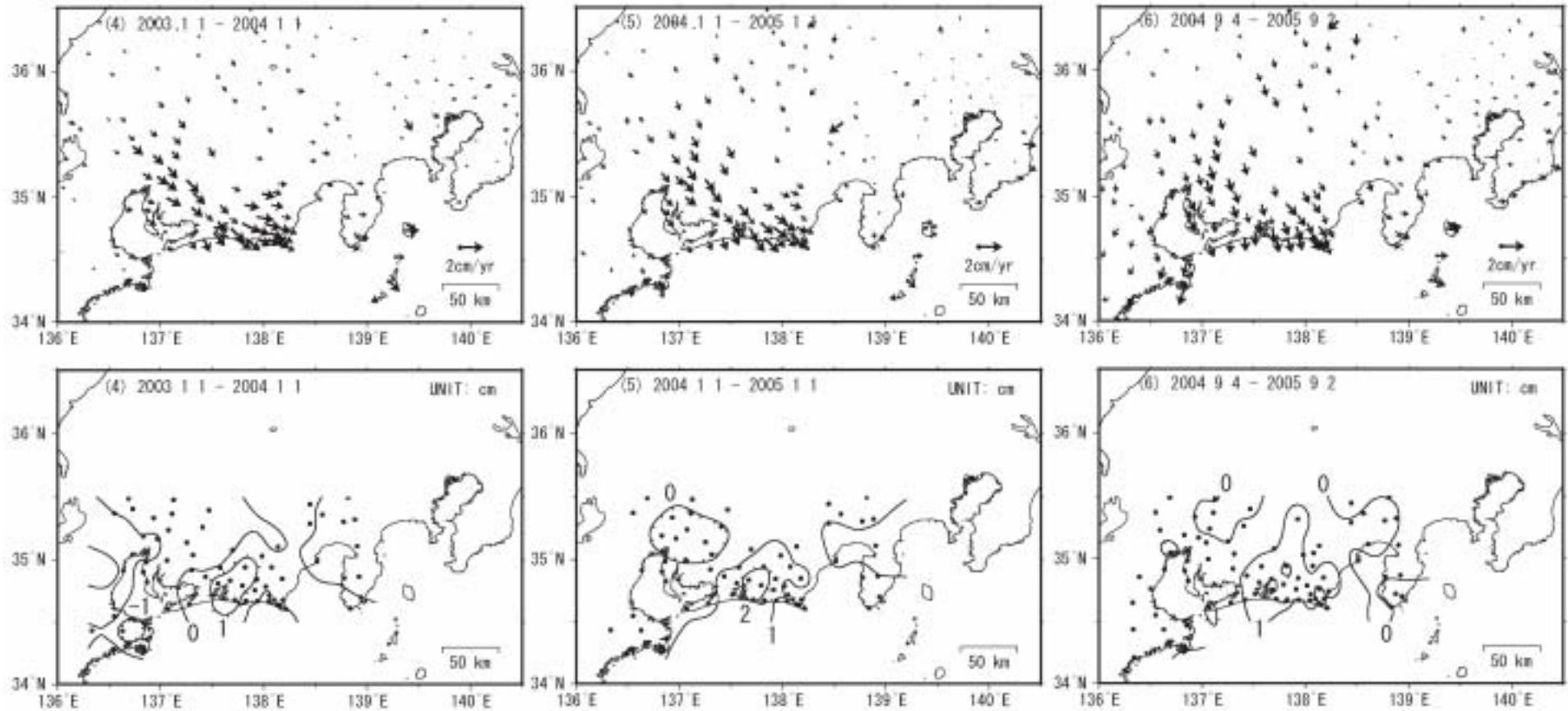


図9 国土地理院のGPS観測結果による1年間で見た東海非定常地殻変動（2003年～2005年9月2日）大潟固定

上図(4)、(5)、(6)はそれぞれ2003年、2004年の1年間、及び2005年9月2日までの1年間の水平変動を表す。下図(4)、(5)、(6)はそれぞれ同じ期間の上下変動を表す。上図を見ると、2004年9月5日の東海道沖（紀伊半島南東沖）の地震を含む期間では、変動の向きがやや南を向いていることがわかる。スロースリップの変動速度は、2003年（上図(4)）は2002年（前ページ上図(3)）に比べて大きく、量的には2001年（前ページ上図(2)）と同程度であった。下図を見ると、すべりの中心は2002年以降は浜名湖北東にあるように見える。2004年（下図(5)）には2cmの隆起領域が現れている。

(5)(6)は、2004年9月5日に発生した紀伊半島南東沖の地震および同年10月23日に発生した新潟県中越地震による地殻変動の影響を取り除いている。2004年9月～2005年初めのデータに余効変動の影響が含まれると考えられます。

国土地理院資料

日本の主な火山活動

平成 17 年（2005 年）9 月の主な火山活動は次のとおりである。

【噴火した火山】

桜 島 [比較的静穏な噴火活動（レベル 2）]

2 日及び 19 日に噴火 が観測されたが、爆発的噴火は観測されなかった。

桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的噴火もしくは一定の規模以上の噴火を桜島の噴火の回数として計数している。

諏訪之瀬島 [活発な状況（レベル 3）]

7～9 日及び 21～23 日に噴火が観測された。

【活動が活発もしくはやや活発な状態にあるか、観測データ等に変化のあった火山】

十勝岳 [やや活発な状況]

62 - 2 火口は噴煙活動が活発で、高温状態が続いている。

樽前山 [やや活発な状況]

A 火口及び B 噴気孔群は高温状態が続いていると推定される。

浅間山 [やや活発な状況（レベル 2）]

山頂火口内の高温状態、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量、火山性地震及び微動のやや多い状態が続いている。

三宅島 [やや活発な状況]

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2004 年秋以降、1 日あたり 2 千～5 千トン程度で、依然として多い状態が続いている。

福徳岡ノ場 [やや活発な状況]

11 日及び 15 日に変色水が確認された。

阿蘇山 [やや活発な状況（レベル 2）]

中岳第一火口浅部の熱的な活動のやや活発が続いている。

霧島山（御鉢）[やや活発な状況（レベル 2）]

御鉢火口の噴気活動は依然としてやや活発な状態が続いているが、次第に収まる傾向がみられる。

薩摩硫黄島 [やや活発な状況（レベル 2）]

4 日に火山性地震がやや多く発生した。

口永良部島 [やや活発な状況（レベル 2）]

火山性地震のやや多い状態が続いている。

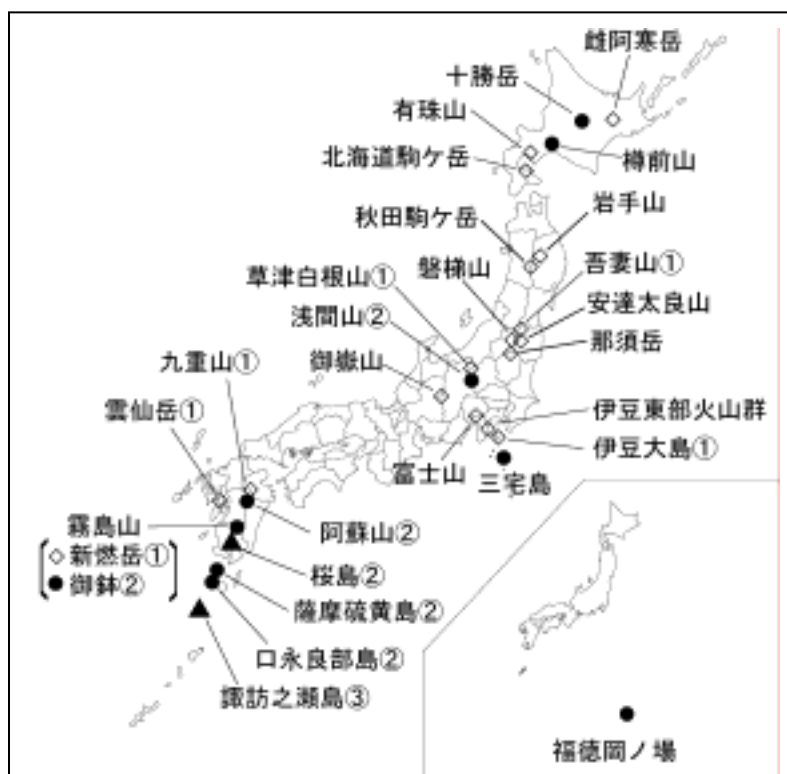


図 1 今回記事を掲載した火山

末尾の資料

- 過去 1 年間の火山活動の状況
- 期間中に発表した火山情報の一覧表

注 1 本資料において、レベルは火山活動度レベルを示す。

注 2 記号の意味

- : 噴火した火山
- : 活動が活発もしくはやや活発な状態にあるか、観測データ等に変化のあった火山
- ◇ : その他記事を掲載した火山等の丸付き数字：火山活動度レベル

各火山の活動解説

雌阿寒岳 【比較的静穏な状況】

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなく、火山活動は比較的静穏に経過した。26～30日に行った調査観測では、ポンマチネシリ 96-1 火口の温度は前回（本年 6 月）に引き続き低下傾向が認められ、他の火口の状況にも特段の変化はなかった。

十勝岳 【やや活発な状況】

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上概ね 200m で推移した。12～16日に行った調査観測によると、62-2 火口の最高温度は約 400（赤外熱映像装置¹⁾による）で引き続き高温の状態であった（前回 6 月 22 日約 300）。

21 日 02 時 33 分頃から継続時間約 6 分の振幅の小さな火山性微動が観測された。地震活動や地殻変動に特段変化はなかった。火山性微動が観測されたのは 7 月 7 日以来である。

火山性地震の発生状況に特段の変化はなく、GPS による地殻変動観測では火山活動に起因すると考えられる変化はみられなかった。

1) 赤外放射温度計及び赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度もしくは温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

樽前山 【やや活発な状況】

前期間と比べ、A 火口及び B 噴気孔群の噴煙の状況に特に変化はみられていないことから、これらの火口の熱的な活動にも大きな変化はなく、依然として高温の状態が続いていると推定される。

火山性地震の発生状況に特段の変化はなく、火山性微動は観測されなかった。また、GPS による地殻変動観測では火山活動に起因すると考えられる変化はみられなかった。

有珠山 【静穏な状況】

地震活動、噴気活動、地殻変動等の観測データ

には特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

北海道駒ヶ岳 【静穏な状況】

GPS による地殻変動観測では、わずかな山体膨張が引き続き観測されているが、地震活動、噴気活動等の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

岩手山 【静穏な状況】

地震活動、噴気活動等の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

秋田駒ヶ岳 【静穏な状況】

地震活動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

吾妻山 【静穏な状況（レベル 1）】

地震活動、噴気活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

安達太良山 【静穏な状況】

地震活動、噴気活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

磐梯山 【静穏な状況】

地震活動、噴気活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

那須岳 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

草津白根山 【静穏な状況（レベル 1）】

地震活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなく、また噴煙は観測されず、火山活動は静穏に経過した。

浅間山 [やや活発な状況（レベル2）]

山頂火口内の高温状態、火山ガス(二酸化硫黄)の放出量、火山性地震及び微動のやや多い状態が続いている。

山頂火口からは白色噴煙が連続して噴出しており、噴煙は最高で火口縁上 600m まで上がった。また、山麓の高感度カメラ²⁾で捉えられる程度の微弱な火映がたびたび観測されており、火口内は依然として高温状態が続いていると推定される(図2)。

14 日及び 30 日に行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は 1 日あたり 2,000 ~ 3,700 トン(14 日)及び 200 ~ 300 トン(30 日)と変動がやや大きいものの、依然としてやや多い状態が続

いている(図3)。

13 日に上空から行った観測³⁾および 15 ~ 16 日に山頂部付近で行った調査観測では、山頂火口内の地形等の状況は前回(8 月 4 ~ 5 日)観測時に比べ特に変化はなく、火口底は緩やかなすり鉢状であった。火口縁からの観測では引き続き火口底の噴気孔内部で赤熱現象⁴⁾が見られ、赤外熱映像装置¹⁾による観測では約 710 と極めて高い温度が観測された。これは前回(8 月 5 日)の観測(約 570)に比べ約 140 高い値であるが、前回に比較して今回は火口内の噴煙量が少なく噴気孔がはっきり確認されており、観測条件が良かったため実際の噴気孔内の温度に近い値が観測されたものとみられる。

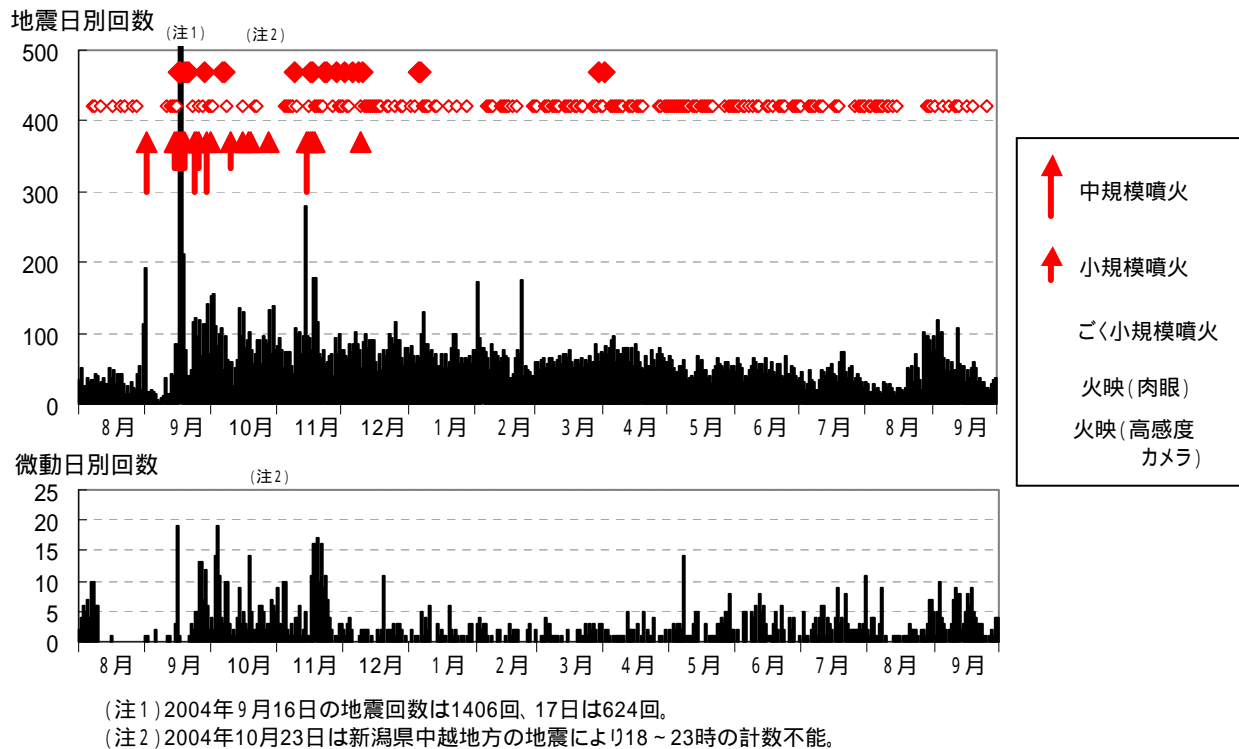


図2 浅間山 2004年8月~2005年9月の噴火、火映、火山性地震及び微動の日別発生状況

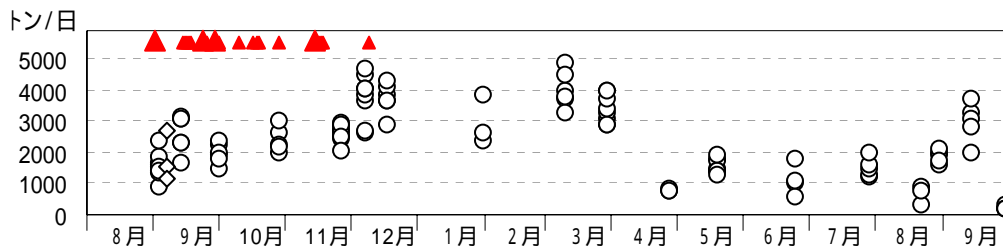


図3 浅間山 二酸化硫黄の1日あたりの放出量(2004年8月~2005年9月)

大きい は中爆発、小さい は小噴火以下を示す。
 は車載トバース、 はヘリ搭載トバースによる。

火山性地震は、3～5日及び12日に1日あたり100回を超えるなど上旬に多く発生した。その後やや減少傾向がみられたが、依然としてやや多い状態が続いている。震源はほとんどが山頂火口直下の深さ約1～3kmに集中しており、前期間までと比べ特段の変化はなかった。火山性微動の回数もやや多い状態が続いており、1日あたり0～10回で推移した（図2）。

傾斜計及びGPSによる地殻変動観測、光波測距観測では火山活動に起因するとみられる変化はなかった。なお、国土地理院のGPSによる広域の地殻変動観測によれば、浅間山周辺の基線では、2004年10月後半以降、山体の膨張を示す伸びが観測されていたが、最近はその傾向が鈍化したようにみられる。

- 2) 気象庁及び国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所が設置。
- 3) 長野県の協力により、気象庁と東京大学地震研究所が共同で実施。
- 4) 赤熱現象：物体が高温になり500程度以上になると赤く発光して見える現象。噴火で噴出した溶岩や噴石をはじめ、地下から高温の火山ガスが噴出して周辺の地表面が熱せられた場合にも見ることができる。

御嶽山 【静穏な状況】

地震活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなく、また噴煙は観測されず、火山活動は

静穏に経過した。

富士山 【静穏な状況】

地震活動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

伊豆東部火山群 【静穏な状況】

地震活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなく、また噴煙は観測されず、火山活動は静穏に経過した。

伊豆大島 【静穏な状況（レベル1）】

地殻変動観測では、長期的な山体の膨張傾向は継続しているが、地震活動には特段の変化はなく、また噴煙は観測されず、火山活動は静穏に経過した。

三宅島 【やや活発な状況】

多量の火山ガス（二酸化硫黄）の放出が続いている。

噴煙活動は引き続き活発で、白色噴煙が山頂火口から連続的に噴出した。期間中の噴煙の最高は火口縁上1,100mであった（前期間の最高は火口縁上1,000m）。

上空から行った火山ガス観測⁵⁾では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり2,500～7,100トンと依然として多い状態であった（図4）。三宅島の火山ガス濃度観測でも、山麓でたびたび高濃度の二

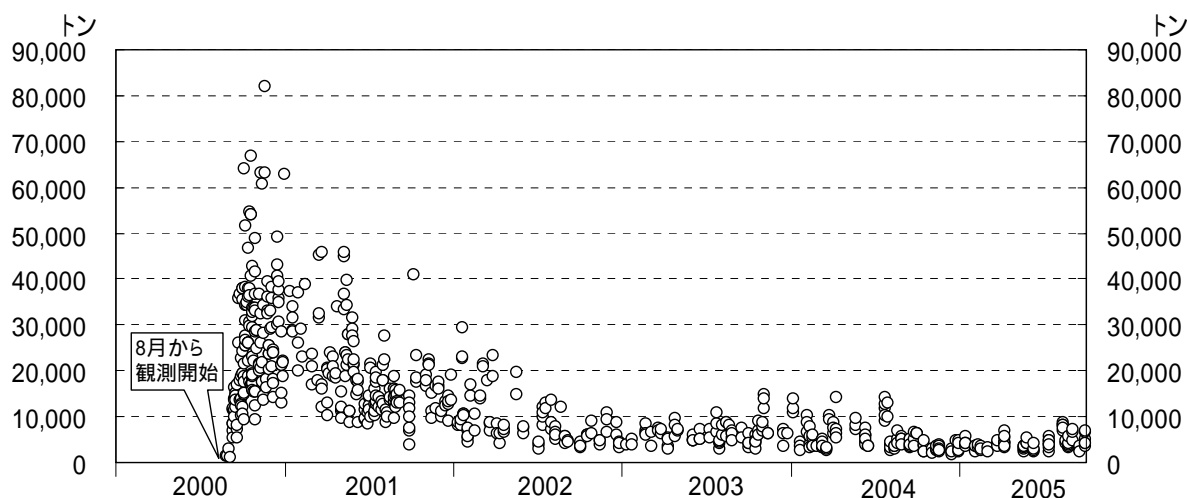


図4 三宅島 二酸化硫黄の1日あたりの放出量（2000年8月～2005年9月）
2004年秋以降は1日あたり2千～5千トン程度で、依然として多い状態が続いている。

酸化硫黄が観測されている。

全磁力の連続観測では特に変化はみられず、地下の熱的な状態に大きな変化はないものと考えられる。

3日、9日、11日及び14日に火山性地震が一時的に増加し、これらの地震増加中に空振を伴う低周波地震が発生した。低周波地震発生時、噴煙の状況等その他の観測データには特に異常はみられなかった⁶⁾。3日17時53分に発生した低周波地震では、三宅村神着及び三宅村坪田で震度1を観測した。また、5日及び21日にも空振を伴う低周波地震が発生したが、地震の増加はなく、噴煙の状況は雲による視界不良のため確認できなかったが、その他の観測データには特に異常は見られなかった。これらの低周波地震発生後に行った現地調査では山麓部で降灰は確認されなかった。

8月28日（前期間）から、時々、振幅の小さな火山性連続微動が10～40分程度の周期的な間隔で観測されていたが、9月2日を最後に観測されていない。この連続微動に関して、噴煙活動等の観測データに変化はみられなかった。

G P Sによる地殻変動観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら、現在も継続している。

5) 15、28日に、陸上自衛隊及び海上保安庁の協力により実施。

6) 三宅島では、空振を伴う低周波地震が発生した時に山頂火口から火山灰噴出を伴うことがある。

福德岡ノ場 【やや活発な状況】

11日に海上保安庁、15日に海上自衛隊が上空から行った調査によると、福德岡ノ場付近の海面に火山活動によるとみられる淡い緑色の変色水が確認された。噴煙や浮遊物は認められなかった。変色水は、11日には福德岡ノ場付近から西方向に長さ約4.6km、最大幅約500mにわたって帯状に延びているのが認められ、15日には南西方向に長さ約300m、幅約50mにわたって認められた。

福德岡ノ場では、7月2～3日に小規模な海底噴火が発生し、その後7月21日まで調査の度に付近海面で変色水が確認されたが、8月31日の

調査では変色水は確認されなかった。

九重山 【静穏な状況（レベル1）】

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなく、静穏に経過した。

阿蘇山 【やや活発な状況（レベル2）】

中岳第一火口浅部の熱活動はやや活発な状態が続いている。

中岳第一火口では、9月1～3日の夜間に、監視カメラ（阿蘇火山博物館が火口縁に設置）で火口底の一部に赤熱現象⁴⁾⁷⁾が観測されたが、その後湯だまり⁸⁾量の増加（後述）に伴い赤熱現象は観測されていない。

現地観測⁹⁾によると、火口内の湯だまりの表面温度は67～70と依然として高温であった（赤外放射温度計¹⁾による、前期間は69～74）。湯だまり量は、台風14号による降水の影響で8日には約7割に増加し、13日以降は約6割で経過した。湯だまり量増加後、湯だまり内では噴湯現象は観測されているが、土砂噴出は観測されていない（前期間の8月29日の観測では、湯だまり量が約2割で、湯だまり内では小規模な多数の土砂噴出が観測された）。

火山性連続微動は振幅の小さい状態で経過した。

孤立型微動及び火山性地震の月発生回数は、それぞれ1,791回（前期間2,502回）、280回（前期間419回）と減少したが、発生状況には大きな変化はみられていない。

噴煙の状況には特段の変化はなく、G P Sによる地殻変動観測でも火山活動に起因する変化はみられなかった。なお、国土地理院のG P Sによる広域の地殻変動観測によれば、阿蘇山を取り囲む基線では、2004年後半頃から山体の膨張を示すわずかな伸びが観測されていたが、最近はその傾向が鈍化したようにみられる。

7)阿蘇山では、赤熱現象の領域が拡大すると、火口が開孔し、噴火活動が活発化したことがある。

8)湯だまり：活動静穏期の中岳第一火口内には、地下水などを起源とする約50～60の緑色のお湯がたまっており、これを湯だまりと呼んでいる。火山活動が活発

化するにつれ、湯だまり温度が上昇・噴湯して湯量の減少がみられ、その過程で土砂を噴き上げる土砂噴出現象等が起こり始めることが知られている。

9) 現地観測を 8、13、22 及び 29 日に実施。

雲仙岳 【静穏な状況（レベル 1）】

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなく、静穏に経過した。

霧島山(新燃岳) 【静穏な状況(レベル 1)】

地震活動は低調で、GPS による地殻変動観測でも火山活動に起因する変化はみられず、火山活動は静穏に経過した。

霧島山(御鉢) 【やや活発な状況(レベル 2)】

御鉢火口内で 2003 年 12 月に確認された噴気孔からの噴気活動は依然としてやや活発な状態が続いているが、21 日に火口縁上 100m まで上がる噴気が観測された他は火口縁を超える噴気は観測されず、消長を繰り返しながら次第に収まる傾向がみられる。

26～30 日に行った調査観測では、上記噴気孔付近の熱的な状況に大きな変化はなかったが、噴気量は少なかった。

地震活動は低調で、火山性微動は観測されなかった。GPS による地殻変動観測では火山活動に起因する変化はみられなかった。

桜島 【比較的静穏な噴火活動(レベル 2)】

期間中、噴火¹⁰⁾が 2 回観測されたが、爆発的噴火はなかった(前期間はごく小規模な噴火を時々観測)。噴火¹⁰⁾は 2 日及び 19 日に観測され、いずれも灰白色の噴煙が火口縁上 1,000m まで上がった。この他、ごく小規模な噴火も時々発生し、3 日及び 4 日に鹿児島地方気象台(南岳の西南西約 11km)で、それぞれ降灰量¹¹⁾ 1 g/m^2 を観測した(同気象台で降灰を観測したのは 6 月 8 日以来)。

火山性地震は中旬以降やや増加したが、長期的には少ない状態が続いている。火山性微動も少ない状態が続いている。

GPS による地殻変動観測では、長期的な東西方向のわずかな伸びの傾向が続いている。

10) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的噴火もしくは一定の規模以上の噴火を桜島の噴火の回数として計数している。

11) 降灰量は前日 09 時～当日 09 時の総量を観測している。

薩摩硫黄島 【やや活発な状況(レベル 2)】

4 日に火山性地震がやや多く発生し、4 日の日回数は 112 回であった。その他の日は 1 日あたり 0～17 回で推移した。地震の一時的な増加は前期間の 8 月 31 日(86 回)にもみられている。火山性微動の発生状況には特に変化はなかった。

監視カメラ(硫黄岳の西南西約 3 km に設置)による観測では、4 日は天候不良のため噴煙の状況は不明であったが、その他の日の噴煙活動に特に変化はなかった。三島村役場硫黄島出張所によると、期間中、集落(硫黄岳の西南西約 3 km)で降灰はなかった。

口永良部島 【やや活発な状況(レベル 2)】 火山性地震のやや多い状態が続いている。

火山性地震は引き続きやや多い状態で経過し、月回数は 201 回(前期間 228 回)であった。震源は新岳火口付近のごく浅い所と推定される。火山性微動は期間の前半には時々発生したが、後半は観測されず、月回数は 10 回と前期間(40 回)より減少した。(図 5)

監視カメラ(新岳の北西約 4 km に設置)による観測では、噴気等は観測されなかった。

14～21 日に行った調査観測では、新岳の噴気活動及び火口の状況に大きな変化はなかった。GPS による地殻変動繰り返し観測では、2003 年 5 月に比べ、引き続き新岳火口付近が膨張する傾向がみられている。全磁力観測では新岳火口直下の温度上昇を示すとみられる熱消磁¹²⁾の傾向が続いている。

12) 熱消磁：マグマや水蒸気によって岩盤が熱くなると岩盤の磁性が弱くなる現象。

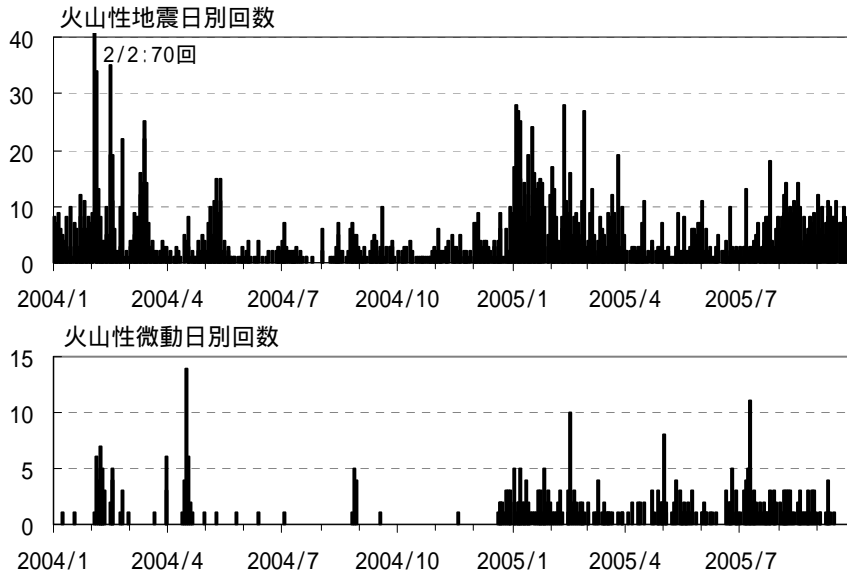


図 5 口永良部島 火山性地震及び微動の日別発生状況
(2004 年 1 月～2005 年 9 月)

諏訪之瀬島 [活発な状況(レベル3)]

7～9日及び21～23日に噴火が観測された。

十島村役場諏訪之瀬島出張所（以下、出張所）によると、7～9日に火山灰を含む噴煙が火口縁上 200～1,000mまで上がっているのが確認された。この間、集落（御岳の南南西約 4 km）で降灰はなかった。

出張所によると、21 日夜から 22 日朝にかけて集落で降灰が確認され、22 日早朝から 11 時頃まで火山灰を含む噴煙が火口縁上 1,000mまで上がっているのが確認された。また、23 日にも火山灰を含む噴煙が火口縁上 1,000mまで上がり、集落で降灰が確認された。

資料 1 過去 1 年間の火山活動の状況

| 火 山 名 | | 平成16年 | | | 平成17年 (2005年) | | | | | | | | |
|----------|-----------|-------|-----|-----|---------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 雌阿寒岳 | 活動 | | | | | | | | | | | | |
| 十勝岳 | 活動 | | | | | | | | | | | | |
| 樽前山 | 活動 | | | | | | | | | | | | |
| 吾妻山 | 活動 レベル | | | | | | | | | | | | |
| 草津白根山 | 活動 レベル | | | | | | | | | | | | |
| 浅間山 | 活動 レベル | | | | | | | | | | | | |
| 箱根山 | 活動 | | | | | | | | | | | | |
| 伊豆東部火山群 | 活動 | | | | | | | | | | | | |
| 伊豆大島 | 活動 レベル | | | | | | | | | | | | |
| 三宅島 | 活動 | | | | | | | | | | | | |
| 伊豆鳥島 | 活動 | | | | | | | | | | | | |
| 西之島 | 活動 | | | | | | | | | | | | |
| 福徳岡ノ場 | 活動 | | | | | | | | | | | | |
| 九重山 | 活動 レベル | | | | | | | | | | | | |
| 阿蘇山 | 活動 レベル | | | | | | | | | | | | |
| 雲仙岳 | 活動 レベル | | | | | | | | | | | | |
| 霧島山（新燃岳） | 活動 レベル | | | | | | | | | | | | |
| 霧島山（御鉢） | 活動 レベル | | | | | | | | | | | | |
| 桜島 | 活動 レベル | | | | | | | | | | | | |
| 薩摩硫黄島 | 活動 レベル | | | | | | | | | | | | |
| 口永良部島 | 活動 レベル | | | | | | | | | | | | |
| 諏訪之瀬島 | 活動 レベル | | | | | | | | | | | | |
| 硫黄島 | 活動 | | | | | | | | | | | | |

活動状況（活動）

- ：噴火した火山
- ：活動が活発もしくはやや活発な状態にあるか、観測データ等に変化のあった火山

火山活動度レベル

- ：小規模な噴火が発生かその可能性
- ：やや活発な火山活動
（桜島については、「比較的静穏な噴火活動」）
- ：静穏な火山活動

資料 2 2005 年 9 月の火山情報発表状況

| 火山名 | 情報の種類及び号数 | 発表日時 | 概要 |
|-----|--------------------------------------|------------------------------|--|
| 浅間山 | 火山観測情報第 186 号 | 2 日 16:00 | 8 月 27 日 9 月 2 日 15 時の活動状況。30 日実施の火山ガス観測結果。レベルは 2。 |
| | 火山観測情報第 187 号 | 9 日 16:00 | 9 月 2 日～9 日 15 時の活動状況。レベルは 2。 |
| | 火山観測情報第 188 号 | 16 日 16:00 | 9 月 9 日～16 日 15 時の活動状況。上空及び山頂部における調査観測結果。レベルは 2。 |
| | 火山観測情報第 189 号 | 22 日 16:00 | 9 月 16 日～22 日 15 時の活動状況。レベルは 2。 |
| | 火山観測情報第 190 号 | 30 日 16:00 | 9 月 23 日～30 日 15 時の活動状況。レベルは 2。 |
| 三宅島 | 火山観測情報 第 485～492 号 (1 日 2 回発表) | 1～4 日 (09:30 及び 16:30) | 前日 16 時～当日 09 時もしくは当日 09～16 時の活動状況、及び上空の風の予想。 |
| | 火山観測情報 第 493～518 号 (1 日 1 回発表) | 5～30 日 (16:30) | 前日 16 時～当日 16 時の活動状況、及び上空の風の予想。 |
| 阿蘇山 | 火山観測情報第 42 号 | 2 日 11:00 | やや活発な火山活動が継続（中岳第一火口の熱的な活動引き続きやや活発）。レベルは 2。 |
| | 火山観測情報第 43 号 | 9 日 11:10 | やや活発な火山活動が継続（中岳第一火口の熱的な活動は引き続きやや活発、降水のため湯だまり量約 7 割に増加）。レベルは 2。 |
| | 火山観測情報第 44 号 | 16 日 11:00 | やや活発な火山活動が継続（湯だまり表面温度の高温状態継続、湯だまり量約 6 割に減少）。レベルは 2。 |
| | 火山観測情報第 45 号 | 22 日 11:00 | やや活発な火山活動が継続（湯だまり表面温度やや高い、湯だまり量約 6 割）。レベルは 2。 |
| | 火山観測情報第 46 号 | 30 日 11:00 | やや活発な火山活動が継続（湯だまり表面温度高い、湯だまり量約 6 割）。レベルは 2。 |

世界の主な地震

9月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

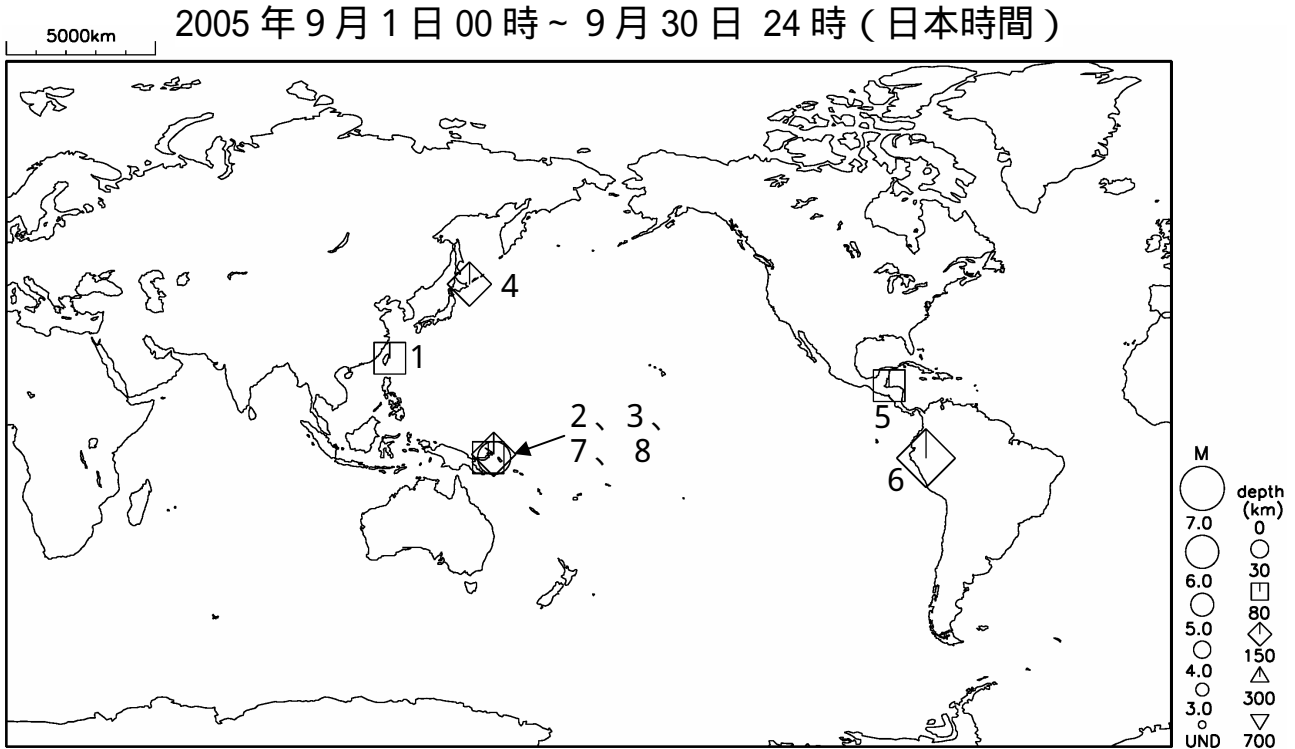


図1 2005年9月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による>

* : 数字は、表1の番号に対応する。

** : マグニチュードはmb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表1 2005年9月に世界で発生したマグニチュード6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

| 番号 | 月日時分 | 緯度 | 経度 | 深さ (km) | mb | Ms | Mw | 震央地名 | 備考 (被害状況など) |
|----|--------------|-----------------------|-------|------------|-----|-------|-----|--------------------------|-----------------|
| 1 | 09月06日10時16分 | N23° 54.8'E122° 17.2' | 17.2' | 14 | 5.8 | (6.0) | 5.7 | 台湾付近 | |
| 2 | 09月09日16時26分 | S 4° 32.1'E153° 27.9' | 27.9' | 90* | 6.3 | | 7.5 | バブアニューギニア, ニューアイルランド島 | NWPTA発表 |
| 3 | 09月16日09時31分 | S 5° 37.2'E153° 35.1' | 35.1' | 13 | 6.0 | 5.4 | 5.6 | ニューアイルランド島 | |
| 4 | 09月21日11時25分 | N43° 42.5'E146° 23.8' | 23.8' | 103 | 6.1 | (6.0) | 6.1 | 国後島付近 | |
| 5 | 09月23日22時48分 | N16° 07.5'W 87° 30.0' | 30.0' | 30 | 6.0 | 5.4 | 5.9 | ホンジュラス北方 | |
| 6 | 09月26日10時55分 | S 5° 40.4'W 76° 24.5' | 24.5' | 127 | 6.9 | | 7.5 | ペルー北部 | 死者5名、負傷者60名以上など |
| 7 | 09月30日00時50分 | S 5° 27.6'E151° 49.2' | 49.2' | 37 | 6.0 | 6.6 | 6.5 | バブアニューギニア, ニューブリテン島 | |
| 8 | 09月30日03時23分 | S 5° 35.7'E151° 50.7' | 50.7' | 35* | 5.8 | 6.0 | 6.1 | ニューブリテン島 | |

- ・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による（2005年10月4日現在）。ただし、日本付近で発生した地震については震源要素及びマグニチュード（Msの欄に括弧を付して記載）は気象庁、被害状況は総務省消防庁による。
- ・時分は震源時で日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9時間] である。
- ・MwはUSGSのM-メントマグニチュードである。
- ・震源の深さに「*」が付いているのは、USGSが推定した深さである。
- ・NWPTAは、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報である（地震・火山月報（防災編）2005年5月号参照）。

9月9日 パプアニューギニア ニューアイルランド島付近の地震

9月9日 16時26分頃（日本時間）、パプアニューギニアの東部に位置する、ニューアイルランド島付近でマグニチュード（アメリカ地質調査所〔以下、USGS〕によるモーメントマグニチュード）7.5の地震が発生した。

この地震について、気象庁は同日 16時56分に「震源の近傍で津波発生可能性があります。」の旨の北西太平洋津波情報を発表した。また、17時09分に、「この地震による津波の心配はありません。」の旨の「遠地地震の地震情報」（日本国内向け）を発表した。震源の深さが90kmと深かったため、津波は観測されなかった。USGSによると、この地震により震源地に近いラバウルなどで有感となったが、被害はなかった。

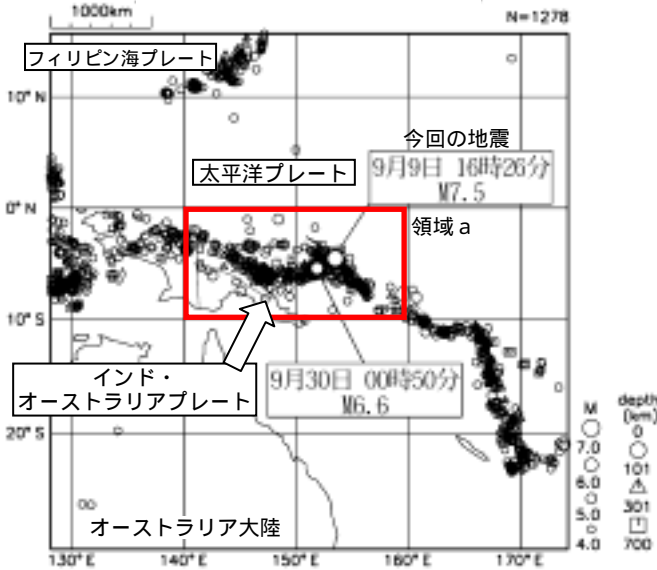
この付近ではインド・オーストラリアプレートが太平洋プレートの下に高角度で沈み込んでおり、今回の地震も北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であることから、沈み込むインド・オーストラリアプレートと太平洋プレートの境界付近で発生した地震と思われる。9月16日にはM5.4の最大余震が発生したが、その後余震回数は減少している。

また、9月30日から今回の地震から南西方向に約200km離れたニューブリテン島付近の深さ37kmで、M6.6の地震が発生した。この地震は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、9月9日の地震と同様、沈み込むインド・オーストラリアプレートと太平洋プレートの境界付近で発生した地震と思われる。約3時間後にM6.0の最大余震が発生したが、余震活動は低調である。

震央分布図（2005年1月1日～2005年9月30日：

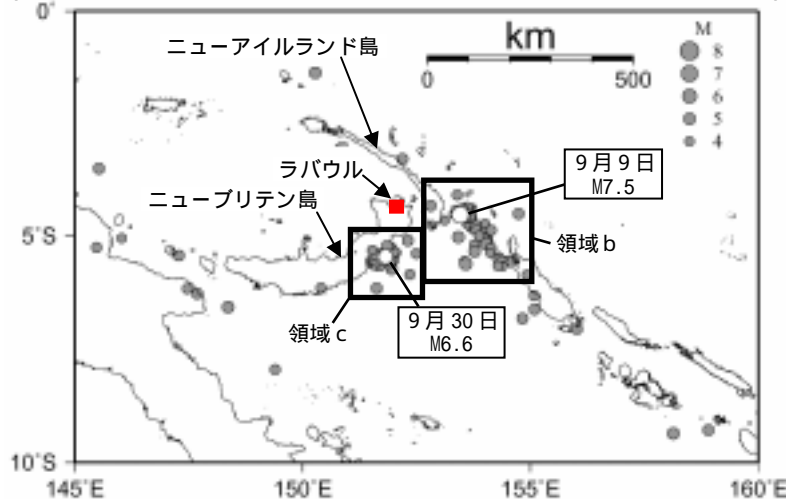
M 4.0、深さ700km以浅）

震源データはUSGSによる。矢印はインド・オーストラリアプレートのおおよその進行方向を示す。



領域 a 内拡大図

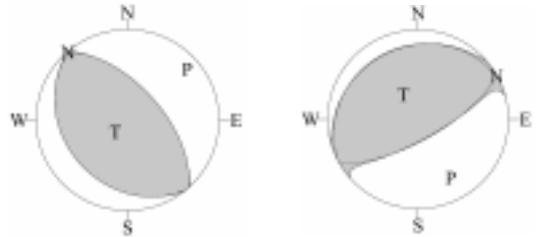
（2005年9月9日～2005年10月4日：M 4.0、深さ700km以浅）



今回の地震の発震機構
（ハーバード大学によるCMT解）

2005/9/9の地震

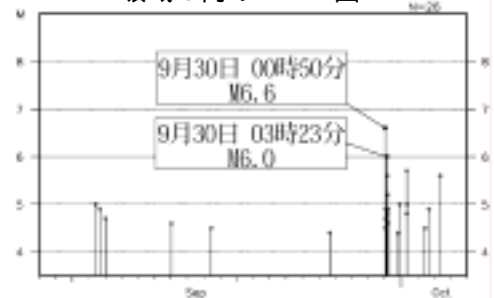
2005/9/30の地震



領域 b 内の M - T 図



領域 c 内の M - T 図



9 月 26 日 ペルー北部の地震

9 月 26 日 10 時 55 分頃（日本時間）、南米のペルー北部でマグニチュード Mw7.5（USGS によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。

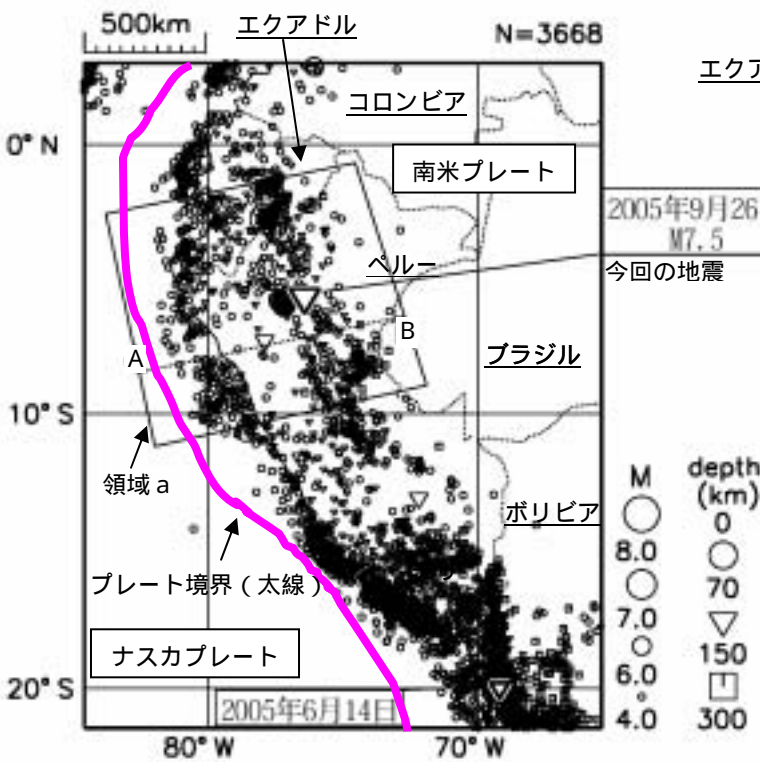
この地震について、気象庁は同日 11 時 14 分に、この地震が内陸の深い地震であることが判明したことから、「この地震による津波の心配はありません。」の旨の「遠地地震の地震情報」を発表した。

この地震により、ペルー、コロンビア、エクアドル及びブラジルの北西部（アマゾネス州など）で有感となり、震源地に近いペルー北部（アマゾン川源流部の山岳地帯）の死者 5 名、負傷者 60 名以上、住家破損約 70%、建物被害 200 棟以上の被害を生じた（被害は USGS による）。

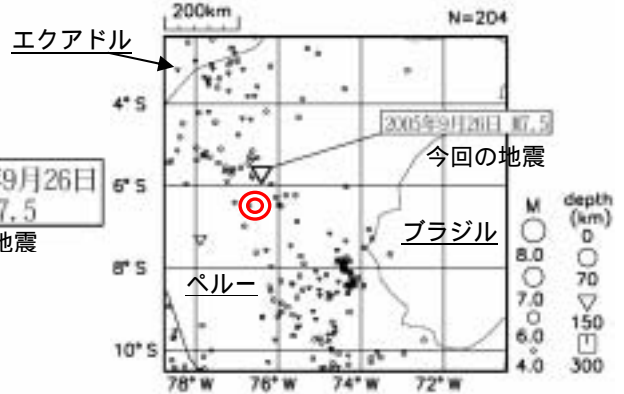
この地震の発震機構（ハーバード大学による CMT 解）は、ほぼ東西方向に張力軸を持つ正断層型で、沈み込むナスカプレートの内部で発生した地震と考えられる。9 月末日までに M4.0 以上の余震は観測されていない。

この地域（南米西海岸）では、海のプレート（ナスカプレート）が陸のプレート（南米プレート）に沈み込んでいるため、地震活動が活発な場所である。海溝軸に近い沿岸付近では、2001 年 6 月 24 日の地震（M:8.2、日本でも津波を観測、2001 年 6 月号の特集参照）のような逆断層型の地震が多く発生し、内陸のやや深い地震の場合は今回の地震や 2005 年 6 月 14 日のチリ北部の地震（M:7.8、2001 年 6 月号参照）のように正断層型の地震が多く発生している。

震央分布図(1990 年 1 月～2005 年 9 月; M 4.0)
震源データは USGS による。大まかなプレート境界の位置は USGS の資料等を参考にした。

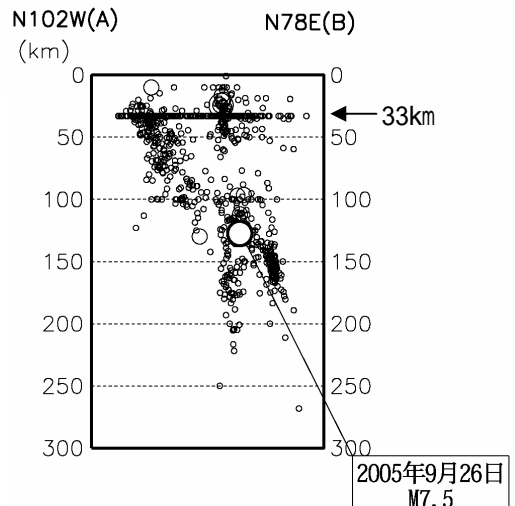


左図の震央付近拡大図
(印がラマ付近)

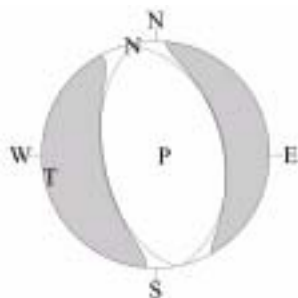


領域 a の断面図 (A - B 投影)

注) 本図で深さ 33km に震源が並んでいるのは、USGS が深さを固定して震源計算を行ったことによるもので、地下の構造を反映したものではない。



今回の地震の発震機構解
(ハーバード大学による CMT 解)



世界の主な火山活動

平成 17 年（2005 年）9 月に噴火の報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。このうち、活動が活発であった主な火山は以下のとおりである。

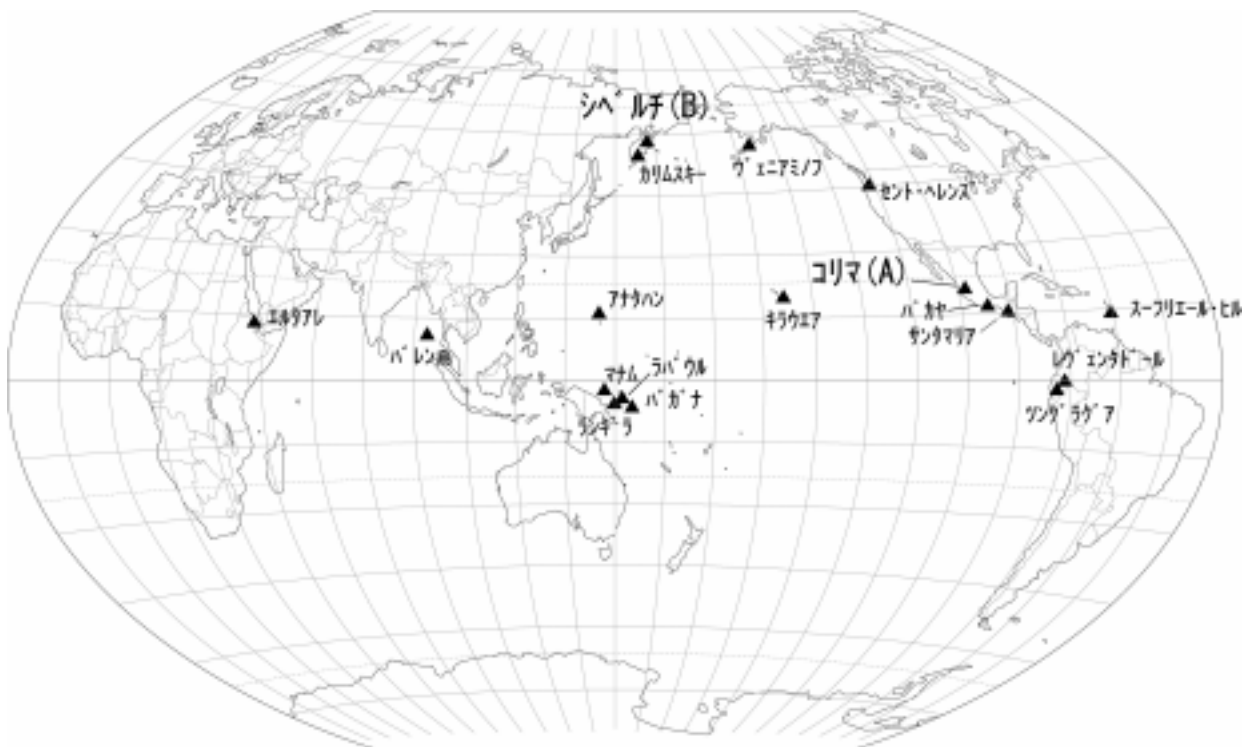
コリマ火山（メキシコ）（図中 A）

16 日にやや大きな爆発的噴火があり、噴煙が海拔約 10km まで上がった。また、27 日にもやや大きな爆発的噴火があり、噴煙が海拔約 8 km まで上がった。この噴火により 30km 以上離れたコリマ市などで少量の降灰があった。これらの噴火の他、小規模な噴火活動が期間を通して続いた。

シベルチ火山（カムチャッカ半島）（図中 B）

22～23 日に噴火活動が活発になり、22 日 17 時 15 分と 22 時 59 分にやや大きな爆発的噴火があった。前者では噴煙が海拔約 8 km まで上がり、火砕流が山腹を流下して火口から 10～15km まで達した。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の G V P（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）



平成 17 年 9 月に噴火の報告された主な火山（日本を除く）

付表

1. 震度 1 以上を観測した地震の表

地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」を参照。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（各年の地震・火山月報（防災編）12月号の付録1参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

| 地震番号 | 震源時 日 時 分 | 震央地名 各地の震度（計測震度） | 緯度 | 経度 | 深さ | 規模 |
|------|--------------|---|-------------|--------------|------|--------|
| 1 | 1 04 05 | 奄美大島東方沖 鹿児島県 1 鹿屋市新米町=0.7 | 29° 23.3' N | 132° 03.9' E | 66km | M: 4.7 |
| 2 | 1 19 33 | 千葉県西北部 神奈川県 1 横浜神奈川区白幡上町*=0.8 | 35° 38.1' N | 140° 03.6' E | 70km | M: 3.1 |
| 3 | 2 08 39 | 宮城県沖 宮城県 1 唐桑町馬場*=0.5 | 38° 50.4' N | 141° 38.3' E | 66km | M: 2.9 |
| 4 | 2 23 26 | 三陸沖 岩手県 宮城県 1 陸前高田市高田町*=1.3 一関市花泉町*=0.8 1 石巻市桃生町*=1.2 涌谷町新町=0.5 宮城田尻町沼部*=0.5 東松島市矢本*=0.5 | 38° 22.6' N | 143° 15.8' E | 30km | M: 4.8 |
| 5 | 3 01 24 | 青森県東方沖 北海道 2 浦河町潮見=1.9 静内町ときわ=1.6 1 新冠町北星町*=1.4 忠類村忠類*=1.3 広尾町並木通=1.3 千歳市北栄=1.2 豊頃町茂岩本町*=1.0 函館市日ノ浜町*=1.0 恵庭市京町*=1.0 苫小牧市末広町=0.9 登別市鉾山=0.8 帯広市東4条=0.8 別海町常盤=0.7 芽室町東2条*=0.7 室蘭市東町*=0.7 十勝清水町南4条=0.6 更別村更別*=0.6 音更町元町*=0.5 本別町北2丁目=0.5 青森県 2 階上町道仏*=2.2 名川町平*=2.0 東通村砂子又*=1.8 六ヶ所村尾駸=1.8 八戸市南郷区*=1.7 八戸市湊町=1.7 五戸町古館=1.6 野辺地町野辺地*=1.6 むつ市金曲=1.6 平内町小湊=1.5 1 七戸町森ノ上*=1.3 東北町塔ノ沢山*=1.3 東北町上北南*=1.3 福地村苔米地*=1.3 百石町上明堂*=1.2 三沢市桜町*=1.2 下田町中下田*=1.2 外ヶ浜町蟹田*=1.1 五戸町倉石中市*=1.1 むつ市大畑町=1.0 大間町大間*=1.0 青森南部町沖田面*=0.9 七戸町七戸*=0.9 六戸町犬落瀬*=0.9 八戸市島守=0.8 十和田市奥瀬*=0.8 横浜町寺下*=0.8 むつ市川内町*=0.8 藤崎町水木*=0.8 佐井村佐井*=0.7 田舎館村田舎館*=0.6 十和田市西十二番町*=0.6 つがる市車力町*=0.5 中泊町中里*=0.5 藤崎町西豊田*=0.5 むつ市脇野沢*=0.5 青森市浪岡*=0.5 岩手県 2 大野村大野*=2.4 軽米町軽米*=1.8 種市町大町=1.8 1 野田村野田*=1.3 二戸市福岡=1.3 浄法寺町浄法寺*=1.3 久慈市川崎町=1.0 宮古市五月町*=0.9 普代村銅屋*=0.9 岩手川井村川井*=0.9 陸前高田市高田町*=0.9 宮古市田老*=0.8 遠野市松崎町*=0.7 盛岡市山王町=0.6 葛巻町葛巻=0.6 宮古市鎌ヶ崎=0.5 宮城県 1 涌谷町新町=0.7 登米市迫町*=0.6 石巻市桃生町*=0.5 栗原市金成*=0.5 | 41° 28.8' N | 141° 58.5' E | 64km | M: 4.9 |
| 6 | 3 05 08 | 福島県沖 福島県 1 福島玉川村小高*=1.0 | 37° 09.1' N | 142° 16.1' E | 21km | M: 4.4 |
| 7 | 3 06 54 | 宮城県北部 宮城県 1 東松島市小野*=0.6 | 38° 24.4' N | 141° 11.3' E | 11km | M: 2.0 |
| 8 | 3 07 28 | 三陸沖 宮城県 1 石巻市桃生町*=0.8 登米市迫町*=0.6 栗原市金成*=0.5 | 38° 20.6' N | 143° 18.6' E | 32km | M: 4.8 |
| 9 | 3 17 53 | 三宅島近海 東京都 1 三宅村神着=1.3 三宅村坪田=1.0 | 34° 05.1' N | 139° 31.2' E | 0km | M: 2.4 |
| 10 | 4 05 38 | 長野県中部 長野県 2 長野本城村西条*=2.1 坂北村役場*=1.7 麻績村麻*=1.7 青木村田沢青木*=1.6 1 安曇野市穂高=1.4 千曲市杭瀬下*=1.2 信州新町新町*=1.2 松本市丸の内*=1.0 千曲市戸倉*=1.0 坂井村入山=0.9 安曇野市明科*=0.9 生坂村役場*=0.8 松本市会田*=0.8 千曲市上山田温泉*=0.7 大町市大町=0.7 松本市美須々*=0.7 上田市大手=0.6 安曇野市穂高福祉センター*=0.6 武石村上武石*=0.5 中条村中条*=0.5 安曇野市堀金*=0.5 | 36° 24.2' N | 138° 02.8' E | 5km | M: 3.3 |
| 11 | 4 05 44 | 長野県中部 長野県 1 長野本城村西条*=1.1 | 36° 24.3' N | 138° 02.9' E | 5km | M: 2.4 |
| 12 | 4 07 08 | 天草灘 熊本県 1 牛深市牛深町=0.6 | 32° 16.8' N | 129° 44.0' E | 11km | M: 3.0 |
| 13 | 4 11 55 | 福岡県西方沖 福岡県 1 福岡西区玄界島=0.8 | 33° 40.9' N | 130° 17.0' E | 6km | M: 2.1 |

| 地震番号 | 震源時 日時分 | 震央地名 各地の震度(計測震度) | 緯度 | 経度 | 深さ | 規模 |
|------|------------|---|------------|-------------|------|--------|
| 14 | 4 13 01 | 新潟県中越地方 群馬県 2 六合村日影=1.5 1 六合村小雨*=1.3 長野原町長野原*=0.6 | 36°47.9' N | 138°46.3' E | 5km | M: 2.9 |
| 15 | 4 13 05 | 新潟県中越地方 群馬県 2 六合村日影=1.9 1 六合村小雨*=1.3 長野原町長野原*=0.8 新潟県 1 湯沢町神立*=0.7 出雲崎町米田=0.5 長野県 1 山ノ内町消防署*=0.5 | 36°47.9' N | 138°46.4' E | 5km | M: 3.3 |
| 16 | 4 19 06 | 伊予灘 愛媛県 3 伊方町湊浦*=2.7 2 八幡浜市五反田*=2.4 西予市明浜町*=2.3 内子町平岡*=2.2 西予市宇和町*=2.0 大洲市大洲*=2.0 今治市吉海町*=2.0 松山市富久町*=1.9 大洲市長浜*=1.9 大洲市肱川町*=1.9 八幡浜市広瀬=1.8 八幡浜市保内町*=1.8 内子町内子*=1.7 宇和島市三間町*=1.6 愛南町柏*=1.6 伊方町三崎*=1.5 伊方町三机*=1.5 西予市野村町=1.5 今治市菊間町*=1.5 1 松山市北条辻*=1.4 松山市中島大浦*=1.4 久万高原町久万*=1.4 宇和島市丸穂*=1.4 宇和島市吉田町*=1.4 宇和島市津島町*=1.4 松野町松丸*=1.4 今治市大西町*=1.3 今治市宮窪町*=1.2 上島町生名*=1.2 伊予市下吾川*=1.2 愛媛松前町筒井*=1.2 今治市南宝来町一丁目*=1.2 上島町岩城*=1.1 愛南町船越*=1.1 伊予市中山町*=1.0 砥部町総津*=1.0 宇和島市住吉町=1.0 今治市上浦町*=1.0 大洲市河辺町*=1.0 上島町弓削*=1.0 西条市丹原町鞍瀬=0.9 大洲市豊茂=0.9 松山市北持田町=0.9 鬼北町近永*=0.9 西予市城川町*=0.8 今治市波方町*=0.8 鬼北町下鍵山*=0.8 愛南町城辺*=0.6 愛南町一本松*=0.6 東温市南方*=0.5 内子町小田*=0.5 広島県 2 広島大野町大国*=2.1 呉市川尻町*=2.0 江田島市沖美町*=1.7 広島安佐北区可部南*=1.7 呉市広*=1.6 呉市下浦刈町*=1.6 安芸高田市向原町*=1.6 瀬戸田町瀬戸田*=1.5 大竹市小方*=1.5 大崎上島町中野*=1.5 1 北広島町有田=1.4 広島安佐南区緑井*=1.4 広島安芸区中野*=1.4 広島佐伯区湯来町運動広場*=1.4 呉市安浦町*=1.4 呉市蒲刈町*=1.3 広島中区羽衣町*=1.2 呉市中央*=1.2 呉市倉橋町支所*=1.2 三原市本郷町*=1.2 三原市久井町*=1.2 廿日市市津田*=1.2 江田島市能美町*=1.2 呉市宝町=1.0 呉市倉橋町鷹ヶ巣=1.0 呉市音戸町*=1.0 広島西区己斐*=1.0 安芸高田市吉田町*=1.0 東広島市黒瀬町=1.0 世羅町寺町*=1.0 竹原市中央*=0.9 安芸高田市八千代町*=0.9 呉市豊浜町*=0.9 尾道市向島町*=0.9 東広島市福富町*=0.9 広島佐伯区利松*=0.9 坂町役場*=0.9 安芸高田市甲田町*=0.9 世羅町西上原*=0.9 安芸高田市向原郵便局*=0.9 広島中区大手町*=0.9 三原市大和町*=0.8 江田島市江田島町*=0.8 福山市内海町*=0.8 大崎上島町木江*=0.8 北広島町都志見=0.8 広島中区上八丁堀=0.8 呉市郷原町*=0.7 北広島町豊平郵便局*=0.7 安芸太田町戸河内*=0.7 三次市三次町*=0.7 東広島市河内町*=0.7 東広島市安芸津町*=0.7 三次市役所*=0.7 熊野町役場*=0.7 呉市焼山*=0.6 因島市土生町*=0.6 安芸高田市高宮町*=0.6 江田島市大柿町*=0.6 北広島町大朝*=0.5 庄原市高野町*=0.5 神石高原町油木*=0.5 山口県 2 上関町長島*=2.3 周防大島町久賀*=2.2 岩国市横山*=1.8 柳井市大島*=1.8 周防大島町西安下庄*=1.7 由宇町役場*=1.6 周防大島町森*=1.6 柳井市南町*=1.5 周防大島町平野*=1.5 下関市竹崎=1.5 1 周南市呼坂*=1.4 光市中央*=1.4 和木町和木*=1.4 上関町室津*=1.4 平生町平生*=1.4 周防大島町小松*=1.4 岩国市今津=1.3 玖珂町阿山*=1.2 玖珂町役場*=1.2 田布施町下田布施=1.2 防府市西浦*=1.1 山口市阿知須*=1.1 下松市大手町*=1.0 山陽小野田市日の出*=1.0 周南市岐山通り*=1.0 光市岩田*=0.9 周東町役場*=0.9 周南市桜馬場通り*=0.8 山口美川町高ヶ原*=0.7 宇部市東須恵*=0.7 周南市富田*=0.6 山口市秋穂東*=0.6 下関市清末陣屋*=0.5 宇部市船木*=0.5 島根県 1 邑南町淀原*=1.4 邑南町三日市*=1.0 邑南町下口羽*=0.8 岡山県 1 岡山佐伯町矢田*=1.0 瀬戸内市長船町*=0.9 岡山市御津金川*=0.6 里庄町里見*=0.6 玉野市宇野*=0.6 真庭市西河内=0.5 高知県 1 佐賀町佐賀*=1.4 四万十市西土佐江川崎*=1.4 宿毛市桜町*=1.2 大方町入野=0.8 四万十市八反原児童公園*=0.8 赤岡町役場*=0.6 宿毛市片島=0.6 中土佐町久礼*=0.6 十和村十川*=0.6 大正町田野々*=0.5 福岡県 1 行橋市中央*=0.9 苅田町京町*=0.5 熊本県 1 産山村山鹿*=0.8 大分県 1 国東町鶴川=1.4 国東町田深*=1.4 大分市碩田町*=1.3 大分市長浜=1.1 津久見市立花町*=1.1 佐伯市中村南=1.0 佐伯市蒲江=0.9 臼杵市乙見=0.8 豊後高田市御玉*=0.6 杵築市南杵築*=0.6 別府市鶴見=0.5 豊後大野市三重町=0.5 宮崎県 1 北川町白石中央住宅*=0.8 高千穂町三田井=0.8 高千穂町寺迫*=0.7 | 33°30.2' N | 132°05.7' E | 54km | M: 4.3 |
| 17 | 4 21 18 | 伊豆大島近海 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=1.3 | 34°48.3' N | 139°14.7' E | 11km | M: 2.6 |
| 18 | 5 07 05 | 新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.5 | 34°21.2' N | 139°08.5' E | 0km | M: 1.8 |
| 19 | 5 14 42 | 種子島近海 鹿児島県 1 鹿屋市新栄町=1.3 西之表市西之表=1.0 西之表市住吉=0.8 | 30°26.5' N | 131°23.2' E | 24km | M: 4.6 |
| 20 | 5 18 00 | 網走支庁網走地方 北海道 1 清里町羽衣町*=0.5 | 43°44.7' N | 144°43.7' E | 0km | M: 2.4 |

| 地震 番号 | 震源時 日 時 分 | 震央地名 各地の震度(計測震度) | 緯度 | 経度 | 深さ | 規模 |
|----------|--------------|---|-------------|--------------|-------|--------|
| 21 | 6 01 17 | 奄美大島近海 鹿児島県 1 鹿屋市新栄町=0.5 | 29° 50.5' N | 129° 20.8' E | 212km | M: 4.9 |
| 22 | 6 02 51 | 東シナ海 沖縄県 1 宮古島市平良西仲宗根=1.1 宮古島市城辺福里=1.0 多良間村塩川=1.0 石垣市登野城=0.9 宮古島市平良下里=0.6 竹富町大原=0.6 | 25° 46.8' N | 124° 49.3' E | 116km | M: 5.2 |
| 23 | 6 09 21 | 新島・神津島近海 東京都 3 新島村式根島=2.9 1 神津島村金長=1.1 利島村=1.0 | 34° 21.8' N | 139° 10.0' E | 8km | M: 3.4 |
| 24 | 6 10 16 | 台湾付近 沖縄県 1 与那国町祖納=1.2 | 23° 54.8' N | 122° 17.2' E | 14km | M: 6.0 |
| 25 | 6 18 13 | 宮城県沖 宮城県 2 石巻市北上町*=1.7 南三陸町歌津*=1.6 1 石巻市泉町=1.3 石巻市門脇*=1.3 石巻市鮎川浜*=1.3 石巻市桃生町*=1.3 宮城川崎町前川*=1.3 涌谷町新町=1.2 名取市増田*=1.1 岩沼市桜*=1.1 蔵王町円田*=1.1 唐桑町馬場*=1.1 東松島市矢本*=1.0 東松島市小野*=0.9 南三陸町志津川=0.9 女川町女川浜*=0.8 大衡村大衡*=0.8 仙台宮城野区苦竹*=0.8 塩竈市旭町*=0.8 宮城田尻町沼部*=0.8 登米市東和町*=0.8 栗原市築館*=0.7 登米市中田町=0.7 気仙沼市赤岩=0.7 小牛田町北浦*=0.7 仙台青葉区大倉=0.7 七ヶ浜町東宮浜*=0.7 鹿島台町平渡*=0.6 石巻市雄勝町*=0.6 栗原市栗駒=0.6 柴田町船岡=0.6 宮城松山町千石*=0.6 亘理町下小路*=0.6 栗原市瀬峰*=0.6 鳴子町鬼首*=0.5 栗原市高清水*=0.5 山元町浅生原*=0.5 栗原市一迫*=0.5 栗原市金成*=0.5 仙台宮城野区五輪=0.5 岩手県 1 一関市室根町*=1.3 陸前高田市高田町*=1.1 一関市千厩町*=1.0 藤沢町藤沢*=0.9 大船渡市大船渡町=0.9 釜石市只越町=0.7 一関市舞川=0.6 大船渡市猪川町=0.5 福島県 1 川俣町五百田*=1.3 相馬市中村*=1.1 福島鹿島町西町*=1.1 田村市都路町*=0.9 福島東和町針道*=0.8 田村市大越町*=0.8 新地町谷地小屋*=0.8 田村市常葉町*=0.7 飯館村伊丹沢*=0.7 田村市船引町=0.6 楡葉町北田*=0.6 梁川町青葉町*=0.6 田村市滝根町*=0.5 月舘町月舘*=0.5 浪江町幾世橋=0.5 安達町油井*=0.5 | 38° 17.0' N | 141° 55.1' E | 45km | M: 4.1 |
| 26 | 6 19 19 | 沖縄本島近海 沖縄県 2 宜野湾市野嵩*=1.6 1 与那原町上与那原*=1.2 豊見城市上田*=0.5 西原町嘉手苺*=0.5 沖縄大里村仲間*=0.5 | 26° 14.6' N | 127° 47.5' E | 5km | M: 3.0 |
| 27 | 7 13 23 | 茨城県南部 茨城県 2 坂東市役所*=2.1 筑西市門井*=2.0 茨城境町旭町*=1.7 桜川市岩瀬*=1.7 筑西市舟生=1.7 古河市下大野*=1.6 茨城八千代町菅谷*=1.6 1 つくば市谷田部*=1.4 石岡市八郷*=1.4 つくば市小茎*=1.3 下妻市本城町*=1.3 坂東市岩井=1.3 筑西市海老ヶ島*=1.3 坂東市山*=1.2 石岡市柿岡=1.2 土浦市下高津*=1.2 友部町中央*=1.2 石下町新石下*=1.1 桜川市羽田*=1.1 茨城新治村藤沢*=1.0 笠間市石井*=1.0 玉里村上玉里*=1.0 五霞町小福田*=1.0 岩間町下郷*=1.0 城里町阿波山*=1.0 古河市仁連*=0.9 千代川村鬼怒*=0.9 水海道市諏訪町*=0.9 かすみがうら市上土田*=0.8 水戸市金町=0.8 常陸大宮市野口*=0.8 茨城伊奈町福田*=0.8 桜川市真壁*=0.8 筑西市下中山*=0.7 茨城小川町小川*=0.7 土浦市大岩田=0.7 水戸市内原町*=0.7 常陸大宮市上小瀬*=0.7 美野里町野倉*=0.6 常陸太田市町屋町=0.5 行方市甲*=0.5 栃木県 2 宇都宮市明保野町=2.2 栃木二宮町石島*=2.1 栃木市旭町=1.8 南河内町田中*=1.8 足利市大正町*=1.7 岩舟町静*=1.6 佐野市高砂町*=1.6 佐野市葛生東*=1.6 栃木藤岡町藤岡*=1.5 益子町益子=1.5 1 高根沢町石末*=1.4 宇都宮市旭*=1.3 小山市中央町*=1.3 上河内町中里*=1.2 壬生町通町*=1.2 野木町丸林*=1.2 大平町富田*=1.2 都賀町家中*=1.2 日光市中宮祠=1.2 足利市名草上町=1.2 粟野町口栗野*=1.1 鹿沼市今宮町*=1.1 西方町本城*=1.0 石橋町石橋*=1.0 佐野市田沼町*=1.0 足尾町松原*=0.9 栃木市入舟町*=0.9 茂木町茂木*=0.9 日光市中鉢石町*=0.8 上三川町しらすぎ町*=0.8 今市市本町*=0.7 塩谷町玉生*=0.6 大田原市湯津上*=0.6 群馬県 2 邑楽町中野*=1.8 1 群馬板倉町板倉=1.4 大泉町日の出*=1.4 沼田市利根町*=1.2 桐生市黒保根町*=1.2 伊勢崎市西久保町*=1.2 群馬明和町新里*=1.2 群馬千代田町赤岩*=1.1 前橋市堀越町*=1.1 桐生市新里町*=1.0 太田市粕川町*=0.9 館林市城町*=0.9 大間々町大間々*=0.9 沼田市西倉内町=0.9 前橋市粕川町*=0.9 伊勢崎市東町*=0.8 太田市浜町*=0.8 片品村東小川=0.7 太田市大原町*=0.7 富士見村田島*=0.7 桐生市織姫町=0.7 勢多郡東村花輪*=0.5 埼玉県 2 宮代町笠原*=2.0 久喜市下早見=1.7 大里町北下新井*=1.7 江南町中央*=1.5 1 春日部市金崎*=1.4 加須市下三俣*=1.3 越生町越生*=1.3 東松山市松葉町*=1.2 羽生市東*=1.2 桶川市泉*=1.2 さいたま岩槻区本町*=1.2 埼玉美里町木部*=1.1 児玉町八幡山=1.1 上尾市本町*=1.1 さいたま浦和区高砂=1.1 熊谷市桜町=1.1 滑川町福田*=1.0 行田市本丸*=1.0 南河原村南河原*=0.9 戸田市上戸田*=0.9 坂戸市千代田*=0.9 北本市本町*=0.8 嵐山町杉山*=0.7 深谷市仲町*=0.6 神川町植竹*=0.6 春日部市谷原新田*=0.6 長瀨町本野上*=0.5 熊谷市妻沼*=0.5 福島県 1 福島玉川村小高*=0.9 千葉県 1 成田市花崎町=0.8 柏市旭町=0.7 東京都 1 東京千代田区大手町=0.7 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.5 | 36° 05.4' N | 139° 53.7' E | 49km | M: 4.1 |
| 28 | 7 20 31 | 岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市久々野町*=1.2 高山市高根町*=1.2 高山市丹生川町坊方*=0.8 下呂市小坂町*=0.8 | 36° 02.3' N | 137° 21.7' E | 11km | M: 3.0 |

| 地震番号 | 震源時 日 時 分 | 震央地名 各地の震度(計測震度) | 緯度 | 経度 | 深さ | 規模 |
|------|--------------|--|-------------|--------------|------|--------|
| | | 高山市朝日町 * =0.6 高山市消防署 * =0.6 高山市奥飛騨温泉郷栢尾 * =0.6 | | | | |
| 29 | 8 21 23 | 福岡県西方沖 福岡県 2 福岡西区玄界島=1.5 | 33° 43.1' N | 130° 13.4' E | 8km | M: 2.8 |
| 30 | 8 23 21 | 兵庫県南東部 兵庫県 1 市川町西川辺 * =0.8 滝野町下滝野 * =0.7 加古川市志方町 * =0.7 | 34° 56.4' N | 134° 47.5' E | 17km | M: 3.0 |
| 31 | 9 14 15 | 福岡県西方沖 福岡県 1 福岡西区玄界島=1.0 | 33° 41.6' N | 130° 16.4' E | 6km | M: 2.5 |
| 32 | 9 15 42 | 新潟県中越地方 新潟県 3 魚沼市今泉 * =2.7 2 上越安塚区安塚 * =1.7 南魚沼市浦佐 * =1.7 魚沼市堀之内 * =1.6 十日町市松代 * =1.5 1 小千谷市城内=1.4 魚沼市大沢 * =1.4 魚沼市米沢=1.3 魚沼市須原 * =1.2 長岡市小国町法坂 * =1.1 魚沼市小出島 * =1.1 十日町市千歳町 * =1.1 十日町市水口沢 * =1.1 南魚沼市六日町=1.0 南魚沼市塩沢 * =0.9 上越大島区岡 * =0.5 出雲崎町米田=0.5 群馬県 1 片品村東小川=1.0 埼玉県 1 久喜市下早見=0.7 | 37° 09.9' N | 138° 51.9' E | 8km | M: 3.7 |
| 33 | 9 16 15 | 千葉県東方沖 茨城県 2 神栖市波崎 * =2.3 神栖市溝口 * =2.1 茨城河内町源清田 * =1.7 茨城鹿嶋市鉢形=1.7 稲敷市江戸崎 * =1.6 1 取手市藤代 * =1.4 玉里村上玉里 * =1.4 稲敷市結佐 * =1.4 潮来市辻 * =1.3 取手市井野 * =1.3 稲敷市柴崎 * =1.2 稲敷市須賀津 * =1.1 石岡市柿岡=1.1 大洋村汲上 * =1.1 行方市麻生 * =1.0 美浦村受領 * =1.0 土浦市下高津 * =1.0 鉾田町鉾田=1.0 筑西市舟生=1.0 つくば市小笠 * =0.9 利根町布川=0.9 土浦市大岩田=0.8 坂東市岩井=0.8 水戸市金町=0.6 千葉県 2 銚子市川口町=2.4 旭市萩園 * =2.2 旭市高生 * =2.1 旭市南堀之内 * =1.9 千葉岬町長者 * =1.9 千葉山田町仁良 * =1.8 野栄町今泉 * =1.8 旭市二 * =1.8 八日市場市八 * =1.7 小見川町羽根川 * =1.7 多古町多古=1.7 光町宮川 * =1.7 蓮沼村八 * =1.7 佐原市佐原=1.7 九十九里町片貝 * =1.6 睦沢町下之郷 * =1.6 長生村本郷 * =1.6 白子町関 * =1.6 成田市花崎町=1.6 本埜村笠神 * =1.6 佐原市役所 * =1.6 1 東庄町笹川 * =1.4 成東町殿台 * =1.4 松尾町松尾 * =1.4 横芝町横芝 * =1.4 夷隅町国府台 * =1.4 大網白里町大網 * =1.3 東金市東新宿=1.3 東金市東岩崎 * =1.3 芝山町小池 * =1.3 千葉一宮町一宮=1.3 成田市役所 * =1.3 佐倉市海隣寺町 * =1.3 八街市八街 * =1.3 長南町長南 * =1.2 千葉大原町大原 * =1.2 栗源町岩部 * =1.1 富里市七栄 * =1.1 千葉中央区中央港=1.0 千葉神崎町神崎本宿 * =1.0 館山市長須賀=0.9 木更津市潮見=0.9 君津市久保 * =0.9 大多喜町大多喜 * =0.9 勝浦市墨名=0.8 長柄町大津倉=0.8 鴨川市八色=0.7 埼玉県 1 春日部市谷原新田 * =1.1 吉川市吉川 * =1.0 戸田市上戸田 * =0.7 久喜市下早見=0.5 東京都 1 東京荒川区東尾久 * =0.9 東京江戸川区船堀 * =0.9 東京江東区森下 * =0.8 東京江東区枝川 * =0.8 東京足立区伊興 * =0.8 東京足立区神明南 * =0.8 東京北区赤羽南 * =0.7 東京千代田区大手町=0.6 東京足立区千住 * =0.6 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.9 中井町比奈窪 * =0.6 | 35° 35.4' N | 140° 56.8' E | 38km | M: 5.0 |
| 34 | 10 07 23 | 福井県嶺北地方 福井県 1 福井和泉村川合 * =1.0 福井和泉村朝日 * =1.0 | 35° 55.0' N | 136° 35.6' E | 11km | M: 2.9 |
| 35 | 10 19 25 | 秋田県内陸南部 秋田県 2 湯沢市皆瀬 * =1.7 1 湯沢市横堀 * =1.4 湯沢市沖鶴=1.2 羽後町西馬音内 * =0.6 | 39° 04.1' N | 140° 34.8' E | 8km | M: 3.0 |
| 36 | 11 00 35 | 伊予灘 愛媛県 1 八幡浜市五反田 * =1.1 伊方町湊浦 * =0.8 八幡浜市保内町 * =0.7 大洲市長浜 * =0.6 西予市三瓶町 * =0.6 山口県 1 防府市寿=0.8 防府市西浦 * =0.8 下松市大手町 * =0.5 大分県 1 国東町田深 * =0.6 | 33° 43.7' N | 131° 54.0' E | 73km | M: 3.4 |
| 37 | 11 05 06 | 福島県沖 福島県 3 田村市都路町 * =3.0 川内村上川内 * =2.8 2 楢葉町北田 * =2.4 大熊町下野上 * =2.2 浪江町幾世橋=2.2 田村市大越町 * =2.1 小高町本町 * =2.1 いわき市小名浜=2.0 福島玉川村小高 * =2.0 富岡町本岡 * =2.0 川内村下川内=2.0 小野町小野新町 * =2.0 中島村滑津 * =2.0 田村市常葉町 * =2.0 いわき市平 * =1.9 福島鹿島町西町 * =1.8 田村市滝根町 * =1.8 飯館村伊丹沢 * =1.8 新地町谷地小屋 * =1.8 福島国見町藤田 * =1.7 平田村永田 * =1.7 古殿町松川 * =1.7 相馬市中村 * =1.7 福島東和町針道 * =1.7 表郷村金山 * =1.7 福島双葉町新山 * =1.6 葛尾村落合 * =1.6 広野町下北迫 * =1.6 川俣町五百田 * =1.6 福島白沢村糠沢 * =1.6 原町市三島町=1.6 原町市本町 * =1.5 浅川町浅川 * =1.5 須賀川市岩瀬支所 * =1.5 1 白河市郭内=1.4 須賀川市八幡町 * =1.4 天栄村下松本 * =1.4 福島西郷村熊倉 * =1.4 矢祭町東館 * =1.4 田村市船引町=1.4 福島東村釜子 * =1.3 大信村増見 * =1.3 棚倉町棚倉=1.3 安達町油井 * =1.3 石川町下泉 * =1.3 郡山市朝日=1.3 梁川町青葉町 * =1.2 福島市五老内町 * =1.2 二本松市金色 * =1.2 福島市松木町=1.1 保原町舟橋 * =1.1 泉崎村泉崎 * =1.1 福島本宮町万世 * =1.1 大玉村玉井 * =1.0 桑折町東大隅 * =1.0 三春町大町 * =1.0 月館町月館 * =1.0 飯野町飯野 * =1.0 大玉村曲藤=0.9 塙町塙 * =0.6 鮫川村赤坂中野 * =0.6 | 37° 03.8' N | 141° 10.4' E | 50km | M: 4.5 |

| 地震番号 | 震源時 日時分 | 震央地名 各地の震度(計測震度) | 緯度 | 経度 | 深さ | 規模 | | |
|-------|--|---------------------|--|---------------|---|----|--|--|
| 38 | 11 18 47 | 宮城県 | 2 岩沼市桜 * =1.9 蔵王町円田 * =1.7 山元町浅生原 * =1.6 角田市角田 * =1.6 宮城川崎町前川 * =1.5 1 名取市増田 * =1.4 柴田町船岡 * =1.3 塩竈市旭町 * =1.2 亶理町下小路 * =1.2 村田町村田 * =1.1 石巻市桃生町 * =1.1 大河原町新南 * =1.0 白石市亶理町 * =1.0 宮城加美町中新田 * =1.0 宮城田尻町沼部 * =0.9 仙台宮城野区五輪 * =0.9 丸森町上滝 * =0.8 丸森町鳥屋 * =0.8 大衡村大衡 * =0.7 登米市中田町 * =0.7 古川市三日町 * =0.7 鹿島台町平渡 * =0.7 仙台青葉区雨宮 * =0.6 南三陸町歌津 * =0.6 仙台宮城野区苦竹 * =0.6 涌谷町新町 * =0.6 東松島市小野 * =0.6 仙台青葉区大倉 * =0.6 宮城松山町千石 * =0.5 七ヶ浜町東宮浜 * =0.5 東松島市矢本 * =0.5 気仙沼市赤岩 * =0.5 色麻町四電 * =0.5 | | | | | |
| | | 茨城県 | 2 北茨城市磯原町 * =2.0 常陸大宮市野口 * =1.5 1 大子町池田 * =1.4 日立市十王町友部 * =1.3 常陸太田市高柿町 * =1.3 常陸大宮市上小瀬 * =1.3 水戸市金町 * =1.2 日立市助川町 * =1.2 常陸大宮市山方 * =1.2 常陸太田市大中町 * =1.0 高萩市本町 * =1.0 友部町中央 * =1.0 岩間町下郷 * =1.0 城里町石塚 * =1.0 城里町阿波山 * =1.0 土浦市下高津 * =1.0 石岡市八郷 * =1.0 桜川市羽田 * =0.9 桜川市岩瀬 * =0.9 大洋村汲上 * =0.9 石岡市柿岡 * =0.9 筑西市門井 * =0.8 美野里町堅倉 * =0.8 土浦市大岩田 * =0.8 常陸太田市町屋町 * =0.8 常陸太田市町田町 * =0.8 水戸市中央 * =0.8 つくば市谷田部 * =0.7 茨城小川町小川 * =0.7 水戸市内原町 * =0.7 筑西市舟生 * =0.7 常陸大宮市中富町 * =0.6 笠間市石井 * =0.6 茨城鹿嶋市鉢形 * =0.6 鉾田町鉾田 * =0.6 美浦村受領 * =0.6 玉里村上玉里 * =0.6 桜川市真壁 * =0.5 常陸大宮市高部 * =0.5 | | | | | |
| | | 栃木県 | 2 大田原市湯津上 * =1.6 1 栃木河内町白沢 * =1.3 那須烏山市中央 * =1.2 那須町寺子 * =1.1 宇都宮市明保野町 * =1.0 栃木那珂川町小川 * =1.0 今市市本町 * =0.9 栃木二宮町石島 * =0.9 大田原市黒羽田町 * =0.8 栃木那珂川町馬頭 * =0.7 益子町益子 * =0.6 上河内町中里 * =0.5 | | | | | |
| | | 岩手県 | 1 一関市室根町 * =0.8 一関市千厩町 * =0.5 | | | | | |
| | | 千葉県 | 1 成田市花崎町 * =0.6 | | | | | |
| | | 岩手県沿岸北部 | 39° 51.7' N 141° 28.4' E 76km M: 3.6 | | | | | |
| | | 岩手県 | 2 大野村大野 * =1.7 1 久慈市川崎町 * =1.3 野田村野田 * =1.3 一関市千厩町 * =1.0 矢巾町南矢幅 * =0.8 藤沢町藤沢 * =0.8 普代村銅屋 * =0.8 二戸市福岡 * =0.7 岩手東和町土沢 * =0.7 八幡平市野駄 * =0.6 江刺市大通り * =0.6 大船渡市大船渡町 * =0.5 盛岡市山王町 * =0.5 | | | | | |
| | | 青森県 | 1 五戸町古館 * =0.5 | | | | | |
| | | 39 | 12 04 28 | 宮城県沖 宮城県 | 38° 09.7' N 142° 11.3' E 42km M: 4.7 | | | |
| | | 40 | 12 18 35 | 宮城県 | 2 石巻市桃生町 * =1.8 岩沼市桜 * =1.7 涌谷町新町 * =1.6 南三陸町歌津 * =1.5 1 塩竈市旭町 * =1.4 宮城川崎町前川 * =1.4 石巻市門脇 * =1.3 石巻市泉町 * =1.2 栗原市金成 * =1.2 登米市迫町 * =1.2 東松島市矢本 * =1.2 名取市増田 * =1.1 角田市角田 * =1.1 蔵王町円田 * =1.1 大衡村大衡 * =1.1 亶理町下小路 * =1.1 宮城田尻町沼部 * =1.1 登米市中田町 * =1.1 登米市南方町 * =1.1 石巻市北上町 * =1.1 古川市三日町 * =1.1 栗原市志波姫 * =1.0 小牛田町北浦 * =1.0 登米市米山町 * =1.0 南三陸町志津川 * =1.0 山元町浅生原 * =1.0 仙台宮城野区苦竹 * =1.0 色麻町四電 * =0.9 宮城松山町千石 * =0.9 鹿島台町平渡 * =0.9 石巻市鮎川浜 * =0.9 石巻市前谷地 * =0.9 東松島市小野 * =0.9 唐桑町馬場 * =0.9 栗原市築館 * =0.9 栗原市高清水 * =0.9 栗原市瀬峰 * =0.9 気仙沼市赤岩 * =0.9 栗原市一迫 * =0.8 仙台宮城野区五輪 * =0.8 栗原市若柳 * =0.8 宮城南郷町木間塚 * =0.8 登米市登米町 * =0.8 栗原市栗駒 * =0.7 登米市東和町 * =0.7 石巻市相野谷 * =0.7 大河原町新南 * =0.7 宮城加美町中新田 * =0.7 大郷町粕川 * =0.6 村田町村田 * =0.6 白石市亶理町 * =0.6 丸森町鳥屋 * =0.6 利府町利府 * =0.5 女川町女川浜 * =0.5 鳴子町鬼首 * =0.5 柴田町船岡 * =0.5 仙台青葉区大倉 * =0.5 | | | |
| 岩手県 | 1 一関市室根町 * =1.4 陸前高田市高田町 * =1.3 一関市千厩町 * =1.2 藤沢町藤沢 * =1.2 衣川村古戸 * =1.1 矢巾町南矢幅 * =1.1 前沢町七日町 * =1.0 岩手東和町土沢 * =1.0 江刺市大通り * =0.9 北上市柳原町 * =0.9 大槌町新町 * =0.8 平泉町平泉 * =0.8 大船渡市大船渡町 * =0.8 大野村大野 * =0.7 一関市山目 * =0.7 盛岡市山王町 * =0.7 二戸市福岡 * =0.7 石鳥谷町八幡 * =0.7 釜石市只越町 * =0.6 大船渡市猪川町 * =0.6 一関市舞川 * =0.6 宮古市五月町 * =0.5 遠野市松崎町 * =0.5 大迫町大迫 * =0.5 | | | | | | | |
| 福島県 | 1 田村市大越町 * =1.4 福島国見町藤田 * =1.3 川俣町五百田 * =1.3 福島玉川村小高 * =1.3 相馬市中村 * =1.3 楡葉町北田 * =1.2 福島鹿島町西町 * =1.2 福島東和町針道 * =1.1 田村市滝根町 * =1.1 福島白沢村糠沢 * =1.0 新地町谷地小屋 * =1.0 福島市松木町 * =0.9 安達町油井 * =0.9 田村市都路町 * =0.9 田村市船引町 * =0.8 郡山市朝日 * =0.8 田村市常葉町 * =0.8 梁川町青葉町 * =0.8 月舘町月舘 * =0.8 飯舘村伊丹沢 * =0.8 浪江町幾世橋 * =0.7 原町市三島町 * =0.6 天栄村下松本 * =0.6 広野町下北迫 * =0.5 浅川町浅川 * =0.5 | | | | | | | |
| 紀伊半島沖 | 33° 20.6' N 135° 44.5' E 25km M: 4.2 | | | | | | | |
| 奈良県 | 2 下北山村寺垣内 * =1.8 1 十津川村平谷 * =1.1 黒滝村寺戸 * =0.9 五條市大塔町簾 * =0.7 高取町観音寺 * =0.6 十津川村小原 * =0.5 | | | | | | | |
| 和歌山県 | 2 新宮市新宮 * =1.5 1 日高川町土生 * =1.3 海南市下津 * =1.1 古座川町高池 * =1.1 田辺市中辺路町栗栖川 * =1.0 みなべ町土井 * =0.8 御坊市園 * =0.8 和歌山白浜町湯崎 * =0.9 和歌山印南町印南 * =0.8 みなべ町土井 * =0.8 御坊市園 * =0.8 上富田町朝来 * =0.8 日置川町日置 * =0.8 串本町串本 * =0.8 和歌山広川町広 * =0.8 新宮市熊野川町日足 * =0.8 湯浅町湯浅 * =0.7 田辺市本宮町本宮 * =0.7 串本町潮岬 * =0.7 田辺市中屋敷町 * =0.7 有田市初島町 * =0.7 和歌山清水町清水 * =0.6 那賀町役場 * =0.6 串本町古座 * =0.6 古座川町峯 * =0.6 海南市日方 * =0.6 日高川町川原河 * =0.5 田辺市鮎川 * =0.5 | | | | | | | |
| 41 | 12 20 18 | | | 福岡県西方沖 福岡県 | 33° 46.6' N 130° 06.3' E 12km M: 4.1 | | | |
| | | | | | 2 福岡志摩町初 * =2.4 前原市前原西 * =2.3 福岡西区玄界島 * =2.2 福岡西区今宿 * =1.9 福岡中央区大濠 * =1.9 | | | |

| 地震番号 | 震源時 日時分 | 震央地名 各地の震度(計測震度) | 緯度 | 経度 | 深さ | 規模 |
|------|------------|---|-------------|--------------|-------|--------|
| | | 二丈町深江 * =1.9 福岡早良区百道浜 * =1.8 福岡東区東浜 * =1.6 1 福岡中央区舞鶴 * =1.4 福岡城南区神松寺 * =1.4 宗像市東郷 * =1.4 須恵町須恵 * =1.4 福岡新宮町緑ヶ浜 * =1.4 福津市津屋崎 * =1.4 福岡古賀市駅東 * =1.3 宗像市大島 * =1.2 久留米市北野町 * =1.2 粕屋町仲原 * =1.2 宗像市江口 * =1.1 春日市原町 * =1.1 朝倉町宮野 * =1.1 久山町久原 * =1.1 筑前町下高場 =1.0 志免町志免 * =1.0 碓井町上臼井 * =0.9 久留米市津福本町 =0.9 福津市手光 =0.9 小郡市小郡 * =0.9 福津市中央 * =0.9 大刀洗町富多 * =0.9 福岡南区塩原 * =0.9 水巻町頃末 * =0.8 芦屋町幸町 * =0.8 筑前町篠隈 * =0.8 那珂川町西隈 * =0.7 北九州戸畑区千防 * =0.7 大野城市曙町 * =0.7 若宮町福丸 * =0.6 福岡博多区博多駅前 * =0.6 福岡早良区板屋 =0.6 北九州小倉北区大手町 * =0.6 久留米市田主丸町 * =0.6 柳川市本町 * =0.6 北九州八幡西区相生町 * =0.6 筑紫野市二日市西 * =0.6 宇美町宇美 * =0.6 大木町八町牟田 * =0.6 鞍手町中山 * =0.6 宮田町宮田 * =0.6 筑前町新町 * =0.5 遠賀町今古賀 * =0.5 直方市新町 * =0.5 飯塚市川島 =0.5 大川市酒見 * =0.5 篠栗町篠栗 * =0.5 行橋市中央 * =0.5 北九州若松区桜町 * =0.5 黒木町今 * =0.5 うきは市浮羽町 * =0.5 穂波町忠隈 * =0.5 2 唐津市呼子 * =2.0 七山村滝川 * =1.8 みやき町中原 * =1.5 佐賀市三瀬 * =1.5 1 基山町宮浦 * =1.2 みやき町北茂安 * =1.2 佐賀市駅前中央 =1.1 東脊振村三津 * =1.1 唐津市西城内 =1.0 唐津市浜玉 * =1.0 佐賀玄海町諸浦 * =1.0 佐賀市大和 * =1.0 長崎県 2 平戸市岩の上町 =2.1 鹿町町下歌ヶ浦 * =1.9 壱岐市芦辺町芦辺 * =1.7 1 平戸市田平町 * =1.4 平戸市生月町 * =1.2 佐々町本田原 * =1.2 琴海町長浦 =1.2 長崎対馬市美津島町 * =1.2 壱岐市芦辺町中野 =1.2 壱岐市石田町 * =1.2 佐世保市干尽町 =1.1 小値賀町笛吹 * =1.1 北松浦郡鷹島町中通 * =1.0 長崎対馬市厳原町 =1.0 新上五島町櫻津 * =1.0 新上五島町有川 * =1.0 西海市西海町 * =0.9 長崎対馬市峰町 * =0.8 佐世保市世知原町 * =0.8 長崎福島町塩浜 * =0.5 長崎対馬市上県町飼所 =0.5 山口県 1 下関市清未陣屋 * =1.3 下関市菊川町田部 * =1.1 下関市竹崎 =0.8 下関市豊浦町川棚 =0.8 下関市豊北町角島 * =0.7 下関市豊浦町浄水場 * =0.5 萩市川上 * =0.5 | | | | |
| 42 | 12 21 45 | 新潟県中越地方 新潟県 | 37° 14.3' N | 138° 35.0' E | 14km | M: 3.1 |
| | | 2 柏崎高柳町岡野町 * =2.3 1 長岡市小国町法坂 * =1.0 柏崎市中央町 * =1.0 上越浦川原区釜淵 * =0.7 小千谷市城内 =0.7 出雲崎町米田 =0.7 上越安塚区安塚 * =0.6 | | | | |
| 43 | 12 22 35 | 群馬県南部 埼玉県 栃木県 群馬県 | 36° 12.2' N | 139° 00.7' E | 126km | M: 3.7 |
| | | 2 大利根町北下新井 * =1.5 1 足利市名草上町 =1.0 宇都宮市明保野町 =0.7 栃木二宮町石島 * =0.7 栃木藤岡町藤岡 * =0.7 1 邑楽町中野 * =0.5 | | | | |
| 44 | 12 23 34 | 青森県東方沖 岩手県 | 40° 53.9' N | 141° 47.2' E | 69km | M: 3.1 |
| | | 1 大野村大野 * =1.0 | | | | |
| 45 | 13 17 01 | 福岡県西方沖 福岡県 | 33° 41.8' N | 130° 16.2' E | 15km | M: 3.5 |
| | | 2 福岡志摩町初 =1.5 1 春日市原町 * =1.4 前原市前原西 * =1.4 福岡西区玄界島 =1.3 二丈町深江 * =1.2 福岡東区東浜 * =1.1 福岡中央区大濠 =1.0 福岡西区今宿 * =1.0 福岡城南区神松寺 * =0.9 碓井町上臼井 * =0.9 久留米市津福本町 =0.9 福岡早良区百道浜 * =0.9 福津市津屋崎 * =0.8 福岡南区塩原 * =0.8 那珂川町西隈 * =0.8 福岡中央区舞鶴 * =0.8 須恵町須恵 * =0.7 福岡博多区博多駅前 * =0.7 宗像市東郷 * =0.6 福岡新宮町緑ヶ浜 * =0.5 福岡古賀市駅東 * =0.5 佐賀県 1 唐津市西城内 =1.2 基山町宮浦 * =0.6 | | | | |
| 46 | 13 23 00 | 福岡県西方沖 福岡県 | 33° 41.8' N | 130° 15.4' E | 4km | M: 2.3 |
| | | 2 福岡西区玄界島 =1.5 | | | | |
| 47 | 13 23 23 | 広島県北部 広島県 島根県 | 34° 56.6' N | 132° 49.9' E | 5km | M: 2.9 |
| | | 2 庄原市高野町 * =1.7 1 三次市君田町 * =0.9 庄原市口和町 * =0.5 1 邑南町下口羽 * =0.6 雲南市掛合町掛合 * =0.5 | | | | |
| 48 | 14 07 33 | 福岡県西方沖 福岡県 | 33° 41.8' N | 130° 15.4' E | 4km | M: 1.7 |
| | | 1 福岡西区玄界島 =0.7 | | | | |
| 49 | 14 07 47 | 山梨県中西部 山梨県 | 35° 29.8' N | 138° 16.2' E | 16km | M: 3.2 |
| | | 1 市川三郷町岩間 * =0.5 | | | | |
| 50 | 14 11 54 | 岐阜県飛騨地方 岐阜県 長野県 | 35° 53.0' N | 137° 15.8' E | 9km | M: 3.0 |
| | | 2 下呂市萩原町 * =1.7 下呂市小坂町 * =1.6 下呂市馬瀬 * =1.5 1 下呂市下呂小学校 * =0.8 下呂市森 =0.7 高山市高根町 * =0.7 1 開田村西野 * =0.6 | | | | |
| 51 | 14 19 26 | 沖縄本島近海 沖縄県 | 26° 33.1' N | 128° 46.4' E | 25km | M: 4.8 |
| | | 1 国頭村奥 =1.1 | | | | |
| 52 | 15 08 05 | 沖縄本島近海 沖縄県 | 26° 06.2' N | 127° 43.9' E | 45km | M: 4.2 |
| | | 2 宜野湾市野嵩 * =1.9 豊見城市上田 * =1.8 与那原町上与那原 * =1.5 1 北中城村喜舎場 * =1.4 玉城村前川 =1.4 沖縄大里村仲間 * =1.4 沖縄市仲宗根町 * =1.3 糸満市潮崎町 * =1.3 うるま市与那城中央 * =1.1 玉城村富里 * =1.0 本部町役場 * =0.9 | | | | |

| 地震番号 | 震源時 日時分 | 震央地名 各地の震度(計測震度) | 緯度 | 経度 | 深さ | 規模 |
|------|------------|--|------------|-------------|-------|--------|
| | | 読谷村座喜味=0.8 浦添市安波茶 *=0.7 那覇市樋川=0.5 | | | | |
| 53 | 15 08 14 | 沖縄本島近海 1 玉城村前川=0.5 | 26°06.3' N | 127°44.1' E | 44km | M: 3.1 |
| 54 | 15 15 06 | 東京湾 1 相模原市上溝 *=0.5 | 35°09.4' N | 139°46.4' E | 98km | M: 3.3 |
| 55 | 15 22 58 | 岐阜県飛騨地方 1 下呂市萩原町 *=1.1 下呂市馬瀬 *=1.0 下呂市小坂町 *=0.9 高山市高根町 *=0.5 下呂市森 *=0.5 | 35°53.0' N | 137°15.8' E | 9km | M: 2.9 |
| 56 | 16 08 00 | 茨城県北部 1 水戸市金町=1.4 常陸大宮市上小瀬 *=1.1 常陸大宮市野口 *=0.9 土浦市大岩田=0.9 土浦市下高津 *=0.7 笠間市石井 *=0.6 岩間町下郷 *=0.6 水戸市中央 *=0.6 石岡市柿岡=0.6 | 36°28.4' N | 140°31.5' E | 58km | M: 3.4 |
| 57 | 17 08 13 | 岐阜県美濃中西部 1 岐阜市京町 *=0.7 各務原市川島河田町 *=0.6 関市武芸川町 *=0.5 | 35°28.9' N | 136°47.8' E | 16km | M: 2.7 |
| 58 | 17 11 57 | 宮城県北部 1 東松島市小野 *=1.1 東松島市矢本 *=0.9 | 38°24.8' N | 141°10.7' E | 12km | M: 2.1 |
| 59 | 18 03 59 | 宮古島近海 1 宮古島市平良下里=1.1 宮古島市平良西仲宗根=0.9 宮古島市城辺福里=0.8 | 25°00.9' N | 125°38.0' E | 52km | M: 4.3 |
| 60 | 19 04 22 | 和歌山県北部 1 海南市下津 *=1.2 野上町下佐々 *=1.0 湯浅町湯浅 *=0.9 桃山町元 *=0.8 貴志川町神戸 *=0.7 有田市初島町 *=0.7 粉河町粉河=0.6 日高川町土生 *=0.6 | 34°05.1' N | 135°14.2' E | 6km | M: 3.0 |
| 61 | 19 04 55 | 熊本県熊本地方 1 八代市坂本町 *=1.0 | 32°30.7' N | 130°33.3' E | 11km | M: 2.8 |
| 62 | 20 07 42 | 和歌山県北部 1 粉河町粉河=0.6 | 34°14.9' N | 135°25.5' E | 8km | M: 2.0 |
| 63 | 20 13 22 | 東シナ海 1 本部町役場 *=0.8 | 26°56.1' N | 125°44.3' E | 180km | M: 5.1 |
| 64 | 20 13 44 | 和歌山県北部 1 海南市下津 *=1.0 野上町下佐々 *=0.8 湯浅町湯浅 *=0.6 | 34°05.1' N | 135°14.2' E | 6km | M: 2.5 |
| 65 | 20 18 29 | 宮城県沖 1 石巻市桃生町 *=0.8 涌谷町新町=0.8 南三陸町歌津 *=0.8 登米市迫町 *=0.6 登米市南方町 *=0.6 栗原市金成 *=0.5 石巻市前谷地 *=0.5 石巻市門脇 *=0.5 東松島市矢本 *=0.5 岩沼市桜 *=0.5 | 37°54.6' N | 142°48.7' E | 30km | M: 4.8 |
| 66 | 20 20 39 | 千葉県北西部 3 佐倉市海隣寺町 *=2.5 2 千葉中央区中央港=1.9 習志野市鷺沼 *=1.8 八街市八街 *=1.8 白井市復 *=1.8 木更津市潮見=1.8 市川市八幡 *=1.7 成田市花崎町=1.7 富里市七栄 *=1.7 山武町埴谷 *=1.7 大多喜町大多喜 *=1.7 船橋市湊町 *=1.6 八千代市大和田新田 *=1.6 木更津市役所 *=1.6 鎌ヶ谷市初富 *=1.6 印西市大森 *=1.5 松戸市根本 *=1.5 浦安市猫実 *=1.5 1 長柄町大津倉=1.4 長南町長南 *=1.4 流山市平和台 *=1.4 印旛村瀬戸 *=1.4 本埜村笠神 *=1.4 千葉酒々井町中央台 *=1.3 成田市役所 *=1.3 佐原市佐原=1.3 富津市下飯野 *=1.2 芝山町小池 *=1.2 柏市旭町=1.2 東金市東新宿=1.2 東金市東岩崎 *=1.2 大網白里町大網 *=1.2 多古町多古=1.1 柏市大島田 *=1.1 市原市国分寺台中央 *=1.1 成東町殿台 *=1.1 蓮沼村八 *=1.1 佐原市役所 *=1.1 館山市長須賀=1.1 千葉白浜町白浜 *=1.1 丸山町岩糸 *=1.1 旭市南城之内 *=1.1 鴨川市八色=1.0 夷隅町国府台 *=1.0 鋸南町下佐久間 *=1.0 長柄町桜谷 *=1.0 千葉一宮町一宮=0.9 白子町関 *=0.9 千葉山田町仁良 *=0.9 三芳村谷向 *=0.9 茂原市道表 *=0.9 勝浦市墨名=0.8 長生村本郷 *=0.7 茨城県 2 稲敷市江戸崎 *=1.5 1 取手市井野 *=1.4 茨城河内町源清田 *=1.2 坂東市岩井=1.2 稲敷市結佐 *=1.2 つくば市小茎 *=1.2 つくば市谷田部 *=1.1 茨城伊奈町福田 *=0.9 土浦市下高津 *=0.8 利根町布川=0.8 石岡市柿岡=0.7 筑西市舟生=0.7 筑西市門井 *=0.6 土浦市大岩田=0.5 埼玉県 2 草加市高砂 *=1.8 宮代町笠原 *=1.6 三郷市幸房 *=1.6 1 越谷市越ヶ谷 *=1.1 鳩ヶ谷市三ツ和 *=1.1 吉川市吉川 *=1.0 春日部市谷原新田 *=1.0 久喜市下早見=0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 戸田市上戸田 *=0.7 東京都 2 東京足立区伊興 *=1.6 東京足立区神明南 *=1.5 東京江戸川区中央=1.5 1 東京江戸川区鹿骨 *=1.4 東京千代田区大手町=1.3 東京墨田区東向島 *=1.3 東京江戸川区船堀 *=1.3 東京大田区本羽田 *=1.2 東京杉並区桃井 *=1.2 東京江東区亀戸 *=1.1 東京北区西ヶ原 *=1.1 東京北区赤羽南 *=1.1 東京荒川区東尾久 *=1.1 東京足立区千住 *=1.1 東京新宿区百人町 *=1.1 東京台東区千束 *=1.1 東京大田区多摩川 *=1.0 東京中央区勝どき *=1.0 東京荒川区荒川 *=1.0 東京江東区枝川 *=1.0 東京品川区北品川 *=1.0 東京品川区平塚 *=1.0 東京江東区東陽 *=0.9 東京江東区森下 *=0.9 町田市市中町 *=0.9 東京目黒区中央町 *=0.9 東京文京区本郷 *=0.9 東京世田谷区成城 *=0.9 東京墨田区吾妻橋 *=0.9 町田市役所 *=0.8 東京中央区築地 *=0.8 | 35°35.9' N | 140°07.6' E | 72km | M: 4.3 |

| 地震番号 | 震源時 日時分 | 震央地名 各地の震度(計測震度) | 緯度 | 経度 | 深さ | 規模 |
|------|------------|--|-------------|--------------|-------|--------|
| | | <p>東京世田谷区世田谷 * = 0.8 三鷹市野崎 * = 0.7 東京千代田区麹町 * = 0.7 東京世田谷区三軒茶屋 * = 0.6 東京台東区東上野 * = 0.6 東京足立区中央本町 * = 0.6 東京大田区大森東 * = 0.6 国分寺市戸倉 * = 0.6 あきる野市伊奈 * = 0.5 武蔵野市吉祥寺東町 * = 0.5 東京中央区日本橋兜町 * = 0.5 東京板橋区板橋 * = 0.5</p> <p>神奈川県 2 横浜神奈川区白幡上町 * = 1.6 横浜緑区白山町 * = 1.5 1 横浜保土ヶ谷区上菅田町 * = 1.4 横浜港北区日吉本町 * = 1.4 川崎川崎区宮前町 * = 1.3 横浜鶴見区下末吉 * = 1.2 横浜中区山手町 = 1.2 横浜中区山下町 * = 1.2 横浜緑区十日市場 * = 1.2 横浜青葉区市が尾町 * = 1.2 川崎中原区小杉町 * = 1.2 横浜港南区丸山台東部 * = 1.1 横浜旭区今宿東町 * = 1.1 横須賀市光の丘 = 1.1 三浦市城山町 * = 1.1 横浜中区山田町 * = 1.0 横浜都筑区茅ヶ崎 * = 1.0 川崎川崎区中島 * = 1.0 川崎幸区戸手本町 * = 1.0 横浜鶴見区鶴見 * = 1.0 横浜都筑区池辺町 * = 0.9 横浜西区浜松町 * = 0.9 川崎宮前区野川 * = 0.9 横浜瀬谷区中屋敷 * = 0.8 鎌倉市由比ヶ浜 * = 0.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎 = 0.8 相模原市相原 * = 0.8 相模原市上溝 * = 0.8 神奈川清川村煤ヶ谷 * = 0.8 横浜旭区大池町 * = 0.7 相模原市相模大野 * = 0.7 中井町比奈窪 * = 0.7 津久井町中野 * = 0.7 横浜金沢区白帆 * = 0.6 箱根町湯本 * = 0.6 相模原市中央 = 0.6 川崎中原区小杉陣屋 = 0.5</p> <p>栃木県 1 宇都宮市明保野町 = 0.5</p> <p>山梨県 1 富士河口湖町長浜 * = 0.7</p> <p>長野県 1 佐久市白田 * = 0.5</p> <p>静岡県 1 熱海市網代 = 1.3 東伊豆町奈良本 * = 1.3 沼津市戸田 * = 0.5</p> | | | | |
| 67 | 20 23 59 | <p>長野県南部 長野県 1 三岳村役場 * = 0.8</p> | 35° 51.5' N | 137° 35.4' E | 5km | M: 2.2 |
| 68 | 21 11 25 | <p>国後島付近 北海道 4 別海町常盤 = 4.2 釧路町別保 * = 3.6 根室市弥栄 = 3.6 3 厚岸町尾幌 = 2.8 釧路市幸町 = 2.7 弟子屈町美里 = 2.6 清里町羽衣町 * = 2.5 2 羅臼町春日 = 2.4 幕別町本町 * = 2.2 中標津町養老牛 = 2.2 斜里町本町 = 2.2 本別町北 2 丁目 = 2.1 新冠町北星町 * = 2.0 十勝清水町南 4 条 = 1.9 忠類村忠類 * = 1.9 音別町尺別 = 1.8 東藻琴村役場 * = 1.8 静内町ときわ = 1.8 豊頃町茂岩本町 * = 1.7 鹿追町東町 * = 1.7 足寄町上螺湾 = 1.7 芽室町東 2 条 * = 1.6 浦河町潮見 = 1.6 女満別町西 3 条 * = 1.6 音更町元町 * = 1.5 広尾町並木通 = 1.5 美幌町東 3 条 = 1.5 帯広市東 4 条 = 1.5 更別村更別 * = 1.5 1 忠類村明和 = 1.4 端野町二区 * = 1.2 訓子府町東町 * = 1.2 遠軽町生田原 * = 1.1 室蘭市東町 * = 1.0 渡島森町砂原 * = 0.9 函館市尾札部町 = 0.7 函館市日ノ浜町 * = 0.7 白老町大町 = 0.6 苫小牧市末広町 = 0.5 2 八戸市南郷区 * = 2.0 東北町上北南 * = 1.9 名川町平 * = 1.9 東通村砂子又 * = 1.9 階上町道仏 * = 1.8 むつ市金曲 = 1.8 下田町中下田 * = 1.8 平内町小湊 = 1.7 野辺地町野辺地 * = 1.7 七戸町森ノ上 * = 1.7 五戸町古館 = 1.7 外ヶ浜町蟹田 * = 1.6 大間町大間 * = 1.6 藤崎町水木 * = 1.6 福地村苔米地 * = 1.6 百石町上明堂 * = 1.5 五戸町倉石中市 * = 1.5 三沢市桜町 * = 1.5 七戸町七戸 * = 1.5 1 東北町塔ノ沢山 * = 1.4 むつ市脇野沢 * = 1.4 八戸市湊町 = 1.3 六戸町犬落瀬 * = 1.3 青森市浪岡 * = 1.3 六ヶ所村尾駮 = 1.3 青森南部町沖田面 * = 1.2 むつ市川内町 * = 1.2 つがる市稲垣町 * = 1.2 十和田市西十二番町 * = 1.1 黒石市市ノ町 * = 1.1 藤崎町西豊田 * = 1.1 田舎館村田舎館 * = 1.1 尾上町猿賀 * = 1.0 十和田市奥瀬 * = 1.0 青森市花園 = 1.0 中泊町中里 * = 0.9 横浜町寺下 * = 0.9 蓬田村蓬田 * = 0.8 今別町今別 * = 0.8 つがる市車力町 * = 0.8 つがる市柏 * = 0.7 五所川原市金木町 * = 0.7 佐井村佐井 * = 0.7 中泊町小泊 * = 0.6 八戸市島守 = 0.6 三戸町在府小路 * = 0.6 田子町田子 * = 0.6 風間浦村易国間 * = 0.5 新郷村戸来 * = 0.5 外ヶ浜町平館 * = 0.5 2 大野村大野 * = 2.0 二戸市福岡 = 1.9 浄法寺町浄法寺 * = 1.9 軽米町軽米 * = 1.7 矢巾町南矢幅 * = 1.6 大槌町新町 * = 1.5 1 盛岡市山王町 = 1.4 八幡平市野駄 * = 1.4 陸前高田市高田町 * = 1.3 玉山村洪民 * = 1.3 岩手胆沢町南都田 * = 1.3 滝沢村鶴飼 * = 1.2 江刺市大通り * = 1.2 宮古市五月町 * = 1.2 普代村銅屋 * = 1.2 石鳥谷町八幡 * = 1.1 前沢町七日町 * = 1.1 一関市千厩町 * = 1.1 一関市室根町 * = 1.1 衣川村古戸 * = 1.0 一関市花泉町 * = 1.0 八幡平市大更 = 1.0 大船渡市大船渡町 = 1.0 遠野市宮守町 * = 1.0 八幡平市叭田 * = 1.0 紫波町日詰 * = 1.0 金ヶ崎町西根 * = 1.0 岩手東和町土沢 * = 0.9 花巻市材木町 * = 0.9 北上市柳原町 = 0.9 遠野市松崎町 * = 0.9 岩手町五日市 * = 0.9 大迫町大迫 = 0.8 水沢市大鐘町 = 0.8 岩手川井村川井 * = 0.8 種市町大町 = 0.8 野田村野田 * = 0.8 藤沢町藤沢 * = 0.7 葛巻町葛巻 = 0.7 久慈市川崎町 = 0.6 釜石市只越町 = 0.6 盛岡市馬場町 * = 0.5 宮古市田老 * = 0.5 2 涌谷町新町 = 1.6 石巻市桃生町 * = 1.5 登米市迫町 * = 1.5 1 登米市米山町 * = 1.4 栗原市金成 * = 1.3 登米市中田町 = 1.3 登米市登米町 * = 1.1 登米市南方町 * = 1.1 石巻市門脇 * = 1.0 宮城南郷町木間塚 * = 1.0 石巻市前谷地 * = 0.9 古川市三日町 = 0.9 気仙沼市赤岩 = 0.9 南三陸町志津川 = 0.9 栗原市若柳 * = 0.9 宮城松山町干石 * = 0.8 宮城田尻町沼部 * = 0.8 栗原市栗駒 = 0.8 栗原市志波姫 * = 0.8 岩沼市桜 * = 0.8 丸森町鳥屋 * = 0.8 唐桑町馬場 * = 0.7 東松島市矢本 * = 0.7 栗原市一迫 * = 0.6 鹿島台町平渡 * = 0.6 石巻市相野谷 * = 0.6 南三陸町歌津 * = 0.6 栗原市高清水 * = 0.5 石巻市北上町 * = 0.5 小牛田町北浦 * = 0.5 登米市東和町 * = 0.5 色麻町四竈 * = 0.5 名取市増田 * = 0.5 栗原市築館 * = 0.5</p> <p>秋田県 1 横手市大雄 * = 0.5 秋田美郷町六郷 * = 0.5 秋田美郷町飯詰 * = 0.5</p> <p>福島県 1 田村市都路町 * = 0.5</p> | 43° 42.5' N | 146° 23.8' E | 103km | M: 6.0 |
| 69 | 22 04 34 | <p>宮城県北部 宮城県 1 鹿島台町平渡 * = 1.1 東松島市小野 * = 1.1 東松島市矢本 * = 1.0 涌谷町新町 = 0.7 小牛田町北浦 * = 0.7 宮城松山町干石 * = 0.6 宮城南郷町木間塚 * = 0.6</p> | 38° 28.1' N | 141° 08.8' E | 14km | M: 2.9 |
| 70 | 22 05 22 | <p>青森県東方沖 青森県 1 名川町平 * = 1.1 五戸町古館 = 0.7 野辺地町野辺地 * = 0.6 青森南部町沖田面 * = 0.6 八戸市湊町 = 0.5 1 大野村大野 * = 1.0 軽米町軽米 * = 0.8 二戸市福岡 = 0.6</p> | 40° 41.8' N | 142° 36.2' E | 29km | M: 4.2 |
| 71 | 23 02 47 | <p>房総半島南東沖</p> | 33° 54.9' N | 140° 18.8' E | 73km | M: 3.6 |

| 地震番号 | 震源時 日 時 分 | 震央地名 各地の震度(計測震度) | 緯度 | 経度 | 深さ | 規模 |
|------|--------------|---|-------------|--------------|-------|--------|
| | | 東京都 1 三宅村神着=0.6 | | | | |
| 72 | 23 06 21 | 沖縄本島近海 沖縄県 1 国頭村奥=0.5 | 26° 22.6' N | 129° 44.7' E | 46km | M: 4.7 |
| 73 | 23 06 45 | 茨城県北部 茨城県 1 水戸市金町=0.8 土浦市大岩田=0.6 | 36° 27.9' N | 140° 30.6' E | 58km | M: 3.2 |
| 74 | 24 00 37 | 大阪府北部 大阪府 1 能勢町今西*=0.6 | 34° 56.0' N | 135° 31.7' E | 13km | M: 2.5 |
| 75 | 24 06 04 | 日向灘 宮崎県 1 宮崎市松橋*=1.0 | 31° 32.8' N | 131° 51.9' E | 24km | M: 3.7 |
| 76 | 24 09 43 | 根室半島南東沖 北海道 1 別海町常盤=0.8 根室市弥栄=0.7 中標津町養老牛=0.5 | 43° 10.0' N | 145° 34.9' E | 51km | M: 4.0 |
| 77 | 24 15 07 | 福島県会津地方 福島県 1 下郷町塩生*=1.0 | 37° 20.3' N | 139° 47.4' E | 6km | M: 2.9 |
| 78 | 24 23 15 | 十勝支庁南部 北海道 1 忠類村忠類*=0.7 | 42° 22.6' N | 143° 02.4' E | 52km | M: 3.4 |
| 79 | 24 23 48 | 房総半島南東沖 福島県 1 田村市都路町*=0.6 福島東和町針道*=0.5 田村市船引町=0.5 千葉県 1 鴨川市八色=1.4 館山市長須賀=0.9 大多喜町大多喜*=0.8 勝浦市墨名=0.8 東京都 1 三宅村神着=1.3 御蔵島村=0.8 八丈町三根=0.8 東京千代田区大手町=0.7 神奈川県 1 真鶴町真鶴*=0.9 横浜中区山手町=0.7 中井町比奈窪*=0.5 三浦市城山町*=0.5 秦野市首屋=0.5 長野県 1 佐久市中込*=0.6 佐久市臼田*=0.5 長野南牧村海ノ口*=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=1.0 熱海市網代=0.6 | 34° 16.5' N | 141° 12.4' E | 43km | M: 5.2 |
| 80 | 25 18 43 | 山梨県東部 山梨県 1 富士吉田市下吉田*=0.6 大月市御太刀*=0.6 | 35° 28.6' N | 138° 59.7' E | 26km | M: 2.6 |
| 81 | 27 00 24 | 宮城県沖 宮城県 1 南三陸町歌津*=0.7 | 38° 28.6' N | 142° 03.6' E | 41km | M: 3.7 |
| 82 | 27 06 13 | 岩手県内陸北部 岩手県 2 浄法寺町浄法寺*=1.6 1 二戸市福岡=0.6 | 40° 09.2' N | 141° 10.5' E | 10km | M: 2.9 |
| 83 | 27 15 54 | 紀伊水道 和歌山県 2 湯浅町湯浅*=1.7 1 有田市箕島=1.4 有田市初島町*=1.1 和歌山広川町広*=1.1 海南市下津*=0.7 吉備町下津野*=0.6 海南市日方*=0.5 | 34° 05.0' N | 135° 08.9' E | 6km | M: 2.8 |
| 84 | 27 23 38 | 新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.6 | 34° 18.4' N | 139° 09.2' E | 0km | M: 1.7 |
| 85 | 28 06 50 | 和歌山県南部 和歌山県 1 すさみ町周参見*=0.8 | 33° 32.2' N | 135° 34.4' E | 11km | M: 2.9 |
| 86 | 28 17 24 | 茨城県沖 福島県 1 田村市都路町*=0.6 茨城県 1 常陸太田市高柿町*=0.9 大子町池田*=0.6 | 36° 41.8' N | 141° 07.7' E | 46km | M: 3.7 |
| 87 | 28 20 20 | 秋田県内陸南部 青森県 2 階上町道仏*=1.6 1 八戸市南郷区*=1.0 福地村苦米地*=1.0 五戸町古館=0.9 名川町平*=0.8 八戸市島守=0.6 八戸市湊町=0.6 岩手県 2 陸前高田市高田町*=2.3 大野村大野*=2.1 普代村銅屋*=1.8 矢巾町南矢幅*=1.8 大船渡市大船渡町=1.6 岩手山田町八幡町=1.6 盛岡市山王町=1.6 岩手東和町土沢*=1.6 宮古市五月町*=1.6 江刺市大通り*=1.5 遠野市松崎町*=1.5 1 大槌町新町*=1.4 野田村野田*=1.4 一関市室根町*=1.4 大迫町大迫=1.3 湯田町川尻*=1.3 前沢町七日町*=1.3 久慈市川崎町=1.3 北上市柳原町=1.3 石巻谷町八幡*=1.2 花巻市材木町*=1.2 宮古市鍛ヶ崎=1.2 滝沢村鶴飼*=1.2 岩手川井村川井*=1.1 種市町大町=1.1 紫波町日詰*=1.0 一関市花泉町*=1.0 一関市千厩町*=1.0 軽米町軽米*=1.0 藤沢町藤沢*=0.9 大迫町役場*=0.9 岩泉町岩泉*=0.9 宮古市田老*=0.9 水沢市大鐘町=0.9 二戸市福岡=0.8 岩手胆沢町南都田*=0.8 沢内村太田*=0.8 金ケ崎町西根*=0.8 雫石町千刈田=0.7 一関市山目*=0.7 釜石市只越町=0.7 遠野市宮守町*=0.7 大船渡市盛町*=0.6 大船渡市猪川町=0.6 田野畑村田野畑=0.5 宮古市茂市*=0.5 宮城県 2 気仙沼市赤岩=1.8 登米市南方町*=1.8 栗原市金成*=1.5 登米市迫町*=1.5 大河原町新南*=1.5 1 涌谷町新町=1.4 南三陸町志津川=1.3 南三陸町歌津*=1.3 登米市米山町*=1.3 丸森町鳥屋*=1.3 宮城南郷町木間塚*=1.3 登米市登米町*=1.2 石巻市前谷地*=1.2 古川市三日町=1.1 | 39° 15.3' N | 140° 21.6' E | 150km | M: 4.8 |

| 地震番号 | 震源時 日時分 | 震央地名 各地の震度(計測震度) | 緯度 | 経度 | 深さ | 規模 |
|------|------------|--|-------------|--------------|------|--------|
| | | <p>登米市中田町=1.1 石巻市門脇*=1.1 唐桑町馬場*=1.0 栗原市若柳*=1.0 石巻市桃生町*=1.0 角田市角田*=1.0 宮城田尻町沼部*=1.0 栗原市築館*=0.9 栗原市高清水*=0.9 色麻町四竈*=0.8 栗原市一迫*=0.8 登米市東和町*=0.8 栗原市花山*=0.7 岩沼市桜*=0.7 東松島市矢本*=0.6 宮城加美町小野田*=0.6 石巻市北上町*=0.6 栗原市志波姫*=0.5 仙台宮城野区苦竹*=0.5 2 秋田市雄和妙法*=1.8 大仙市大曲花園町*=1.8 秋田井川町北川尻*=1.7 大仙市刈和野*=1.7 大仙市高梨*=1.7 秋田市河辺和田*=1.6 1 潟上市昭和久保*=1.4 秋田市山王=1.4 秋田市消防庁舎*=1.4 横手市大雄*=1.4 秋田美郷町飯詰*=1.4 秋田市雄和女米木=1.3 秋田美郷町土崎*=1.3 大仙市南外*=1.3 仙北市西木町上荒井*=1.2 大仙市北長野*=1.2 大瀧村中央*=1.1 秋田美郷町六郷東根=1.1 大仙市太田町太田*=1.1 湯沢市皆瀬*=1.0 仙北市角館町=1.0 羽後町西馬音内*=1.0 五城目町西磯ノ目=0.9 八郎瀧町大道*=0.9 由利本荘市岩城内道川*=0.9 北秋田市阿仁銀山*=0.9 東成瀬村田子内*=0.8 上小阿仁村小沢田*=0.8 潟上市飯田川下虻川*=0.8 秋田美郷町六郷*=0.7 大仙市協和境*=0.7 横手市大森町*=0.7 由利本荘市尾崎*=0.7 由利本荘市西目沼田*=0.6 大仙市神宮寺*=0.6 横手市中央町*=0.6 仙北市田沢湖生保内*=0.6 潟上市天王*=0.6 男鹿市男鹿中=0.6 八竜町鶴川*=0.6 横手市平鹿町浅舞*=0.5 山形県 1 酒田市亀ヶ崎=1.4 舟形町舟形*=1.0 尾花沢市若葉町*=0.9 大石町緑町*=0.7 福島県 1 檜葉町北田*=1.0 田村市都路町*=0.7</p> | | | | |
| 88 | 28 23 44 | <p>相模湾 神奈川県 2 三浦市城山町*=1.8 1 横須賀市光の丘=1.0 厚木市中町*=0.8 真鶴町真鶴*=0.7 横須賀市坂本町*=0.7 川崎川崎区宮前町*=0.6 千葉県 1 富浦町青木*=1.1 館山市長須賀=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=1.4 東伊豆町稲取*=0.5</p> | 35° 03.8' N | 139° 38.5' E | 43km | M: 3.4 |
| 89 | 29 01 31 | <p>新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=1.5</p> | 34° 20.9' N | 139° 08.5' E | 0km | M: 1.9 |
| 90 | 29 06 51 | <p>岩手県内陸北部 岩手県 2 浄法寺町浄法寺*=2.3 1 八幡平市叭田*=0.8 二戸市福岡=0.6 青森県 1 名川町平*=0.5</p> | 40° 09.3' N | 141° 10.5' E | 10km | M: 3.4 |
| 91 | 29 19 30 | <p>宮城県沖 岩手県 1 大船渡市大船渡町=1.2 一関市室根町*=1.0 釜石市只越町=0.9 岩手川井村川井*=0.8 陸前高田市高田町*=0.7 遠野市松崎町*=0.7 平泉町平泉*=0.7 岩手山田町八幡町=0.6 一関市千厩町*=0.6 住田町世田米*=0.5 大船渡市猪川町=0.5 大迫町大迫=0.5 衣川村古戸*=0.5 宮城県 1 南三陸町歌津*=1.0 栗原市金成*=0.8 色麻町四竈*=0.7 唐桑町馬場*=0.6 東松島市矢本*=0.6 南三陸町志津川=0.5 栗原市志波姫*=0.5</p> | 38° 49.6' N | 141° 34.8' E | 75km | M: 3.6 |
| 92 | 30 18 23 | <p>長野県南部 長野県 1 王滝村役場*=1.1 王滝村鈴ヶ沢*=0.7</p> | 35° 48.3' N | 137° 27.4' E | 8km | M: 2.4 |

付表 2 . 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成 16 年（2004 年）9 月～平成 17 年（2005 年）9 月>

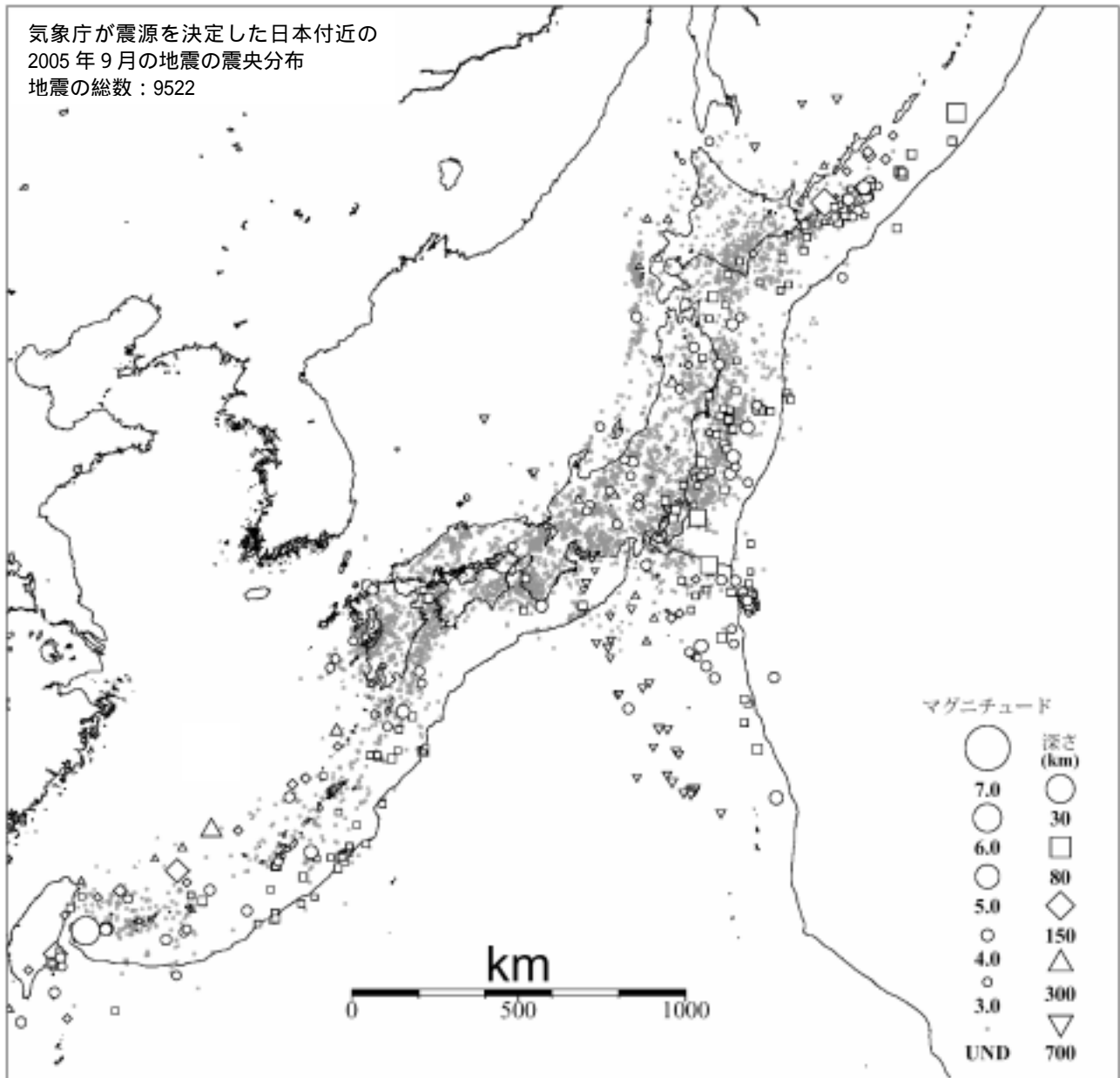
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5弱 | 5強 | 6弱 | 6強 | 7 | 計 | 記事 |
|----------|------|-----|-----|----|----|----|----|----|---|------|---|
| 2005年9月 | 59 | 27 | 5 | 1 | | | | | | 92 | |
| 2005年8月 | 89 | 29 | 8 | 1 | | 1 | 1 | | | 129 | 16日 宮城県沖(震度6弱:1回、震度2:3回、震度1:11回) 21日 新潟県中越地方(震度5強) |
| 2005年7月 | 81 | 31 | 11 | 4 | | 1 | | | | 128 | 23日 千葉県北西部(震度5強) |
| 2005年6月 | 81 | 44 | 8 | 3 | 2 | | | | | 138 | 3日 熊本県天草芦北地方(震度5弱) 20日 新潟県中越地方(震度5弱) 福岡県西方沖の地震の余震 (震度2:3回、震度1:14回) |
| 2005年5月 | 82 | 34 | 13 | 5 | | | | | | 134 | 福岡県西方沖の地震の余震 (震度4:1回、震度2:7回、震度1:15回) |
| 2005年4月 | 119 | 53 | 13 | 7 | | 2 | | | | 194 | 11日千葉県北東部(震度5強) 福岡県西方沖の地震の余震 (震度5強:1回、震度4:5回、震度3:9回、震度2:26回、震度1:45回) |
| 2005年3月 | 231 | 129 | 25 | 3 | | | 1 | | | 389 | 20日 福岡県西方沖(震度6弱:1回、震度4:1回、震度3:14回、震度2:82回、震度1:152回) 新潟県中越地震の余震 (震度3:4回、震度2:7回、震度1:6回) |
| 2005年2月 | 65 | 26 | 8 | 2 | 1 | | | | | 102 | 16日 茨城県南部(震度5弱) 新潟県中越地震の余震 (震度3:2回、震度2:4回、震度1:7回) |
| 2005年1月 | 86 | 38 | 6 | 5 | | 1 | | | | 136 | 18日 釧路沖(震度5強:1回、震度2:5回、震度1:6回) 新潟県中越地震の余震 (震度4:2回、震度3:1回、震度2:12回、震度1:6回) |
| 2004年12月 | 116 | 54 | 18 | 2 | 1 | 2 | | | | 193 | 6日 釧路沖(震度5強:1回、震度3:2回、震度2:5回、震度1:13回) 14日 留萌支庁南部(震度5強) 新潟県中越地震(震度5弱:1回、震度4:1回、震度3:3回、震度2:17回、震度1:33回) |
| 2004年11月 | 206 | 106 | 32 | 15 | 1 | 3 | | | | 363 | 29日 釧路沖(震度5強:1回、震度4:1回、震度3:4回、震度2:8回、震度1:8回) 新潟県中越地震の余震 (震度5強:2回、震度5弱:1回、震度4:10回、震度3:19回、震度2:62回、震度1:124回) |
| 2004年10月 | 360 | 207 | 91 | 30 | 6 | 6 | 2 | 2 | 1 | 705 | 6日 茨城県南部(震度5弱) 15日 与那国島近海(震度5弱) 新潟県中越地震(震度7:1回、震度6強:2回、震度6弱:2回、震度5強:6回、震度5弱:4回、震度4:29回、震度3:81回、震度2:174回、震度1:293回) |
| 2004年9月 | 87 | 31 | 12 | 2 | 2 | | | | | 134 | 紀伊半島沖・東海道沖の地震 (震度5弱:2回、震度4:1回、震度3:2回、震度2:10回、震度1:39回) |
| 2005年計 | 893 | 411 | 97 | 31 | 3 | 5 | 2 | | | 1442 | (平成17年1月～平成17年9月) |
| 過去1年計 | 1575 | 778 | 238 | 78 | 11 | 16 | 4 | 2 | 1 | 2703 | (平成16年10月～平成17年9月) |

注) 「記事」欄の「*」は関連の地震で震度1以上が観測された地震の回数。「記事」欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上が10回以上観測された地震活動について記載した。
 地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。
 平成9(1997)年11月10日 秋田県、埼玉県、横浜市(神奈川県)、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県
 平成10(1998)年6月15日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、鳥根県、愛媛県
 10月15日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県、鹿児島県
 平成11(1999)年7月21日 東京都、長野県
 平成12(2000)年1月12日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市(愛知県)
 3月28日 滋賀県
 7月18日 富山県、香川県、大分県
 平成13(2001)年3月22日 佐賀県 5月10日 山梨県、川崎市(神奈川県)
 7月19日 高知県 12月12日 福島県
 平成14(2002)年3月20日 岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市(宮城県)
 7月29日 北海道、長崎県
 平成15(2003)年3月10日 沖縄県
 平成16(2004)年5月26日 独立行政法人防災科学技術研究所

付表 3 . 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数
<平成 16 年 (2004 年) 9 月～平成 17 年 (2005 年) 9 月>

| | M3.0 ～ M3.9 | M4.0 ～ M4.9 | M5.0 ～ M5.9 | M6.0 ～ M6.9 | M7.0 以上 | 計 M3.0以上 | 計 M4.0以上 | 記事 |
|-----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------|-------------|-------------|---|
| 2005年 9 月 | 316 | 65 | 6 | 2 | | 389 | 73 | 6日：台湾付近 (M6.0) 21日：国後島付近 (M6.0) |
| 2005年 8 月 | 465 | 99 | 10 | 2 | 1 | 577 | 112 | 16日：宮城県沖 (M7.2) (M3.0～3.9：38回、M4.0～4.9：10回、 M5.0以上は本震の1回) 三陸沖の地震活動 (M3.0～3.9：43回、M4.0～4.9：13回、 M5.0～5.9：2回、M6.0～6.9：2回) 八丈島東方沖の地震活動 (M3.0～3.9：94回、M4.0～4.9：7回、 M5.0～5.9：1回) |
| 2005年 7 月 | 396 | 99 | 15 | 1 | | 511 | 115 | 23日：千葉県北西部 (M6.0) 八丈島東方沖の地震活動 (M3.0～3.9：124回、M4.0～4.9：40回、 M5.0～5.9：6回) |
| 2005年 6 月 | 284 | 77 | 10 | | | 371 | 87 | |
| 2005年 5 月 | 286 | 64 | 12 | | | 362 | 76 | 福岡県西方沖の地震の余震 (M3.0～3.9：10回、M5.0～5.9：1回) |
| 2005年 4 月 | 366 | 66 | 8 | 2 | | 442 | 76 | 11日：千葉県北東部 (M6.1) 19日：鳥島近海 (M6.0) 福岡県西方沖の地震の余震 (M3.0～3.9：38回、M4.0～4.9：8回、 M5.0～5.9：3回) |
| 2005年 3 月 | 617 | 89 | 7 | 1 | 1 | 715 | 98 | 6日：台湾付近 (M6.2) 20日：福岡県西方沖 (M7.0) 福岡県西方沖の地震の余震 (M3.0～3.9：188回、M4.0～4.9：16回、 M5.0～5.9：1回) 房総半島南東沖の地震活動 (M3.0～3.9：103回、M4.0～4.9：6回) |
| 2005年 2 月 | 323 | 59 | 11 | 1 | | 394 | 71 | 10日：父島近海 (M6.5) 新潟県中越地震の余震活動 (M3.0～3.9：6回、M4.0～4.9：2回) 房総半島南東沖の地震の余震 (M3.0～3.9：31回、M4.0～4.9：2回、 M5.0～5.9：1回) |
| 2005年 1 月 | 468 | 86 | 13 | 2 | | 569 | 101 | 18日：釧路沖 (M6.4) (M3.0～3.9：12回、M4.0～4.9：7回、 M5.0～5.9：0回、M6.0～6.9：1回) 19日：房総半島南東沖 (M6.8) 房総半島南東沖の地震の余震 (M3.0～3.9：120回、M4.0～4.9：18回、 M5.0～5.9：5回) 新潟県中越地震の余震 (M3.0～3.9：12回、M4.0～4.9：2回) |
| 2004年12月 | 411 | 91 | 9 | 2 | | 513 | 102 | 6日：釧路沖 (M6.9) (M3.0～3.9：43回、M4.0～4.9：18回、 M5.0～5.9：1回、M6.0～6.9：1回) 14日：留萌支庁南部 (M6.1) 新潟県中越地震の余震 (M3.0～3.9：18回、 M4.0～4.9：2回、M5.0～5.9：1回) |
| 2004年11月 | 404 | 98 | 22 | 4 | 1 | 529 | 125 | 7日：オホーツク海南部 (M6.0) 9日：台湾付近 (M6.4) 11日：釧路沖 (M6.3) 29日：釧路沖 (M7.1)、釧路沖 (M6.0) (M3.0～3.9：39回、M4.0～4.9：14回、 M6.0～6.9：1回、M7.0～M7.9：1回) 新潟県中越地震の余震 (M3.0～3.9：81回、 M4.0～4.9：12回、M5.0～5.9：8回) |
| 2004年10月 | 645 | 138 | 23 | 6 | | 812 | 167 | 15日：与那国島近海 (M6.6) 23日：新潟県中越地震 (M6.8) 新潟県中越地震の余震 (M3.0～3.9：268回、M4.0～4.9：71回、 M5.0～5.9：13回、M6.0～6.9：5回) 紀伊半島沖・東海道沖の地震の余震 (M3.0～3.9：42回、M4.0～4.9：7回) |
| 2004年 9 月 | 736 | 135 | 20 | 2 | 2 | 895 | 159 | 5日：紀伊半島沖 (M7.1)、東海道沖 (M7.4) 紀伊半島沖・東海道沖の余震 (M3.0～3.9：484回、M4.0～4.9：69回、 M5.0～5.9：7回、M6.0～6.9：2回、 M7.0以上：2回) |
| 2005年計 | 3521 | 704 | 92 | 11 | 2 | 4330 | 809 | (平成17年 1 月～平成17年 9 月) |
| 過去 1 年計 | 4981 | 1031 | 146 | 23 | 3 | 6184 | 1203 | (平成16年10月～平成17年 9 月) |

気象庁が震源を決定した日本付近の
2005年9月の地震の震央分布
地震の総数：9522



M3.0以上の地震の震央を白抜きで示す。